

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成24年度）

平成25年 10月

名古屋市市民経済局

目 次

1 . 観 光 統 計 について	1
(1) 調 査 の 目 的 と 全 国 観 光 統 計 基 準 の 採 用	1
(2) 入 込 客 数	1
(3) 観 光 消 費 額	4
2 . 調 査 の 集 計 結 果	6
2 - 1 観 光 客 の 現 状	6
(1) 調 査 の 概 要	6
(2) 調 査 結 果	8
2 - 2 宿 泊 客 の 現 状	29
(1) 調 査 の 概 要	29
(2) 調 査 結 果	30
2 - 3 宿 泊 施 設 調 査	49
(1) 調 査 の 概 要	49
(2) 宿 泊 施 設 の 現 状	50
(3) 宿 泊 客 数	52
2 - 4 全 国 から 見 た 名 古 屋 の 観 光 に 関 す る 評 価	62
(1) 調 査 の 概 要	62
(2) 名 古 屋 へ の 訪 問 状 況 と 観 光 資 源 の 認 知 度 等	63
(3) 名 古 屋 に 対 す る 評 価	74
(4) 観 光 振 興 に つ い て	86
3 . 資 料 編	92
(1) 主 要 観 光 施 設 へ の 入 込 動 向	92
(2) 名 古 屋 の ま ち の 印 象	96

巻 末 調 査 票

注 1 : 本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注 2 : 表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 24 年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 24 年度については、全国観光統計基準に適合する 86 地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 24 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,451 万人であり、平成 23 年度と比較して約 36 万人減少（対前年度比率 99.3%）した。

減少の要因としては、平成 23 年 3 月にプラネタリウムをリニューアルした「名古屋市科学館」、新規開館した「リニア・鉄道館」の入込客が落ち着いてきたことなどがある。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,251,645	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478
	産業観光	(5) 1,499,021	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,992,827	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,929,956	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300
	イベント	(23) 11,931,312	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527
計		(84) 54,604,761	(85) 53,655,002	(84) 54,870,760	(86) 54,514,030

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 24 年度の観光入込客実人数は 3,494 万人であり、平成 23 年度と比較して 168 万人増加（対前年度比率 105.1%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,604,761	53,655,002	54,870,760	54,514,030
平均訪問観光地点数	1.66	1.52	1.65	1.56
観光入込客実人数（万人）	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人

居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	32.9%	67.1%
観光入込客実人数	3,494 万人	1,150 万人	2,344 万人

宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
延べ宿泊客数（人）	5,786,316	5,960,567	6,674,019	6,950,791
宿泊客実人数（人）	4,604,248	4,608,978	5,192,149	5,796,736
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.26	1.29	1.29	1.20

居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	8.2%	91.8%
宿泊客実人数	580 万人	48 万人	532 万人

居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 24 年度の名古屋市内客は 1,150 万人であり、平成 23 年度と比較して 51 万人減少した。また、名古屋市外客は 2,344 万人であり、平成 23 年度と比較して 219 万人増加した

また、平成 24 年度の宿泊客実人数は 580 万人であり、前年度と比較して 61 万人増加した。平成 24 年度の日帰り客実人数は 2,914 万人であり、前年度と比較して 107 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
観光入込客実人数	計	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人
	名古屋市内客	1,270 万人	1,405 万人	1,201 万人	1,150 万人
	名古屋市外客	2,019 万人	2,125 万人	2,125 万人	2,344 万人
宿泊客実人数	計	460 万人	461 万人	519 万人	580 万人
	名古屋市内客	29 万人	33 万人	25 万人	48 万人
	名古屋市外客	431 万人	428 万人	494 万人	532 万人
日帰り客実人数	計	2,829 万人	3,069 万人	2,807 万人	2,914 万人
	名古屋市内客	1,241 万人	1,372 万人	1,176 万人	1,102 万人
	名古屋市外客	1,588 万人	1,697 万人	1,631 万人	1,812 万人

(3) 観光消費額

観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 24 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,895 億円であり、平成 23 年度と比較して 489 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,504 億円であり、前年度と比較して 628 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較すると、名古屋市内は 144 億円減少、名古屋市外は 5 億円増加している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 23 年度	平成 24 年度
宿泊客実人数		519 万人	580 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,176 万人	1,102 万人
	名古屋市外客	1,631 万人	1,812 万人
宿泊客一人あたり消費額		16,870 円	25,946 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,875 円	2,830 円
	名古屋市外客	6,582 円	5,959 円
宿泊客総消費額		876 億円	1,504 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	456 億円	312 億円
	名古屋市外客	1,074 億円	1,079 億円
名古屋市内観光総消費額		2,406 億円	2,895 億円

観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。平成 24 年度は設問を変更し、新たに入場料とその他の費用について調査した。

平成 23 年度のその他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

平成 23 年度に比べ、食事費、土産費、宿泊費はそれぞれ減少しているが、総消費額は 489 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度
食事費消費額	868 億円	836 億円
交通費消費額	376 億円	378 億円
土産費消費額	592 億円	518 億円
宿泊費消費額	526 億円	469 億円
入場料消費額	-	330 億円
その他消費額	44 億円	364 億円
総消費額	2,406 億円	2,895 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	7,442 円	1,072 円	1,581 円
交通費	2,246 円	397 円	1,124 円
土産費	4,730 円	329 円	1,148 円
宿泊費	8,081 円		
入場料	1,301 円	427 円	1,150 円
その他	2,146 円	605 円	956 円
合 計	25,946 円	2,830 円	5,959 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	432 億円	118 億円	286 億円	836 億円
交通費総消費額	130 億円	44 億円	204 億円	378 億円
土産費総消費額	274 億円	36 億円	208 億円	518 億円
宿泊費総消費額	469 億円			469 億円
入場料総消費額	75 億円	47 億円	208 億円	330 億円
その他総消費額	124 億円	67 億円	173 億円	364 億円
観光総消費額	1,504 億円	312 億円	1,079 億円	2,895 億円

2 . 調査の集計結果

2 - 1 観光客の現状

(1) 調査の概要

調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

調査日時等

●観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、名古屋港水族館）調査

・秋期調査：平成 24 年	11 月 14 日（水）	9：30～16：30	天候：晴後曇
	11 月 17 日（土）	9：30～16：30	天候：曇後雨
	11 月 18 日（日）	9：30～16：30	天候：曇
熱田神宮は	11 月 24 日（土）	9：30～16：30	天候：曇

・春期調査：平成 25 年	3 月 6 日（水）	9：30～16：30	天候：晴
	3 月 9 日（土）	9：30～16：30	天候：晴
	3 月 10 日（日）	9：30～16：30	天候：曇

●名古屋まつり調査：平成 24 年 10 月 21 日（日）10：30～16：00 天候：晴

●イベント会場（ポートメッセなごや）調査

・2012 CROSS FIVE：

平成 24 年 12 月 16 日（日）11：00～17：00 天候：晴

・NAGOYA オートトレンド 2013：

平成 25 年 3 月 3 日（日）11：00～16：30 天候：晴

調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10 歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	104	104	104	103	104	104	623
熱田神宮	104	105	104	103	104	106	626
ノリタケの森	101	106	102	103	105	102	619
名古屋港水族館	102	104	105	104	105	104	624
名古屋まつり	618						618
イベント会場 （ポートメッセなごや）	(2012CROSSFIVE)			308			610
	(NAGOYA オートトレンド 2013)			302			
全 体							3,720

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、 「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同・中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただいた。

(2) 調査結果

居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

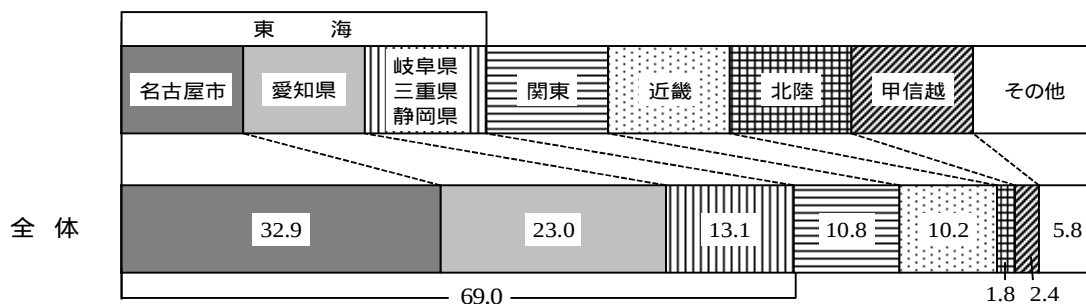
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が 32.9%と最も多く、「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合計した「東海」が 69.0%を占め、「関東」、「近畿」など「東海以外」の地域からの入込客は全体で 31.0%である。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、また、「名古屋まつり」の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「関東」をはじめ「東海以外」の地域が 51.4%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	東 海				関 東	近 畿	北 陸	甲 信 越	そ の 他	合 計
		名 古 屋 市	愛知県（名古屋市を除く）	岐阜県・三重県・静岡県						
名古屋城	48.6	22.8	14.1	11.7	21.0	14.6	1.8	3.7	10.3	100.0
熱田神宮	61.0	34.5	20.1	6.4	16.5	9.9	3.3	2.9	6.4	100.0
ノリタケの森	53.4	21.0	20.4	12.0	16.7	14.5	2.7	2.7	10.0	100.0
名古屋港水族館	80.8	30.9	29.3	20.5	3.5	7.9	2.1	3.8	1.9	100.0
名古屋まつり	95.8	72.5	18.9	4.4	1.5	1.1	0.3	0.0	1.3	100.0
イベント会場	74.8	15.6	35.2	23.9	5.4	13.1	0.5	1.1	5.1	100.0
全 体	69.0	32.9	23.0	13.1	10.8	10.2	1.8	2.4	5.8	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海 - 名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸 - 福井県・石川県・富山県

甲 信 越 - 新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b．性・年齢構成

男性が47.6%、女性が52.4%と、女性の方が男性より若干多い。

男女共に「20～29歳」が最も多く、観光地点別にみると、「20～29歳」の世代の割合は「イベント会場」で特に高い。一方、「60歳以上」の割合は「名古屋まつり」で最も高い。

性別の割合は、全ての地点で男性女性ほぼ半々である。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	年 齢	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合 計
	観光地点								
全 体	名古屋城	6.4	28.1	13.6	13.3	11.6	15.4	11.6	100.0
	熱田神宮	2.4	18.7	22.8	16.8	13.6	16.3	9.4	100.0
	ノリタケの森	1.0	17.8	16.5	17.3	18.7	18.7	10.0	100.0
	名古屋港水族館	10.4	25.6	20.4	13.0	9.8	12.8	8.0	100.0
	名古屋まつり	4.5	8.7	14.7	19.8	17.2	23.0	12.1	100.0
	イベント会場	6.4	50.2	25.6	14.1	2.9	0.5	0.3	100.0
	合 計	5.2	24.8	18.9	15.7	12.3	14.5	8.6	100.0
男 性	名古屋城	5.2	27.7	12.9	14.8	11.1	17.3	11.1	43.5
	熱田神宮	4.0	17.8	24.1	16.8	12.2	14.5	10.6	48.4
	ノリタケの森	0.5	21.5	20.9	16.8	13.1	16.2	11.0	30.9
	名古屋港水族館	9.7	23.4	20.0	16.6	8.6	12.4	9.3	46.5
	名古屋まつり	4.3	8.6	11.3	21.4	16.7	22.6	15.2	41.6
	イベント会場	5.2	49.2	26.4	15.0	3.5	0.2	0.4	75.2
	合 計	5.1	27.4	20.1	16.7	9.9	12.3	8.5	47.6
女 性	名古屋城	7.4	28.4	14.2	12.2	11.9	13.9	11.9	56.5
	熱田神宮	0.9	19.5	21.7	16.7	14.9	18.0	8.4	51.6
	ノリタケの森	1.2	16.1	14.5	17.5	21.3	19.9	9.6	69.1
	名古屋港水族館	11.1	27.5	20.7	9.9	10.8	13.2	6.9	53.5
	名古屋まつり	4.7	8.9	17.2	18.6	17.5	23.3	10.0	58.4
	イベント会場	9.9	53.0	23.2	11.3	1.3	1.3	0.0	24.8
	合 計	5.3	22.4	17.9	14.8	14.5	16.5	8.7	52.4

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」と「イベント」が多く、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて84.7%を占めている。

時系列にみても、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

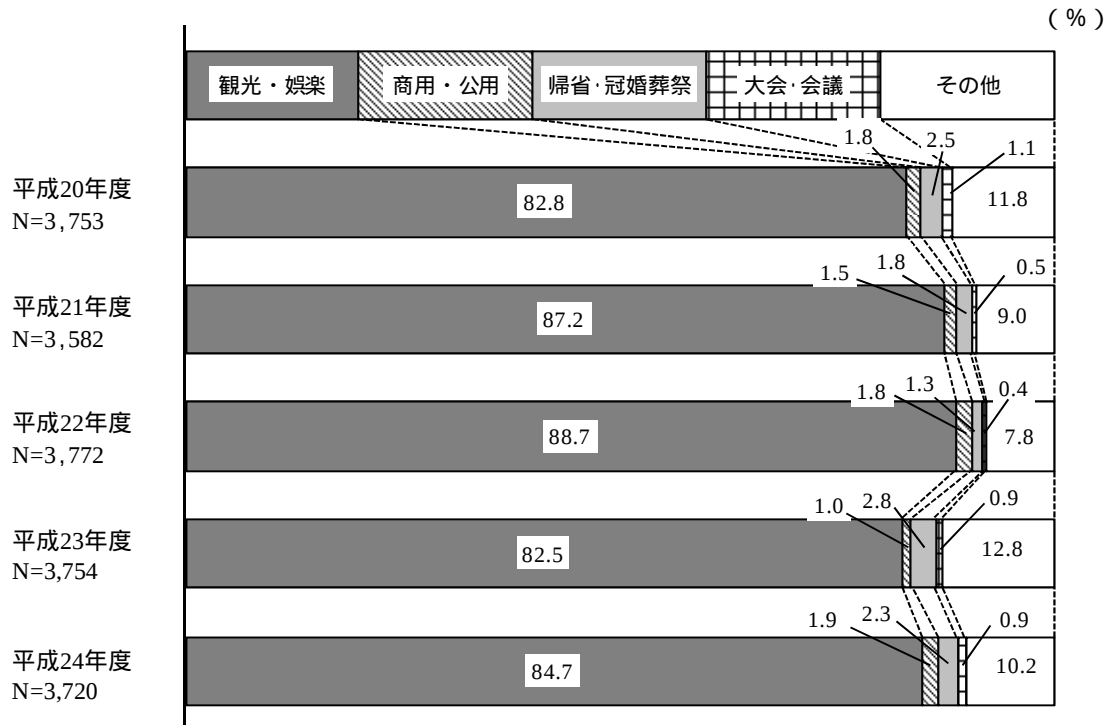


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位 : %)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	53.9	0.5	2.6	28.4	1.6	1.3	2.4	3.5	1.1	4.7	100.0
熱田神宮	40.9	2.6	1.6	1.4	0.6	1.8	2.7	3.5	1.4	43.5	100.0
ノリタケの森	48.3	11.3	3.1	7.0	8.7	4.7	2.4	4.5	1.8	8.2	100.0
名古屋港水族館	88.0	1.8	0.3	1.8	0.8	1.1	1.1	1.4	1.0	2.7	100.0
名古屋まつり	2.6	4.9	0.2	86.6	0.8	0.8	1.9	0.8	0.0	1.4	100.0
イベント会場	0.3	0.2	0.0	98.3	0.2	0.0	0.6	0.2	0.2	0.0	100.0
全 体	39.2	3.5	1.3	37.0	2.1	1.6	1.9	2.3	0.9	10.2	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の 84.7%）が名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」（30.1%）が最も高い。また、「特になし」（11.2%）の割合も 1 割みられる。

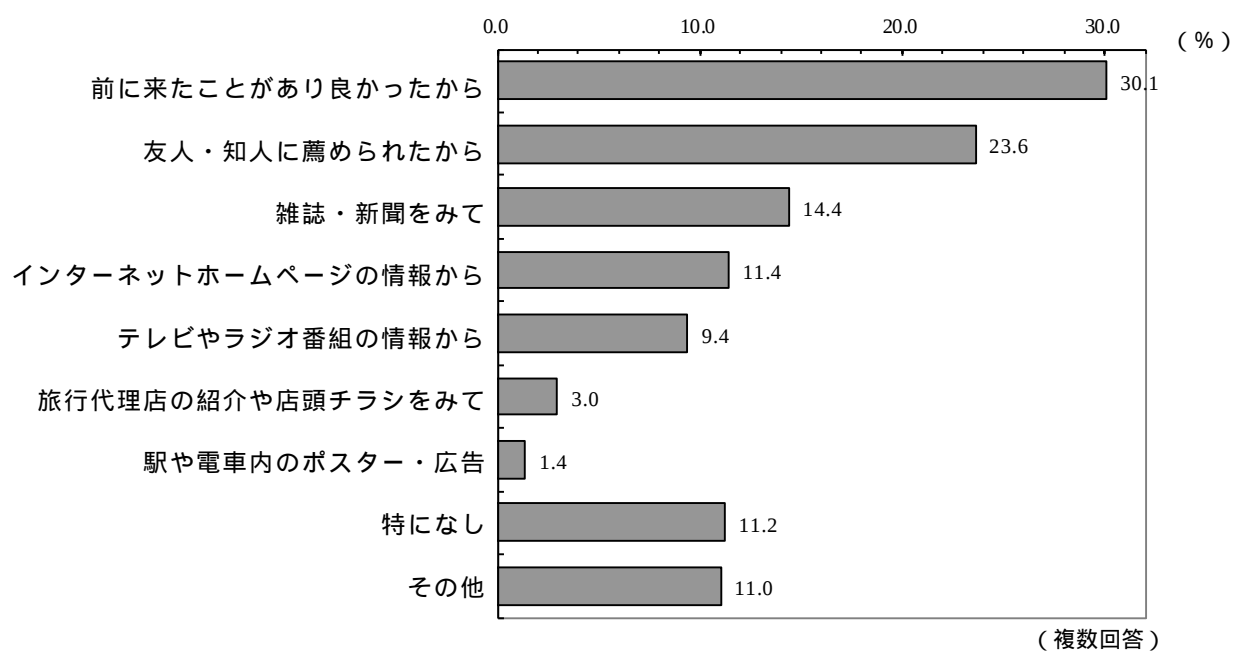


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点 \ きっかけ	雑誌・新聞をみて	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	テレビやラジオ番組の情報から	ホームページの情報からインターネット	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城	17.3	19.5	33.8	15.1	14.9	6.5	1.3	12.0	10.7	131.1
熱田神宮	6.2	29.1	20.3	5.6	11.8	4.2	0.0	13.7	20.6	111.5
ノリタケの森	10.9	24.9	26.8	3.5	12.5	4.3	1.0	12.6	12.1	108.6
名古屋港水族館	5.3	45.0	10.8	11.8	3.2	2.9	0.0	13.3	14.2	106.5
名古屋まつり	29.2	34.1	9.1	12.2	6.6	0.3	4.7	16.6	9.3	122.1
イベント会場	13.2	26.3	39.9	6.1	19.9	0.5	0.5	0.8	4.1	111.3
全 体	14.4	30.1	23.6	9.4	11.4	3.0	1.4	11.2	11.0	115.5

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況をみると、一人あたりの（以下 平均）訪問施設数は1.56施設である。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ポストン美術館
名古屋城		2.1	3.5	6.4	3.5	12.7	0.8	1.9	0.3	6.4	0.5	0.3	0.6
熱田神宮	19.3	2.4	3.2	2.9	2.6		3.4	0.5	0.5	4.5	0.2	0.2	0.8
ノリタケの森	23.7	7.8		10.5	8.6	7.6	1.3	2.3	0.5	3.2	1.0	0.8	1.6
名古屋港水族館	5.3	0.6	0.8	0.5	0.5	1.1	0.2	2.6	0.3	1.0	0.2	0.2	0.3
名古屋まつり	18.4	0.0	0.8	0.8	3.2	0.8	0.6	2.9	0.5	2.8	0.5	0.3	0.2
イベント会場	1.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

訪問施設 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
名古屋城	4.3	0.3	0.3	0.5	2.7	0.8	0.3	0.0	3.4	1.8	6.1	1.60
熱田神宮	1.9	0.0	0.2	0.2	1.6	0.5	0.3	0.3	3.8	2.7	25.9	1.78
ノリタケの森	1.6	0.8	0.5	0.6	1.9	0.8	0.0	1.1	6.8	1.5	10.5	1.95
名古屋港水族館	1.8	0.2	0.2	0.6		8.2	3.4	0.0	1.4	3.7	7.4	1.40
名古屋まつり	0.0	0.2	0.2	2.9	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	20.1	1.56
イベント会場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.1	1.3	3.8	1.08

（複数回答）

一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.56 = \{ 3,720 (a) + 2,092 (b) \} \div 3,720 (a)$$

d．旅行形態

全体では、「友人・知人」が35.5%で、「夫婦」や「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」が合計で41.2%、「ひとり」が16.9%となっている。

観光地点別にみると、「イベント会場」、「名古屋城」、「ノリタケの森」の入込客は「友人・知人」の割合が4割前後と高い。「名古屋港水族館」と「名古屋まつり」の入込客は「家族連れ」が過半数を占める。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合 計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		14.3	45.6	5.0	16.9	10.9	4.3	0.8	2.2	100.0
熱田神宮		29.9	23.2	13.3	17.2	9.7	5.9	0.0	0.8	100.0
ノリタケの森		11.0	39.3	5.3	16.3	18.7	8.1	0.0	1.3	100.0
名古屋港水族館		7.1	32.1	29.0	8.6	13.1	5.1	0.0	5.0	100.0
名古屋まつり		24.4	15.4	23.0	23.3	12.9	0.2	0.0	0.8	100.0
イベント会場		14.7	58.0	13.1	6.1	4.3	0.2	0.0	3.6	100.0
全 体		16.9	35.5	14.8	14.8	11.6	4.0	0.1	2.3	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では5.6%である。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「甲信越」をはじめ、「その他」からの入込客では2割前後と多く、「関東」、「北陸」からの入込客でも1割台が利用している。

宿泊客では「パッケージ旅行」を14.1%が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位：％）

観光地点・地域・宿泊		旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
観光地点	名古屋城		8.3	91.7	100.0
	熱田神宮		7.8	92.2	100.0
	ノリタケの森		10.3	89.7	100.0
	名古屋港水族館		6.6	93.4	100.0
	名古屋まつり		0.5	99.5	100.0
	イベント会場		0.2	99.8	100.0
	全 体		5.6	94.4	100.0
地域	東 海		2.0	98.0	100.0
	名古屋市		0.2	99.8	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）		2.0	98.0	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県		6.6	93.4	100.0
	関 東		12.7	87.3	100.0
	近 畿		9.5	90.5	100.0
	北 陸		16.4	83.6	100.0
	甲信越		22.5	77.5	100.0
	その他		18.4	81.6	100.0
宿泊	宿泊客		14.1	85.9	100.0
	日帰り客		3.5	96.5	100.0

旅行費用

a. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」が 38.6%と最も多く、次いで、「1,000～3,000 円未満」が 29.1%、「交通費はかからない」が 22.7%となっている。市内交通費の平均額は 1,154 円であり、昨年度（1,152 円）とほぼ同額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000 円未満」の割合が最も多く、平均額も 2,386 円となっている。一方、「名古屋市内」では「交通費はかからない」（42.1%）の割合が比較的多く、平均額は 407 円と低額である。

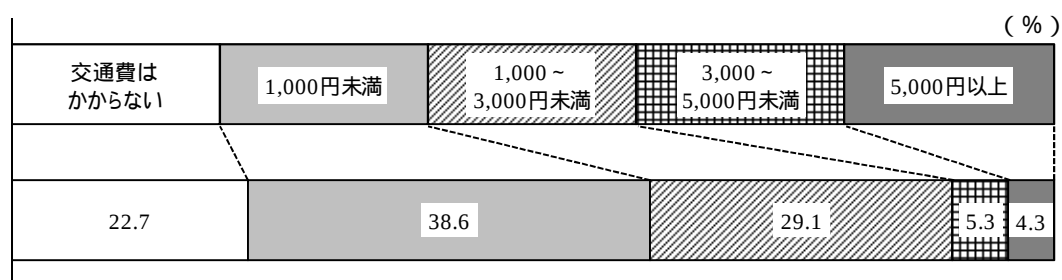


図 2-1-4 入込客の市内交通費

表 2-1-8 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	17.5	36.5	30.5	8.7	6.8	100.0	1,493
	熱田神宮	29.4	37.1	28.2	3.7	1.6	100.0	755
	ノリタケの森	14.3	29.2	40.7	6.1	9.7	100.0	1,862
	名古屋港水族館	16.5	36.5	36.0	6.8	4.2	100.0	1,254
	名古屋まつり	41.1	45.7	11.9	1.0	0.3	100.0	467
	イベント会場	16.2	45.4	28.7	6.2	3.5	100.0	1,189
地域×宿泊	名古屋市内	42.1	43.9	13.3	0.5	0.2	100.0	407
	宿泊客	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	100.0	1,888
	日帰り客	42.3	44.0	13.1	0.5	0.1	100.0	401
	名古屋市外	12.2	35.8	37.6	8.0	6.4	100.0	1,557
	宿泊客	7.4	22.2	44.9	12.7	12.8	100.0	2,386
	日帰り客	14.2	41.2	34.6	6.1	3.9	100.0	1,228
全 体		22.7	38.6	29.1	5.3	4.3	100.0	1,154

b. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する予定なし」という回答が全体では55.1%と過半数を占めている。支出額としては、「2,000～5,000円未満」(17.2%)が最も多い。土産代の平均額は1,793円であり、昨年度(1,921円)と比較すると128円の減額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では高く、「名古屋港水族館」や「熱田神宮」でも半数前後を占めている。一方、「名古屋まつり」の入込客では購入する割合は19.7%と低く、平均額は540円と少額である。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「土産を購入する」割合が9割近くを占め、平均額は5,039円と高額である。

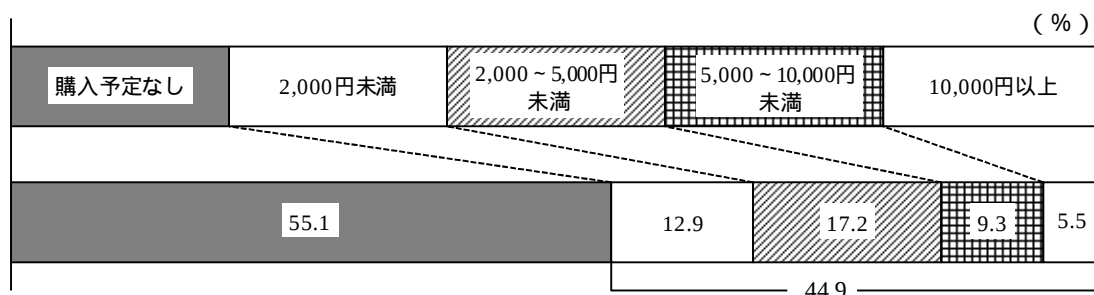


図 2-1-5 入込客の市内での土産代

表 2-1-9 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		土産代					合 計	平均額 (円)
		購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	35.8	18.9	25.3	13.1	6.9	100.0	2,445
	熱田神宮	56.0	12.1	16.9	9.1	5.9	100.0	1,800
	ノリタケの森	33.6	9.2	23.4	20.5	13.3	100.0	3,702
	名古屋港水族館	50.0	21.9	18.9	6.3	2.9	100.0	1,367
	名古屋まつり	80.3	9.2	7.4	2.1	1.0	100.0	540
	イベント会場	73.9	6.0	11.5	5.3	3.3	100.0	1,011
地域×宿泊	名古屋市	80.8	11.3	6.8	0.8	0.3	100.0	344
	宿泊客	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	100.0	2,400
	日帰り客	81.0	11.1	6.8	0.8	0.3	100.0	336
	名古屋市外	42.4	13.8	22.3	13.5	8.0	100.0	2,508
	宿泊客	13.4	11.1	31.4	24.7	19.4	100.0	5,039
	日帰り客	55.2	14.9	18.3	8.6	3.0	100.0	1,397
全 体		55.1	12.9	17.2	9.3	5.5	100.0	1,793

c. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「500～2,000円未満」が最も多く4割を占める。次いで「2,000～5,000円未満」が24.7%で、「500円未満」は17.5%である。食事代の平均額は2,581円であり、昨年度(2,823円)と比較すると242円の減額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000円以上」が6割と多く、平均額は6,929円と高額である。一方、「日帰り客」では「2,000円未満」の割合が過半数を占めている。

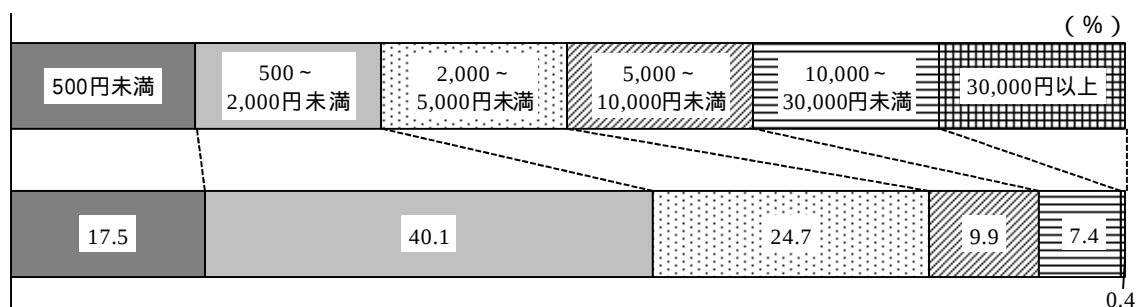


図 2-1-6 入込客の市内での食事代

表 2-1-10 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内食事代		500円未満	500～2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観 光 地 点	名古屋城	7.2	34.7	32.9	14.3	10.6	0.3	100.0	3,347
	熱田神宮	25.7	27.9	23.0	12.6	10.5	0.3	100.0	2,907
	ノリタケの森	5.5	27.1	33.8	17.5	14.9	1.2	100.0	4,199
	名古屋港水族館	22.9	44.0	22.0	6.8	4.0	0.3	100.0	1,900
	名古屋まつり	24.5	57.4	13.5	3.1	1.5	0.0	100.0	1,250
	イベント会場	18.9	49.3	23.3	5.2	3.0	0.3	100.0	1,918
地 域 × 宿 泊	名古屋市	26.4	55.0	15.9	2.2	0.5	0.0	100.0	1,091
	宿泊客	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	100.0	2,400
	日帰り客	26.5	55.1	15.7	2.2	0.5	0.0	100.0	1,085
	名古屋市外	13.1	32.7	29.1	13.7	10.8	0.6	100.0	3,316
	宿泊客	2.4	7.7	26.0	31.0	31.0	1.9	100.0	6,929
	日帰り客	17.7	43.6	30.4	6.2	2.0	0.1	100.0	1,746
全 体		17.5	40.1	24.7	9.9	7.4	0.4	100.0	2,581

d. 市内での宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は15.4%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は8,081円であり、昨年度（10,132円）と比較すると2,051円の大幅減額となっている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000円未満」の割合は61.6%と6割以上を占める。

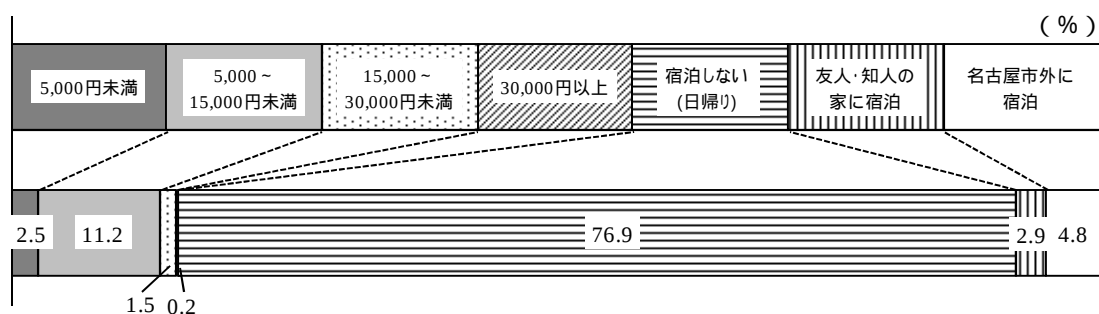


図 2-1-7 入込客の市内での宿泊代

表 2-1-11 入込客の市内での宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	宿泊しない (日帰り)	友人・知人の 家に宿泊	名古屋市外に宿泊	合 計	平均額 (円)
観 光 地 点	名古屋城	4.7	17.7	3.5	0.3	57.6	4.5	11.7	100.0	8,515
	熱田神宮	4.1	14.8	0.8	0.2	69.8	3.9	6.4	100.0	7,015
	ノリタケの森	3.9	21.3	4.0	0.2	60.3	5.1	5.2	100.0	8,567
	名古屋港水族館	1.5	5.6	0.3	0.0	85.7	2.3	4.6	100.0	7,711
	名古屋まつり	0.2	2.0	0.0	0.3	96.4	0.8	0.3	100.0	10,733
	イベント会場	1.2	6.4	0.2	0.0	90.6	0.8	0.8	100.0	6,992
地 域 × 宿 泊	名古屋市	0.1	0.1	0.0	0.0	99.6	0.2	0.0	100.0	4,750
	宿泊客	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	100.0	4,750
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	-
	名古屋市外	3.8	16.9	2.2	0.3	65.3	4.2	7.3	100.0	8,093
	宿泊客	13.9	61.6	8.1	0.9	0.0	15.5	0.0	100.0	8,093
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	0.0	10.0	100.0	-
全 体		2.5	11.2	1.5	0.2	76.9	2.9	4.8	100.0	8,081

注：平均額は「宿泊しない」「友人・知人の家に宿泊」「名古屋市外に宿泊」のデータを含まず算出

e．市内での入場料

全体を見ると「入場料がかからない」と回答した割合は46.4%と半数近い。

観光地点別に見ると入場料を支払っている「名古屋城」は「1,000 円未満」、「名古屋港水族館」は「1,000～3,000 円未満」が6割を超えている。

地域別に見ると、名古屋市外から来ている人の方が、入場料を支払っている割合が高い。

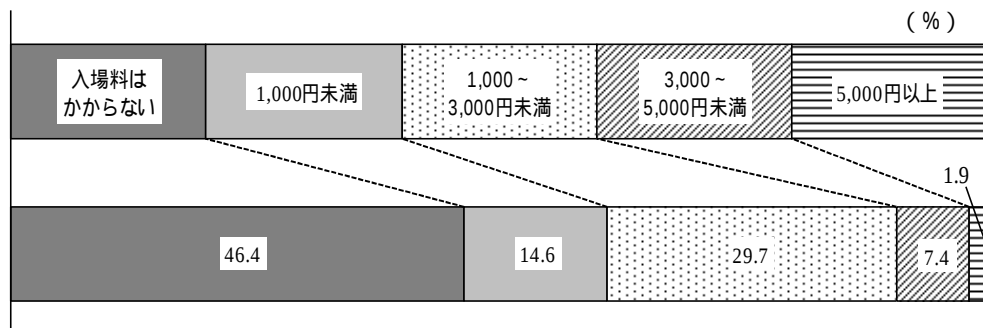


図 2-1-8 入込客の市内での入場料

表 2-1-12 入込客の市内での入場料（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

入場料		入場料は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観 光 地 点	名古屋城	11.5	65.3	20.5	1.8	0.9	100.0	717
	熱田神宮	77.7	11.4	10.1	0.5	0.3	100.0	311
	ノリタケの森	52.6	12.2	27.3	4.1	3.8	100.0	886
	名古屋港水族館	18.8	0.5	68.7	7.7	4.3	100.0	1,834
	名古屋まつり イベント会場	95.9	1.8	2.1	0.2	0.0	100.0	38
		16.0	0.3	52.2	29.4	2.1	100.0	2,061
地 域 × 宿 泊	名古屋市	69.3	9.8	17.3	3.3	0.3	100.0	452
	宿泊客	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	100.0	600
	日帰り客	69.4	9.8	17.2	3.3	0.3	100.0	452
	名古屋市外	35.0	17.1	35.9	9.4	2.6	100.0	1,220
	宿泊客	27.1	24.9	36.2	7.8	4.0	100.0	1,285
	日帰り客	38.4	13.7	35.7	10.2	2.0	100.0	1,192
全 体		46.4	14.6	29.7	7.4	1.9	100.0	965

f. その他費用

これまでの項目以外の費用として、平均 1,072 円となっている。

特に、名古屋市外から来ている人が、名古屋市内の人より倍額以上その他費用がかかっている。

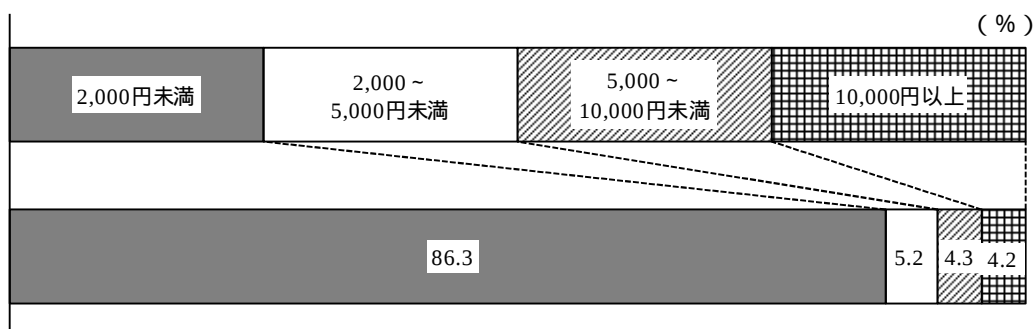


図 2-1-9 入込客のその他費用

表 2-1-13 入込客のその他費用（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

その他の費用 地点・地域×宿泊		2,000 円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000 円 以上	合 計	平均額 （円）
観 光 地 点	名古屋城	82.5	6.3	5.7	5.5	100.0	1,240
	熱田神宮	85.6	5.3	5.0	4.1	100.0	1,347
	ノリタケの森	75.7	9.3	8.3	6.7	100.0	1,768
	名古屋港水族館	87.4	4.8	3.9	3.9	100.0	851
	名古屋まつり イベント会場	93.0	2.4	1.5	3.1	100.0	724
		92.4	3.5	2.0	2.1	100.0	553
地 域 × 宿 泊	名古屋市	92.3	3.0	2.5	2.2	100.0	609
	宿泊客	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	200
	日帰り客	92.2	3.1	2.5	2.2	100.0	611
	名古屋市外	83.2	6.3	5.3	5.2	100.0	1,305
	宿泊客	75.9	6.8	8.4	8.9	100.0	2,074
	日帰り客	86.3	6.1	4.0	3.6	100.0	979
全 体		86.3	5.2	4.3	4.2	100.0	1,072

来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の67.1%）の来名回数としては、「10回以上」が54.7%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は18.5%である。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

回 数		はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10回以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	42.2	12.9	8.5	6.9	29.5	100.0
	熱田神宮	18.1	10.0	8.0	13.4	50.5	100.0
	ノリタケの森	22.3	14.9	9.4	12.5	40.9	100.0
	名古屋港水族館	8.6	6.0	5.8	12.1	67.5	100.0
	名古屋まつり	5.3	1.8	3.5	5.3	84.1	100.0
	イベント会場	6.0	3.7	5.6	10.5	74.2	100.0
地 域	東 海	2.5	2.0	3.0	6.4	86.1	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	1.2	0.7	1.6	3.0	93.5	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	4.7	4.3	5.5	12.3	73.2	100.0
	東海以外	37.3	17.1	12.1	15.4	18.1	100.0
全 体		18.5	9.0	7.2	10.6	54.7	100.0

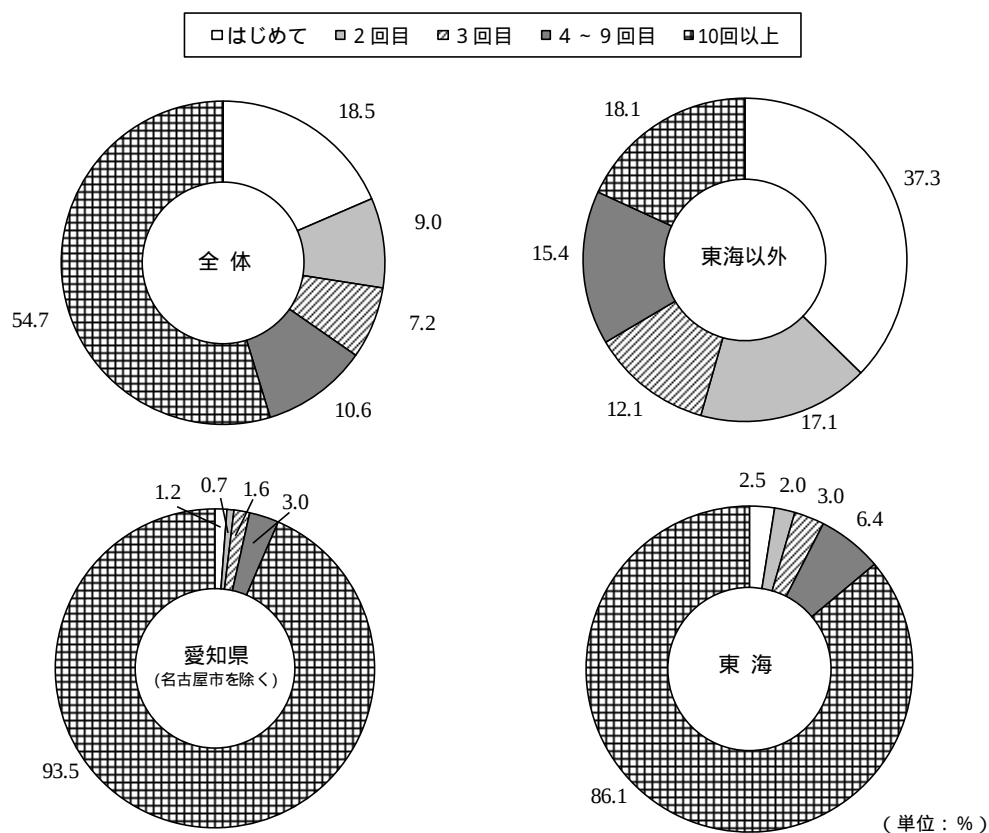


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

交通機関

名古屋市外に居住する方の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が51.1%と半数みられ、次いで「ＪＲ」が23.9%、「名鉄電車」が9.6%となっている。

居住地別にみると、東海では各地域とも「自家用車」が最も多い。また、「東海以外」からの入込客でも「自家用車」が39.7%と最も多い。

旅行形態別にみると、「ひとり」などでは「ＪＲ」、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」や「友人・知人」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が最も多い。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関 地点・地域・旅行形態		Ｊ Ｒ	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
観 光 地 点	名古屋城	25.8	7.9	5.2	43.2	4.2	1.2	11.2	2.5	101.2
	熱田神宮	31.2	10.5	2.2	38.8	3.2	0.7	8.8	7.3	102.7
	ノリタケの森	42.7	11.2	6.5	26.2	5.7	3.7	8.8	4.1	108.9
	名古屋港水族館	16.0	9.7	1.6	60.8	1.4	0.5	8.1	2.3	100.4
	名古屋まつり	22.4	26.5	6.5	36.5	2.4	1.8	1.2	5.3	102.6
	イベント会場	5.4	3.1	0.8	88.7	0.2	0.2	0.0	1.9	100.3
地 域	東 海	13.3	15.8	3.6	60.9	0.0	0.7	4.2	3.3	101.8
	愛知県（名古屋市を除く）	11.0	21.3	1.6	61.5	0.0	0.8	2.0	3.6	101.8
	岐阜県	19.4	13.4	3.2	55.9	0.0	0.0	5.4	3.2	100.5
	三重県	8.3	2.1	20.0	67.6	0.0	0.7	1.4	1.4	101.5
	静岡県	22.9	1.3	0.0	57.3	0.0	0.6	17.2	3.2	102.5
	東海以外	36.3	2.3	3.4	39.7	6.2	2.1	9.9	4.1	104.0
旅 行 形 態	ひとり	37.3	18.2	3.6	30.6	3.3	3.3	0.3	7.3	103.9
	友人・知人	25.7	11.0	4.0	52.7	1.8	0.6	3.1	3.4	102.3
	家 族	11.7	5.5	1.0	80.1	0.7	1.0	0.7	0.7	101.4
	夫婦	22.3	8.9	5.0	59.3	2.7	0.3	2.7	2.4	103.6
	その他	27.1	5.2	5.2	53.2	6.8	3.9	1.3	2.3	105.0
	団体旅行	6.6	0.7	0.0	3.3	3.3	0.0	80.8	6.0	100.7
	その他	18.0	8.2	0.0	52.5	9.8	0.0	1.6	11.5	101.6
全 体		23.9	9.6	3.5	51.1	2.9	1.3	6.8	3.6	102.7

（複数回答）

名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では 20.1% である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」が最も多く、以下、「伊勢・志摩」、「明治村・犬山」、「知多・常滑・セントレア」となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「熱田神宮」、「ノリタケの森」の入込客では 3 割台と高く、「名古屋城」の入込客でも 2 割台みられる。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が 34.4% と高く、訪問先としては「伊勢・志摩」が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

（単位：％）

訪問地		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	岐阜・関ヶ原	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	その他	訪問地合計
観光地点	観光地点・宿泊																
	名古屋城	72.1	6.4	7.1	2.3	3.7	1.9	2.3	2.9	1.7	2.9	1.5	0.6	0.6	1.5	2.7	38.1
	熱田神宮	68.5	5.4	4.4	4.9	3.9	2.0	1.5	3.2	2.2	0.2	0.0	0.7	0.5	0.7	9.0	38.6
	ノリタケの森	69.9	5.5	8.6	6.1	2.5	4.3	4.7	2.2	1.8	0.6	1.4	1.6	0.8	0.2	0.8	41.1
	名古屋港水族館	87.0	5.3	0.9	1.4	4.2	1.2	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	2.1	17.1
	名古屋まつり	94.1	0.0	0.6	2.4	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	6.0
	イベント会場	95.1	1.7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.4	1.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	1.0	5.1
宿泊	宿泊客	65.6	5.9	8.9	5.9	3.4	2.8	2.8	2.8	2.8	0.7	1.2	1.2	1.1	0.4	5.1	45.0
	日帰り客	86.2	3.9	1.8	1.5	2.2	1.3	1.4	1.1	0.9	0.7	0.3	0.3	0.2	0.5	1.7	17.8
全 体		79.9	4.5	4.0	2.8	2.6	1.8	1.8	1.6	1.4	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	2.8	26.1

（複数回答）

旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が62.5%であり、「2日以上」の割合は合わせて37.5%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では57.8%と高く、「熱田神宮」、「ノリタケの森」の入込客でも半数以上となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「日帰り」の割合が9割近くを占めている。

居住地別にみると、「東海」居住者では大半が「日帰り」である。一方、「その他」からの入込客ではほとんどが「2日以上」で9割近くを占めている。また、「関東」からの入込客では8割以上、「北陸」からの入込客では8割近く、「甲信越」からの入込客でも6割台となっている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

（単位：％）

日 程		日帰り	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
観 光 地 点	名古屋城	42.2	45.3	9.8	0.6	2.1	100.0
	熱田神宮	48.0	32.0	15.4	2.9	1.7	100.0
	ノリタケの森	46.8	38.5	10.8	2.1	1.8	100.0
	名古屋港水族館	76.6	15.5	4.6	2.1	1.2	100.0
	名古屋まつり	86.5	6.5	4.7	1.7	0.6	100.0
	イベント会場	88.3	9.7	1.2	0.8	0.0	100.0
地 域	東 海	94.0	5.1	0.5	0.3	0.1	100.0
	関 東	14.7	57.6	22.0	3.7	2.0	100.0
	近 畿	44.1	46.2	8.4	0.8	0.5	100.0
	北 陸	22.4	64.2	10.4	1.5	1.5	100.0
	甲信越	39.3	47.2	6.7	3.4	3.4	100.0
	その他	10.6	48.4	26.3	6.9	7.8	100.0
全 体		62.5	26.7	7.9	1.6	1.3	100.0

市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の25.1%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は81.4%である。その泊数としては、「1泊」する割合が60.8%と最も高く、「2泊」する割合が15.7%となっている。

全ての階層で「1泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「名古屋城」や「名古屋港水族館」では2割台みられる。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「東海」で3割近く、「近畿」や「甲信越」からの入込客で2割前後と比較的多い。また、「2泊以上」する割合は「その他」からの入込客では4割程度と多い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

市内宿泊数 観光地点・地域		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	合 計
観 光 地 点	名古屋城	25.2	59.7	11.9	1.1	2.1	100.0
	熱田神宮	17.9	57.3	21.1	2.8	0.9	100.0
	ノリタケの森	11.9	65.4	18.1	2.3	2.3	100.0
	名古屋港水族館	27.7	52.5	9.9	5.9	4.0	100.0
	名古屋まつり	8.7	43.5	34.8	8.7	4.3	100.0
	イベント会場	8.3	78.3	6.7	6.7	0.0	100.0
地 域	東 海	27.2	59.2	7.4	6.2	0.0	100.0
	関 東	16.4	62.9	17.3	1.9	1.5	100.0
	近 畿	23.1	65.1	9.9	1.4	0.5	100.0
	北 陸	15.4	73.1	9.6	1.9	0.0	100.0
	甲信越	18.5	66.7	7.4	3.7	3.7	100.0
	その他	15.0	47.9	26.8	4.6	5.7	100.0
全 体		18.6	60.8	15.7	2.9	2.0	100.0

名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が48.2%と最も多く、「大変満足」が30.3%で合わせた78.5%が満足と評価している。「普通」が20.9%であり、「やや不満」「不満」は僅かである。

観光地点別にみると、満足と評価している割合は「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋港水族館」の入込客では8割以上と高い。「イベント会場」の入込客では「普通」が3割近くと比較的多い。不満を感じる割合は総じて低い。

居住地別にみても、大きな差異はみられない。

性別にみると、男性より女性で満足度は高くなっている。

年齢別にみると、「大変満足」の割合は10歳代と20歳代の若者は4割前後と高くなっている。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地点・地域・性別・年齢							
観光地点	名古屋城	35.2	49.2	15.4	0.2	0.0	100.0
	熱田神宮	32.3	49.3	17.4	1.0	0.0	100.0
	ノリタケの森	15.4	58.0	26.6	0.0	0.0	100.0
	名古屋港水族館	43.8	41.3	13.5	0.5	0.9	100.0
	名古屋まつり	18.8	57.7	22.9	0.6	0.0	100.0
	イベント会場	30.8	39.6	29.2	0.2	0.2	100.0
地域	東 海	30.5	46.0	22.7	0.5	0.3	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	28.4	47.2	23.3	0.6	0.5	100.0
	岐阜県	37.8	38.4	23.3	0.5	0.0	100.0
	三重県	28.3	49.0	22.7	0.0	0.0	100.0
	静岡県	35.0	45.9	18.5	0.6	0.0	100.0
	関 東	30.6	52.9	16.5	0.0	0.0	100.0
	近 畿	29.9	46.3	23.2	0.3	0.3	100.0
	北 陸	24.2	54.6	21.2	0.0	0.0	100.0
	甲信越	27.0	57.3	14.6	1.1	0.0	100.0
	その他	33.2	50.2	16.6	0.0	0.0	100.0
性別	男 性	29.9	47.6	22.1	0.2	0.2	100.0
	女 性	30.8	48.7	19.8	0.5	0.2	100.0
年齢	10～19歳	46.8	41.7	11.5	0.0	0.0	100.0
	20～29歳	38.9	42.1	18.3	0.6	0.1	100.0
	30～39歳	27.0	48.9	23.5	0.2	0.4	100.0
	40～49歳	24.2	50.9	24.9	0.0	0.0	100.0
	50～59歳	20.6	54.3	24.4	0.7	0.0	100.0
	60～69歳	26.2	51.7	20.7	0.7	0.7	100.0
	70歳以上	28.1	54.8	17.1	0.0	0.0	100.0
全 体		30.3	48.2	20.9	0.4	0.2	100.0

b . 満足した名古屋の観光資源

名古屋市以外からの入込客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「歴史的な施設(名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等)」が35.3%と最も高く、「レジャー施設(動植物園、水族館等)」が17.7%、「お祭り・イベント」が15.5%、「産業観光・ものづくりの施設(産業記念館、ノリタケの森等)」が14.9%「グルメ・なごやめし」が9.4%で続き、「都心部でのショッピングや街歩き(名古屋駅、栄、大須)」が5.2%となっている。

観光地点別にみると、当然ながら、訪れた施設についての割合は高く、特に「名古屋城」の入込客で評価は良好である。そのほか「ノリタケの森」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が2割みられる。

訪れた観光地点に影響しない観光資源について、居住地別にみると、「北陸」や「関東」、「その他」からの入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が比較的高く、「甲信越」や「北陸」、「その他」からの入込客では「ショッピングや街歩き」が1割以上みられる。

性別には大きな差異はみられない。

年齢別にみると、20歳代では「お祭り・イベント」の割合が2割以上で、「ショッピングや街歩き」の割合は年齢が若いほど高くなっている。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源(地点・地域・性別・年齢別)

(単位: %)

満足した観光資源 地点・地域・性別・年齢		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	81.5	2.9	3.7	8.7	14.1	6.2	1.5	1.2	0.2	11.9	131.9
	熱田神宮	77.1	2.0	2.4	2.7	9.8	0.2	1.5	0.2	0.2	17.1	113.2
	ノリタケの森	28.8	70.6	2.5	12.1	20.0	1.8	2.0	1.0	0.8	6.7	146.3
	名古屋港水族館	1.4	0.9	92.3	1.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.2	5.8	103.9
	名古屋まつり	12.9	1.2	2.9	4.1	7.1	39.4	0.0	0.0	1.2	40.6	109.4
	イベント会場	0.8	0.0	0.0	0.8	1.6	54.6	0.4	0.2	0.0	42.7	101.1
地域	東海	22.3	12.1	22.0	3.3	3.8	21.7	0.6	0.3	0.0	22.8	108.9
	愛知県	21.9	11.9	20.5	3.7	2.8	21.6	0.6	0.1	0.0	25.5	108.6
	岐阜県	17.7	11.8	28.5	2.2	4.3	24.2	1.1	0.5	0.0	17.7	108.0
	三重県	17.9	12.4	22.1	2.1	4.8	29.0	0.7	0.0	0.0	17.2	106.2
	静岡県	33.8	13.4	22.9	3.2	7.6	12.7	0.0	1.3	0.0	19.1	114.0
	関東	58.1	18.7	8.7	5.0	17.2	5.7	1.7	0.5	0.2	12.5	128.3
	近畿	42.5	17.2	16.4	6.1	14.8	13.5	1.1	1.3	0.3	15.3	128.5
	北陸	41.8	19.4	19.4	10.4	17.9	4.5	3.0	1.5	3.0	13.4	134.3
	甲信越	44.9	13.5	27.0	14.6	11.2	5.6	0.0	0.0	0.0	14.6	131.4
	その他	55.3	20.7	6.0	10.1	16.6	6.5	1.8	0.5	2.3	17.5	137.3
性別	男性	32.0	9.4	16.5	3.9	8.1	20.4	0.6	0.6	0.2	23.2	114.9
	女性	38.6	20.5	19.1	6.4	10.6	10.7	1.4	0.5	0.5	14.8	123.1
年齢	10～19歳	24.5	3.6	36.7	6.5	3.6	19.4	0.7	0.0	0.0	15.1	110.1
	20～29歳	28.5	9.1	18.1	5.9	10.8	24.1	1.6	1.0	0.1	21.1	120.3
	30～39歳	35.2	12.1	19.4	6.7	13.4	15.2	0.8	0.4	0.2	21.7	125.1
	40～49歳	38.2	13.5	14.9	5.8	10.9	17.8	0.3	0.5	0.8	19.1	121.8
	50～59歳	42.8	23.0	13.7	4.2	8.3	6.7	1.6	0.3	0.3	16.9	117.8
	60～69歳	44.7	25.6	13.7	2.7	5.1	4.1	0.3	0.3	1.0	15.0	112.5
	70歳以上	37.7	29.5	16.4	0.7	1.4	6.2	0.7	0.0	0.0	15.1	107.7
全体		35.3	14.9	17.7	5.2	9.4	15.5	1.0	0.5	0.4	19.0	118.9

(複数回答)

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が 95.2%と大半を占めている。個別の観光資源としては、「歴史的な施設」が 0.8%で最も多い。

観光地点別にみると、「名古屋港水族館」の入込客では「レジャー施設」に不満を感じる人が若干みられ、3%近くの人が不満を感じている。

居住地別にみると、不満を感じた割合は「北陸」からの入込客で相対的に多い。

性別、年齢別には、大きな差異はみられない。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

不満を感じた 観光資源		施 設	歴 史的 な 施 設	産 業 観 光 ・ も の づ く り 施 設	施 設 レ ジャ ー	グ ャ 街 歩 き シ ョ ッ ピ ン	な ご や め し グ ル メ ・ イ ベ ン ト	お 祭 り ・ イ ベ ン ト	や 観 劇 鑑 賞 コ ン サ ー ト	観 戦 ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
地点・地域・ 性別・年齢													
観 光 地 点	名古屋城	1.7	0.0	0.2	0.8	0.4	0.4	0.0	0.2	0.4	96.3	100.4	
	熱田神宮	0.2	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	2.4	96.8	100.1	
	ノリタケの森	0.6	1.0	0.2	0.6	1.4	0.2	0.2	0.2	1.4	95.1	100.9	
	名古屋港水族館	0.0	0.0	2.8	0.2	0.9	0.2	0.0	0.0	4.2	93.3	101.6	
	名古屋まつり	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	4.1	93.5	100.0	
	イベント会場	1.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	3.1	95.3	100.0	
地 域	東 海	0.4	0.1	0.6	0.0	0.4	0.3	0.0	0.1	2.8	95.5	100.2	
	愛知県	0.5	0.1	0.7	0.0	0.5	0.4	0.0	0.2	3.4	94.9	100.7	
	岐阜県	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	97.8	100.2	
	三重県	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	4.8	94.5	100.7	
	静岡県	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	97.5	100.3	
	関 東	1.5	0.0	0.0	0.7	0.2	0.2	0.2	0.0	1.2	96.3	100.3	
	近 畿	1.6	0.5	1.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	94.7	100.8	
	北 陸	0.0	1.5	0.0	3.0	9.0	0.0	0.0	0.0	6.0	82.1	101.6	
	甲信越	1.1	1.1	1.1	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	2.2	94.4	103.3	
	その他	0.0	0.0	0.5	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	1.4	96.8	100.1	
性 別	男 性	0.9	0.2	0.5	0.4	0.8	0.2	0.0	0.2	2.5	95.0	100.7	
	女 性	0.6	0.2	0.6	0.3	0.6	0.2	0.1	0.0	2.3	95.5	100.4	
年 齢	10～19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.7	0.0	0.0	0.7	95.7	100.0	
	20～29歳	1.1	0.4	0.3	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	1.8	95.9	100.4	
	30～39歳	1.0	0.2	1.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.2	3.6	93.7	100.9	
	40～49歳	0.8	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	3.7	94.4	100.4	
	50～59歳	0.0	0.0	0.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.6	96.8	100.3	
	60～69歳	0.7	0.7	1.0	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	2.7	93.9	101.3	
	70歳以上	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	97.9	100.0	
全 体		0.8	0.2	0.6	0.4	0.7	0.2	0.0	0.1	2.4	95.2	100.6	

（複数回答）

d . 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は67.8%であり、「歴史的な施設」の割合が24.3%と最も多く、「レジャー施設」、「グルメ・なごやめし」、「ショッピングや街歩き」、「お祭り・イベント」、「産業観光・ものづくり施設」の順となっている。

観光地点別にみると、今回訪れた施設とは同じ種類の施設をあげているようである。

居住地別にみると、愛知県と三重県は「レジャー施設」が、その2県を除く全ての地域は「歴史的な施設」が最も多い。

性別にみると、女性の方が次回訪れてみたいと多くの観光資源をあげている。

年齢別にみると、30歳代以上では「レジャー施設」の割合が最も高くなっている。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

訪れてみたい 観光資源		歴史的な 施設	産業観光・も のづくり施設	レジャー 施設	ショッピン グや街歩き	グルメ・ なごやめし	お祭り・ イベント	や観劇鑑賞 コンサート	観戦 スポーツ	その他	特になし	合 計
観光 地点	名古屋城	19.2	9.4	14.6	8.8	12.5	14.2	4.4	6.9	0.8	39.8	130.6
	熱田神宮	36.7	9.5	18.6	12.5	15.6	6.8	4.6	9.8	1.0	19.3	134.4
	ノリタケの森	31.7	13.1	20.9	16.0	23.1	12.3	9.2	7.4	1.0	27.6	162.3
	名古屋港水族館	26.7	6.5	31.6	17.4	10.9	6.0	6.0	5.1	1.2	21.1	132.5
	名古屋まつり	16.6	4.7	17.2	10.1	9.5	13.6	3.6	2.4	2.4	47.9	128.0
	イベント会場	12.8	3.3	15.9	15.3	13.6	14.4	7.2	9.1	1.0	43.9	136.5
	東 海	21.1	6.3	23.3	16.0	11.9	12.7	8.3	7.4	0.9	34.1	142.0
地 域	愛知県	21.5	6.7	25.2	16.9	11.4	13.5	8.5	7.6	0.9	34.0	146.2
	岐阜県	23.7	4.3	16.1	15.6	9.7	8.6	8.6	8.6	0.5	36.6	132.3
	三重県	13.1	4.8	24.1	16.6	13.8	15.9	7.6	6.9	0.0	35.2	138.0
	静岡県	23.1	7.7	20.5	11.5	15.4	10.3	7.1	5.1	1.9	30.8	133.4
	関 東	31.9	10.7	15.0	10.0	19.2	10.2	3.2	4.2	1.7	29.4	135.5
	近 畿	24.5	11.6	17.9	10.3	20.1	10.6	4.0	8.4	1.1	29.3	137.8
	北 陸	29.9	13.4	14.9	14.9	16.4	10.4	4.5	4.5	1.5	22.4	132.8
	甲信越	29.2	4.5	13.5	20.2	14.6	5.6	3.4	6.7	2.2	27.0	126.9
	その他	25.9	7.9	15.3	9.3	15.7	7.4	4.2	11.6	0.5	36.1	133.9
	性 別											
年 齢	男 性	21.2	7.1	16.7	12.5	12.4	11.5	5.4	9.6	1.2	36.5	134.1
	女 性	27.5	9.0	23.0	15.0	17.3	10.9	6.9	5.0	1.0	27.9	143.5
	10～19歳	15.8	3.6	22.3	22.3	12.9	16.5	8.6	10.8	0.7	29.5	143.0
	20～29歳	17.2	5.9	19.2	15.8	15.6	17.2	6.7	9.4	0.4	30.3	137.7
	30～39歳	22.5	7.5	27.3	15.4	15.6	10.5	4.7	7.9	1.8	28.5	141.7
	40～49歳	31.3	10.3	20.2	12.7	16.4	11.4	7.7	8.5	2.1	28.4	149.0
	50～59歳	27.0	10.9	17.0	10.6	18.3	2.3	7.1	3.5	0.6	36.7	134.0
	60～69歳	33.8	10.9	16.4	8.5	9.2	6.5	4.4	4.1	1.0	38.2	133.0
全 体	70歳以上	31.5	7.5	7.5	8.9	10.3	6.2	4.1	2.7	0.7	45.2	124.6
		24.3	8.1	19.9	13.7	14.8	11.2	6.2	7.3	1.1	32.2	138.8

（複数回答）

2 - 2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

調査日時等

- 秋期調査：平成 24 年 11 月 16 日 ~ 12 月 27 日
- 春期調査：平成 25 年 3 月 1 日 ~ 3 月 31 日

調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただいた。

・登録ホテル 12 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、名古屋マリオットアソシアホテル、キャッスルプラザ、サイプレスガーデンホテル、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋、名古屋観光ホテル、名古屋東急ホテル、ヒルトン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、東京第一ホテル錦、ホテルサンルートプラザ名古屋

・ホテル 4 施設

名古屋国際ホテル、メルパルク名古屋、名古屋ガーデンパレス、KKRホテル名古屋

・登録旅館 1 施設

つちやホテル

・旅館 3 施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉、松竹旅館

調査件数

- 秋 期：341 サンプル
- 春 期：268 サンプル
- 合 計：609 サンプル

(2) 調査結果

居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が8.2%、「愛知県（名古屋市を除く）」が11.3%、「岐阜県、三重県、静岡県」が20.7%であり、合わせて「東海」地域が40.2%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が24.9%と多く、「近畿」地域は10.6%、「北陸」地域は4.7%、「甲信越」地域は3.4%、その他の地域が16.2%である。

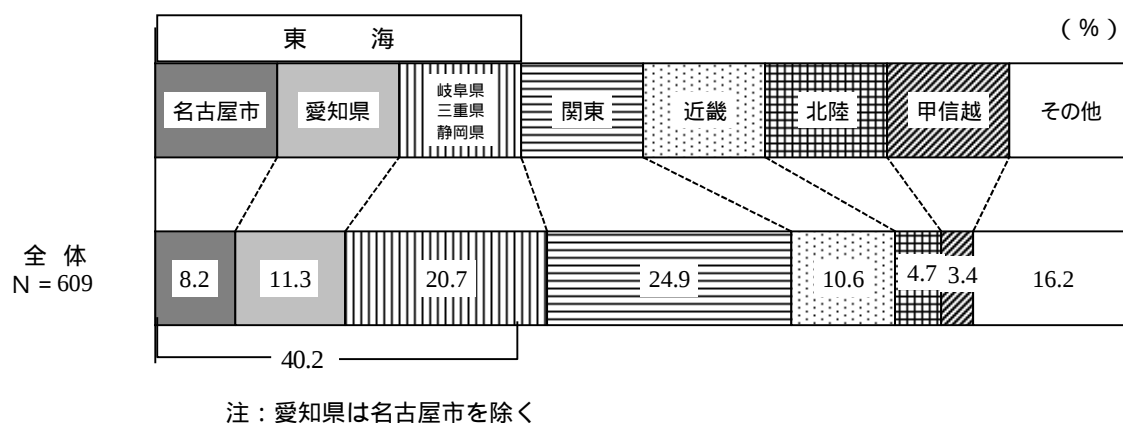


図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「30～39歳」(24.1%)を中心に、「20～29歳」(24.6%)から「40～49歳」(20.6%)で69.3%と7割を占め、「50～59歳」(13.5%)、「60～69歳」(7.6%)、「10～19歳」(7.1%)、「70歳以上」(2.5%)の順となっている。

性別は、男性が48.9%、女性が51.1%と、男女半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では「40～49歳」、女性では「20～29歳」が多くなっている。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
全 体	7.1	24.6	24.1	20.6	13.5	7.6	2.5	100.0
男 性	8.7	18.9	23.6	24.7	12.4	9.1	2.6	48.9
女 性	5.6	30.1	24.6	16.6	14.5	6.2	2.4	51.1

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」をはじめ「観劇・コンサート」、「ショッピング」、「飲食」、「イベント」などの「観光・娯楽」の割合が合わせて 57.9%と過半数を占め、「商用・公用」が 11.5%、「帰省・冠婚葬祭」が 10.5%、「大会・会議に参加」が 7.9%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は、増加傾向を呈しており、「商用・公用」、など仕事や公的な目的の割合は、減少傾向を呈している。一方、「帰省・冠婚葬祭」は 1 割前後で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合も 18.4%と比較的多い。一方、女性では「観光施設の見学」、「観劇・コンサート」などの観光・娯楽の割合が 65.4%と高い。

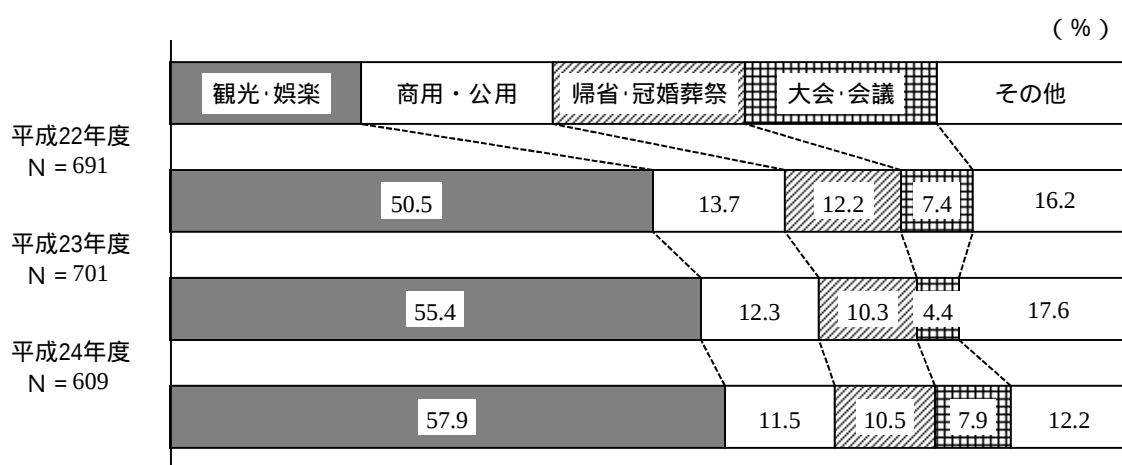


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位 : %)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	17.7	5.8	6.9	6.5	7.6	5.0	18.4	10.8	11.2	10.1	100.0
女性	21.0	7.6	23.0	5.5	4.5	3.8	5.1	10.3	4.8	14.4	100.0
全体	19.4	6.9	14.7	5.8	6.3	4.8	11.5	10.5	7.9	12.2	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（351人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「インターネットホームページの情報から」が最も高く、以下「前に来たことがあり良かったから」、「雑誌・新聞をみて」、「友人・知人に薦められたから」と続いている。

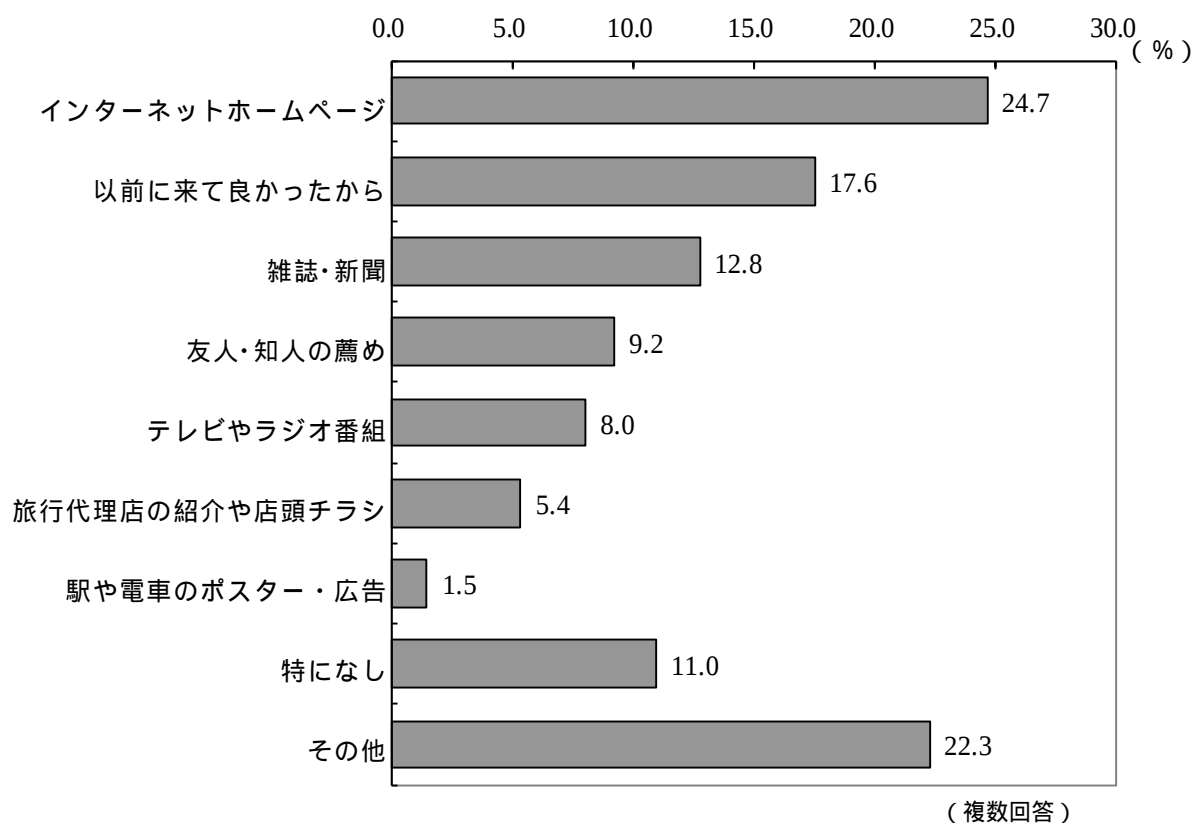


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問すると回答した宿泊客の訪問先施設としては、全体では「名古屋城」が35.4%と最も多く、次いで「熱田神宮」17.4%、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」が11.3%である。以下、「名古屋港水族館」、「テレビ塔」、「名古屋市科学館」、「リニア・鉄道館」と続いており、宿泊客1人あたりの平均訪問施設数は1.68施設である。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合には大きな差異はないものの、平均訪問施設数は「東海」より「東海以外」で0.15多くなっている。訪問施設としては、「名古屋城」のほか「熱田神宮」と歴史的な施設を訪れる割合が高い。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

(単位：%)

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
東 海	26.8	2.6	4.2	5.8	6.8	15.3	0.5	3.7	2.1	10.0	0.5	1.1	2.1
東海以外	40.8	3.0	5.0	6.4	7.7	18.7	0.3	3.3	1.0	8.0	1.7	1.3	2.0
全 体	35.4	2.9	4.7	6.1	7.4	17.4	0.4	3.5	1.4	8.8	1.2	1.2	2.0

訪問施設 地 域	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	一つもなし	平均訪問施設数
東 海	7.9	3.7	0.5	0.5	8.9	6.3	1.6	0.5	18.4	6.3	23.2	3.2	1.59
東海以外	8.4	0.0	1.3	0.3	12.4	3.0	1.3	0.7	6.7	9.0	31.4	2.3	1.74
全 体	8.2	1.4	1.0	0.4	11.0	4.3	1.4	0.6	11.3	8.0	28.2	2.7	1.68

(複数回答)

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数(「なし」の回答は除く)の合計数} / (全回答者数)

d．旅行形態

全体では「友人・知人」が最も多く、「ひとり」は24.7%であり、「家族連れ」の割合は「家族(幼児や小学生連れ)」、「家族(夫婦)」など合わせて36.6%と全体の4割近くを占めている。

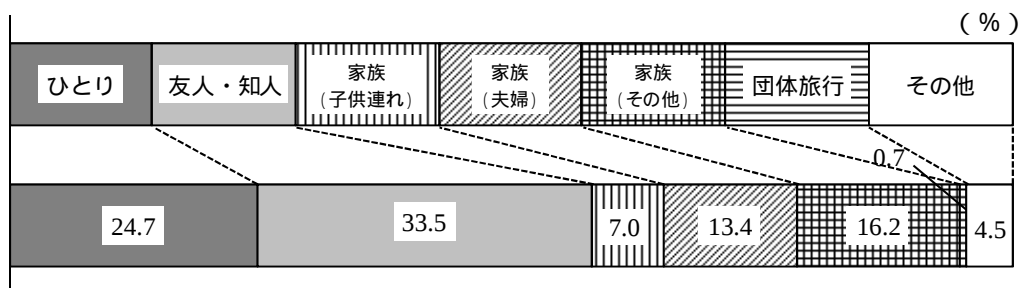


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では9.9%となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では2割以上が、「関東」、「北陸」からの宿泊客でも1割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
東 海		5.0	95.0	100.0
名古屋市		9.1	90.9	100.0
愛知県(名古屋市を除く)		1.7	98.3	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		5.2	94.8	100.0
関 東		10.9	89.1	100.0
近 畿		3.6	96.4	100.0
北 陸		16.7	83.3	100.0
甲信越		5.9	94.1	100.0
その他		21.9	78.1	100.0
全 体		9.9	90.1	100.0

旅行費用

a. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 45.3%と最も多く、次いで「5,000 円以上」、「3,000～5,000 円未満」、「1,000 円未満」、「交通費はかからない」となっている。

居住地別にみると、名古屋市では「1,000～3,000 円未満」の割合が高く、平均額は 2,500 円程度である。また、全体的に「5,000 円以上」が 2 割前後みられ、平均額は 4,500 円以上と高額である。

なお、市内交通費の平均額は 4,548 円であり、昨年度（2,400 円）と比較して 2,148 円の増額となっている。

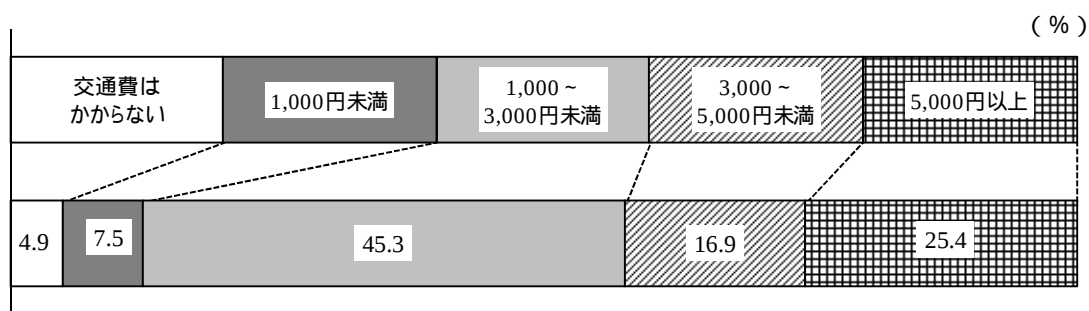


図 2-2-5 宿泊客の市内交通費

表 2-2-5 宿泊客の市内交通費（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内交通費					合 計	平均額 （円）
	交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上		
東 海	6.1	8.1	50.3	15.2	20.3	100.0	3,417
名古屋市	12.5	17.5	47.5	7.5	15.0	100.0	2,515
愛知県(名古屋市を除く)	1.8	7.3	60.0	14.5	16.4	100.0	2,776
岐阜県・三重県・静岡県	5.9	4.9	46.1	18.6	24.5	100.0	4,116
関 東	3.5	9.6	46.9	17.4	22.6	100.0	4,978
近 畿	11.4	4.5	43.2	15.9	25.0	100.0	3,684
北 陸	0.0	10.5	52.6	5.3	31.6	100.0	5,042
甲信越	0.0	0.0	15.4	53.8	30.8	100.0	5,408
その他	2.5	5.0	35.0	17.5	40.0	100.0	6,930
全 体	4.9	7.5	45.3	16.9	25.4	100.0	4,548

b．市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は84.9%であり、購入額は「2,000～5,000円未満」が35.5%と最も多く、以下「5,000～10,000円未満」、「10,000円以上」、「2,000円未満」となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」居住の宿泊客で最も多く、「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」からの宿泊客でも比較的多い。東海以外の地域からの宿泊客では土産を購入する割合は9割前後を占めている。

購入額としては、平均額は、「その他」からの宿泊客が最も高額で、「甲信越」、「岐阜県・三重県・静岡県」と続いており、遠方からの宿泊客ほど購入金額が高い傾向がみられる。

なお、土産代の平均額は4,436円である。昨年度と比較して購入する割合（昨年度82.4%）は2.5ポイント増加、平均額（同4,153円）は283円の増額となっている。

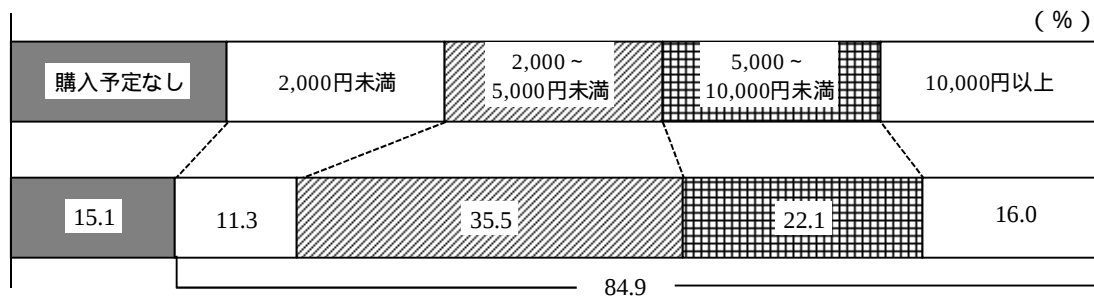


図 2-2-6 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-6 宿泊客の市内での土産代（居住地別）

（単位：％）

地 域	土産代	購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合 計	平均額（円）
東 海		22.2	11.3	35.1	16.8	14.6	100.0	4,114
	名古屋市	41.7	2.8	27.8	19.4	8.3	100.0	3,056
	愛知県（名古屋市を除く）	20.4	18.4	32.7	16.3	12.2	100.0	4,143
	岐阜県・三重県・静岡県	16.0	11.0	39.0	16.0	18.0	100.0	4,480
関 東		10.5	14.5	39.5	25.0	10.5	100.0	3,931
近 畿		11.1	13.3	46.7	20.0	8.9	100.0	3,304
北 陸		0.0	15.0	40.0	30.0	15.0	100.0	4,125
甲信越		6.7	6.7	20.0	40.0	26.6	100.0	5,667
その他		13.8	5.8	26.4	25.3	28.7	100.0	6,287
全 体		15.1	11.3	35.5	22.1	16.0	100.0	4,436

c. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「5,000～10,000円未満」と「10,000～30,000円未満」が多く、以下「2,000～5,000円未満」、「500円未満」、「500～2,000円未満」となっている。

居住地別にみると、「北陸」および「甲信越」からの宿泊客では「5,000～10,000円未満」の割合が5割程度と多い。また、「関東」、「その他」からの宿泊客では、10,000円以上が4割程度みられ、平均額も8,000円を超えている。

なお、食事代の平均額は7,399円であり、昨年度(7,470円)と比較して71円の減額となっている。

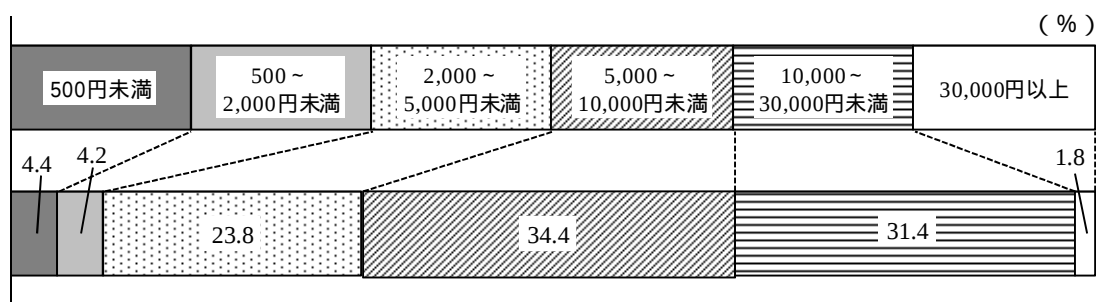


図 2-2-7 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-7 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：％)

地 域	市内食事代						合 計	平均額 (円)
	500円 未満	500～ 2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上		
東 海	4.0	4.9	26.7	33.7	28.7	2.0	100.0	6,978
名古屋市	7.3	7.3	17.1	41.5	24.4	2.4	100.0	6,610
愛知県（名古屋市を除く）	5.3	3.5	24.6	31.6	33.3	1.7	100.0	7,184
岐阜県・三重県・静岡県	1.9	4.9	31.7	31.7	27.9	1.9	100.0	7,010
関 東	0.8	4.0	23.0	34.1	36.5	1.6	100.0	8,037
近 畿	3.8	7.7	34.6	30.8	23.1	0.0	100.0	6,067
北 陸	4.5	0.0	18.2	50.0	27.3	0.0	100.0	6,364
甲信越	0.0	6.7	13.3	53.3	26.7	0.0	100.0	6,967
その他	11.6	1.2	15.1	31.4	37.2	3.5	100.0	8,601
全 体	4.4	4.2	23.8	34.4	31.4	1.8	100.0	7,399

d . 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 70.1%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」となっている。

どの地域からの宿泊客においても「5,000～15,000 円未満」が圧倒的に多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 11,535 円であり、昨年度(12,671 円)と比較して 1,136 円の減額となっている。

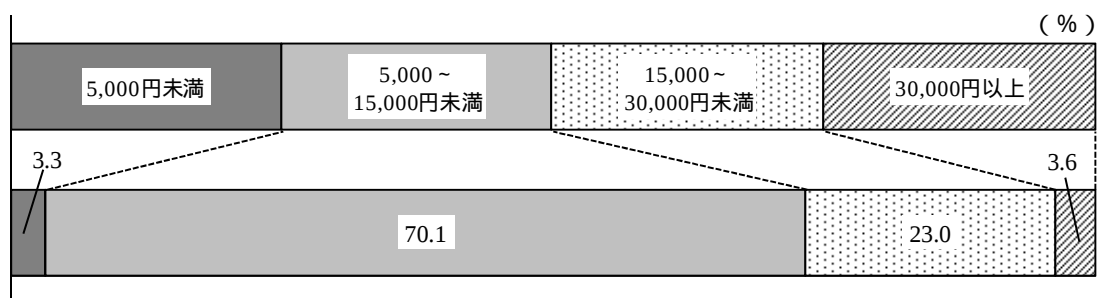


図 2-2-8 宿泊客の宿泊代

表 2-2-8 宿泊客の宿泊代（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内宿泊代	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額（円）
東 海		2.5	64.3	29.2	4.0	100.0	12,227
	名古屋市	7.1	52.4	33.4	7.1	100.0	14,007
	愛知県（名古屋市を除く）	1.8	59.3	35.2	3.7	100.0	12,422
	岐阜県・三重県・静岡県	1.0	71.7	24.5	2.8	100.0	11,422
関 東		5.8	77.5	15.9	0.8	100.0	10,526
近 畿		0.0	82.0	16.0	2.0	100.0	10,076
北 陸		5.6	88.8	5.6	0.0	100.0	8,583
甲信越		6.3	62.4	25.0	6.3	100.0	11,063
その他		2.8	62.5	26.4	8.3	100.0	13,131
全 体		3.3	70.1	23.0	3.6	100.0	11,535

e . 入場料

どの地域からの宿泊客においても、入場料にかかる代金は5,000 円未満が6 割以上となっているなか、「甲信越」からの宿泊客だけは、「5,000 ～10,000 円未満」と答えた人が45.4%で、2,000 円未満という人がおらず、平均額も3,000 円をこえている。

なお、全体の平均額は2,205 円となっている。

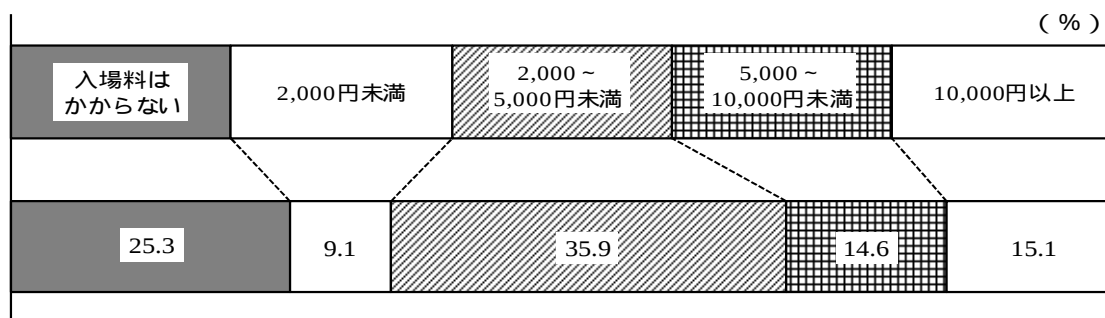


図 2-2-9 宿泊客の入場料

表 2-2-9 宿泊客の入場料（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内入場料					合 計	平均額 （円）
	入場料は かからない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上		
東 海	32.0	3.2	35.3	13.5	16.0	100.0	2,219
名古屋市	34.4	3.1	46.9	12.5	3.1	100.0	1,359
愛知県（名古屋市を除く）	25.6	4.6	32.6	18.6	18.6	100.0	2,770
岐阜県・三重県・静岡県	34.6	2.5	32.1	11.1	19.7	100.0	2,265
関 東	23.2	8.4	42.1	13.7	12.6	100.0	2,224
近 畿	34.1	14.6	29.3	12.2	9.8	100.0	1,580
北 陸	20.0	6.7	46.6	20.0	6.7	100.0	1,767
甲信越	0.0	0.0	27.3	45.4	27.3	100.0	3,182
その他	12.1	22.7	31.8	13.7	19.7	100.0	2,463
全 体	25.3	9.1	35.9	14.6	15.1	100.0	2,205

f．その他費用

これまでの項目以外の費用として、平均 6,370 円となっている。

居住地別にみると、「愛知県（名古屋市を除く）」が 8,000 円と一番高く、「近畿」が 3,904 円と一番安い。

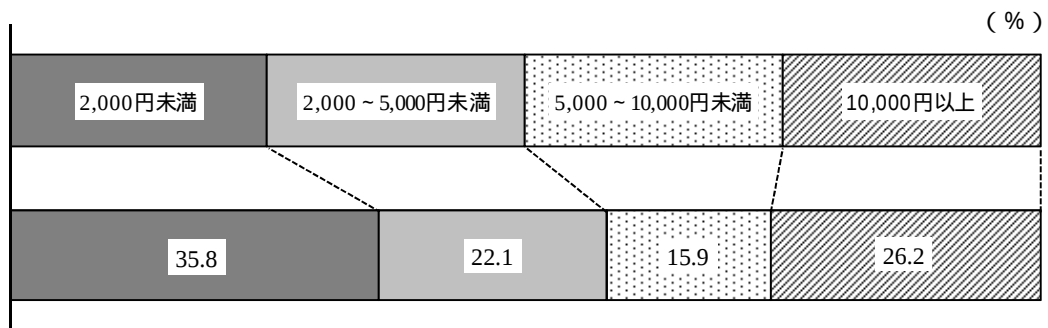


図 2-2-10 宿泊客のその他費用

表 2-2-10 宿泊客のその他費用（居住地別）

（単位：％）

地 域	その他費用	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合 計	平均額（円）
東 海		35.3	23.5	16.2	25.0	100.0	6,767
	名古屋市	35.4	25.8	19.4	19.4	100.0	5,742
	愛知県（名古屋市を除く）	30.3	21.2	12.1	36.4	100.0	8,000
	岐阜県・三重県・静岡県	37.5	23.6	16.7	22.2	100.0	6,644
関 東		32.6	23.2	15.1	29.1	100.0	6,777
近 畿		42.3	30.8	15.4	11.5	100.0	3,904
北 陸		62.5	12.5	0.0	25.0	100.0	4,500
甲信越		20.0	20.0	30.0	30.0	100.0	5,700
その他		38.2	14.5	16.4	30.9	100.0	6,309
全 体		35.8	22.1	15.9	26.2	100.0	6,370

来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市の宿泊客 559 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 31.5%と最も高い。今回「はじめて」の割合は 20.7%であり、以下「4～9 回目」、「2 回目」、「3 回目」となっている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」が 5 割を占め、「はじめて」の割合はごく僅かであるが、「東海以外」からの宿泊客では 28.4%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

（単位：％）

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10回以上	合 計
東 海		5.3	11.6	12.2	18.6	52.3	100.0
愛知県（名古屋市を除く）		0.0	4.9	13.1	4.9	77.1	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		8.1	15.3	11.7	26.1	38.8	100.0
東海以外		28.4	16.0	14.8	19.8	21.0	100.0
全 体		20.7	14.5	13.9	19.4	31.5	100.0

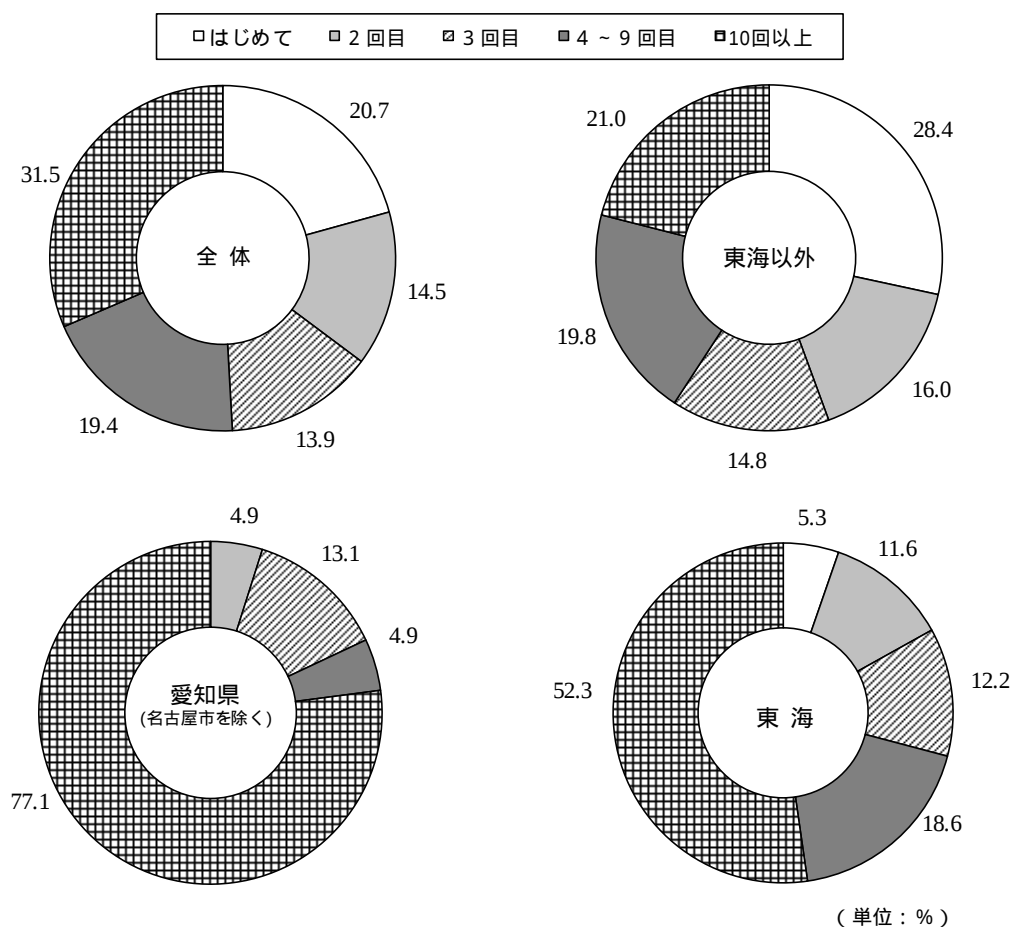


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が 50.8%と最も多く過半数を占めている。次いで「自家用車」であり、「名鉄電車」、「航空機」、「近鉄電車」の順となっている。

居住地別にみると、「愛知県」、「近畿」、「甲信越」からの宿泊客では「自家用車」が、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」が、そのほかの地域では「ＪＲ」が最も多い。また、「その他」の地域からの宿泊客では「航空機」も比較的多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」では「自家用車」が最も多い。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		Ｊ Ｒ	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
地域・旅行形態										
地 域	東 海	37.7	14.9	11.4	36.0	1.1	0.6	0.0	0.0	101.7
	愛知県（名古屋市を除く）	24.6	31.1	3.3	36.1	3.3	1.6	0.0	0.0	100.0
	岐阜県	59.0	17.9	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	三重県	14.7	0.0	50.0	38.2	0.0	0.0	0.0	0.0	102.9
	静岡県	56.1	0.0	2.4	46.3	0.0	0.0	0.0	0.0	104.8
	関 東	74.6	1.4	1.4	20.3	2.2	0.0	0.7	1.4	102.0
	近 畿	40.0	1.7	5.0	51.7	0.0	1.7	0.0	1.7	101.8
	北 陸	56.0	0.0	0.0	36.0	0.0	8.0	0.0	0.0	100.0
	甲信越	23.5	0.0	0.0	76.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	51.0	8.8	1.0	5.9	31.4	1.0	0.0	13.7	112.8
旅 行 形 態	ひとり	61.2	11.2	5.2	13.8	11.2	0.9	0.0	0.0	103.5
	友人・知人	53.3	7.2	6.6	25.7	4.8	1.2	1.2	1.8	101.8
	家 族	幼児・小学生連れ	33.3	2.6	2.6	61.5	2.6	0.0	0.0	102.6
		夫婦	43.7	2.8	4.2	43.7	7.0	0.0	0.0	101.4
		その他	48.2	9.6	2.4	38.6	10.8	2.4	1.2	113.2
	団体旅行	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	41.7	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	50.0	100.1
全 体		50.8	7.3	5.0	29.0	7.1	1.0	0.4	3.3	103.9

（複数回答）

名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は 31.0%であった。その方（152 人）の訪問地としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」が最も多く、「伊勢・志摩」、「明治村・犬山」、「下呂・高山」、「知多・常滑・セントレア」と続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪 問 地	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	下呂・高山	知多・常滑・セントレア	豊田・岡崎・足助	蒲郡・西浦・三谷	岐阜・関ヶ原	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺	多治見・恵那・中津川	瀬戸・小原	その他
	34.2	26.3	22.4	13.8	10.5	9.9	7.9	7.2	7.2	5.3	3.9	3.3	3.3	7.9

（複数回答）

旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2 日」である割合が 75.1%と最も多く、次いで「3 日」が 19.1%となっている。

居住地別にみると、「東海」、「近畿」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では「2 日」の割合は 8 割以上を占めている。また、「3 日」以上の割合は、「その他」からの宿泊客では 5 割以上、「関東」からの宿泊客でも 3 割程度みられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日 程	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
地 域					
東 海	92.4	6.4	0.6	0.6	100.0
関 東	69.0	24.7	4.2	2.1	100.0
近 畿	80.0	16.7	0.0	3.3	100.0
北 陸	88.5	11.5	0.0	0.0	100.0
甲信越	80.0	15.0	5.0	0.0	100.0
その他	47.6	36.9	5.8	9.7	100.0
全 体	75.1	19.1	2.7	3.1	100.0

市内での宿泊日数

居住地が名古屋市の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が78.3%と多く、「2泊」が18.3%となっている。

居住地別にみると、「東海」、「北陸」では9割前後が、名古屋市内で「1泊」である。一方、「その他」からの宿泊客では、名古屋市内で「2泊以上」する割合が、4割程度みられる。

表 2-2-15 名古屋市内からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		90.0	9.4	0.6	0.0	100.0
関 東		71.8	26.1	1.4	0.7	100.0
近 畿		85.0	13.3	0.0	1.7	100.0
北 陸		88.5	11.5	0.0	0.0	100.0
甲信越		80.0	15.0	5.0	0.0	100.0
その他		60.7	27.5	5.9	5.9	100.0
全 体		78.3	18.3	1.9	1.5	100.0

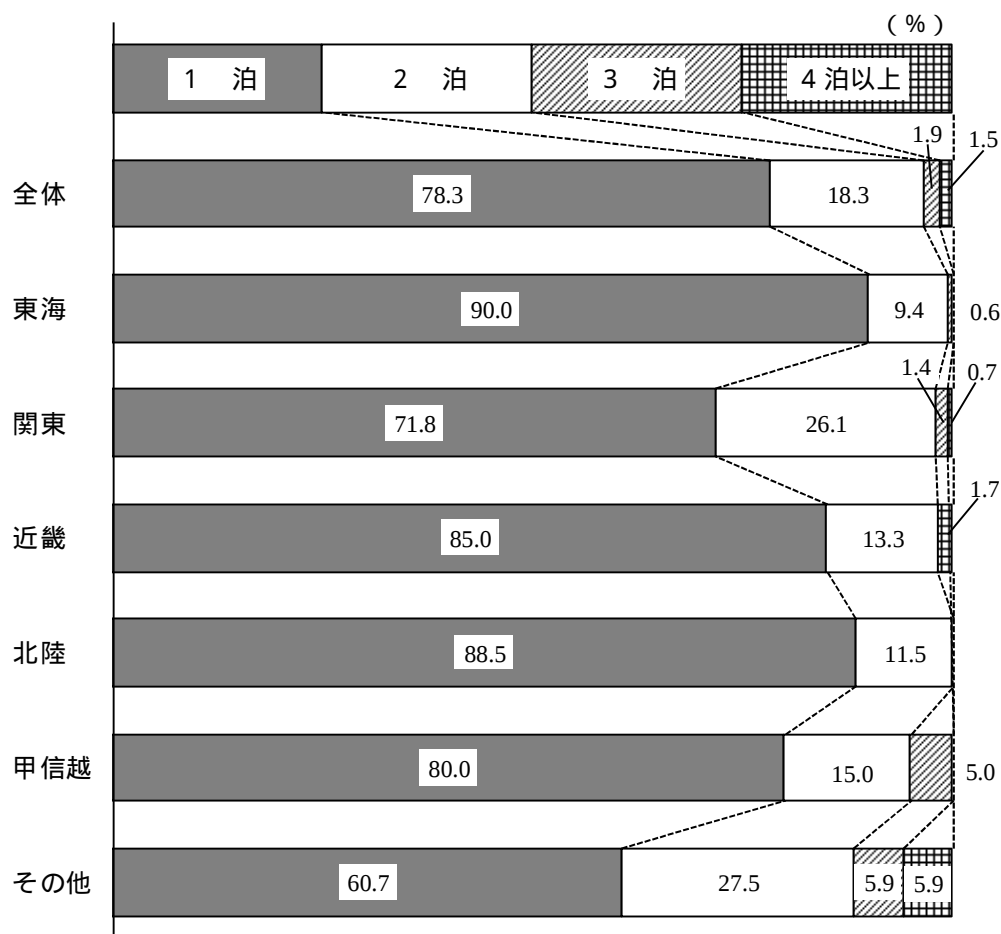


図 2-2-12 名古屋市内からの宿泊客の市内での宿泊日数

名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」と「大変満足」を合わせた 64.0%が満足と評価している。「普通」が 34.2%であり、「やや不満」、「不満」は僅かである。

居住地別にみると、満足と評価する割合は「岐阜」からの宿泊客で高い。一方、「近畿」、「甲信越」からの宿泊客では相対的に低く、「普通」が 4 割程度みられる。

性別にみると、男性より女性で満足度は高い。

年齢別にみると、20 歳代の満足度が高くなっている。

旅行形態別にみると、「団体旅行」で「普通」が最も多くなっている。

表 2-2-16 名古屋市外からの宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度（地域・性別・年齢・旅行形態別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地域・性別・年齢・旅行形態							
地域	東 海	24.0	40.7	32.9	1.2	1.2	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	21.3	32.8	42.7	1.6	1.6	100.0
	岐阜県	30.6	44.4	19.4	2.8	2.8	100.0
	三重県	20.6	47.1	32.3	0.0	0.0	100.0
	静岡県	25.0	44.4	30.6	0.0	0.0	100.0
	関 東	16.5	48.1	34.6	0.8	0.0	100.0
	近 畿	8.8	45.6	45.6	0.0	0.0	100.0
	北 陸	20.8	45.9	33.3	0.0	0.0	100.0
	甲信越	13.3	40.0	40.0	0.0	6.7	100.0
	その他	22.0	46.0	29.0	3.0	0.0	100.0
性別	男 性	15.9	42.1	40.3	1.3	0.4	100.0
	女 性	22.4	46.5	29.5	1.2	0.4	100.0
年齢	10～19歳	18.7	37.5	37.5	6.3	0.0	100.0
	20～29歳	29.9	47.0	23.1	0.0	0.0	100.0
	30～39歳	18.4	40.3	39.5	0.9	0.9	100.0
	40～49歳	18.4	37.6	42.2	0.9	0.9	100.0
	50～59歳	9.7	51.6	35.5	3.2	0.0	100.0
	60～69歳	5.6	55.5	38.9	0.0	0.0	100.0
	70歳以上	14.3	64.3	14.3	0.0	7.1	100.0
旅行形態	ひとり	14.8	36.5	46.1	1.7	0.9	100.0
	友人・知人	26.4	45.3	28.3	0.0	0.0	100.0
	家族	幼児・小学生連れ	10.5	57.9	29.0	2.6	100.0
		夫婦	12.1	56.1	30.3	1.5	100.0
		その他	20.2	38.0	36.7	1.3	100.0
	団体旅行	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0
	その他	20.8	45.9	33.3	0.0	0.0	100.0
全 体		19.3	44.7	34.2	1.2	0.6	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「グルメ・なごやめし」と「歴史的な施設(名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等)」が多く、次いで「都心部でのショッピングや街歩き(名古屋駅、栄、大須)」となっている。

満足度別にみると、満足度が高いほど多くの観光資源をあげている。

表 2-2-17 宿泊客の満足した名古屋の観光資源(地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別)

(単位: %)

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		満足した観光資源	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	23.4	6.3	14.6	26.6	34.2	1.9	19.0	2.5	3.8	17.1	149.4		
	愛知県	18.5	9.3	16.7	33.3	37.0	0.0	20.4	0.0	3.7	14.8	153.7		
	岐阜県	17.6	0.0	8.8	26.5	29.4	0.0	11.8	11.8	8.8	17.6	132.3		
	三重県	30.3	6.1	21.2	30.3	33.3	6.1	21.2	0.0	0.0	15.2	163.7		
	静岡県	29.7	8.1	10.8	13.5	35.1	2.7	21.6	0.0	2.7	21.6	145.8		
	関東	29.8	5.6	6.5	17.7	48.4	4.8	16.9	1.6	2.4	13.7	147.4		
	近畿	27.8	5.6	16.7	18.5	42.6	1.9	14.8	1.9	0.0	13.0	142.8		
	北陸	31.8	9.1	22.7	22.7	50.0	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1	149.9		
	甲信越	37.5	6.3	62.5	12.5	37.5	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	168.9		
	その他	38.1	8.2	11.3	16.5	29.9	4.1	5.2	10.3	6.2	22.7	152.5		
性別	男性	27.3	7.4	12.0	16.2	35.6	1.9	9.3	5.1	3.2	21.3	139.3		
	女性	30.6	6.4	15.7	25.1	41.3	4.3	19.1	2.1	3.0	10.6	158.2		
年齢	10～19歳	12.5	0.0	3.1	6.3	21.9	6.3	3.1	25.0	9.4	25.0	112.6		
	20～29歳	27.9	5.4	20.7	23.4	37.8	2.7	19.8	1.8	2.7	8.1	150.3		
	30～39歳	24.3	4.5	15.3	22.5	45.0	5.4	9.9	1.8	1.8	15.3	145.8		
	40～49歳	25.5	6.6	14.2	19.8	40.6	0.9	21.7	1.9	4.7	17.9	153.8		
	50～59歳	38.9	13.0	13.0	27.8	38.9	3.7	11.1	1.9	0.0	20.4	168.7		
	60～69歳	51.5	9.1	6.1	12.1	27.3	0.0	3.0	3.0	0.0	21.2	133.3		
	70歳以上	53.8	23.1	0.0	7.7	30.8	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	153.9		
旅行形態	ひとり	19.2	2.0	4.0	16.2	35.4	1.0	7.1	2.0	3.0	36.4	126.3		
	友人・知人	30.3	6.5	16.1	23.9	45.2	5.2	21.9	2.6	1.9	3.9	157.5		
	家族	子ども連れ	28.9	10.5	39.5	18.4	34.2	0.0	7.9	0.0	2.6	18.4	160.4	
		夫婦	39.1	6.3	12.5	31.3	34.4	1.6	17.2	3.1	1.6	15.6	162.7	
		その他	39.5	11.8	13.2	17.1	40.8	3.9	11.8	0.0	2.6	14.5	155.2	
	団体旅行	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	100.0		
	その他	12.0	8.0	4.0	8.0	24.0	4.0	8.0	32.0	4.0	20.0	124.0		
満足度	大変満足	32.3	3.2	9.7	29.0	48.4	5.4	11.8	7.5	6.5	9.7	163.5		
	ほぼ満足	34.2	8.5	17.1	28.1	42.2	3.0	17.6	2.0	2.5	8.0	163.2		
	普通	23.7	5.3	13.8	7.9	32.2	2.0	11.8	3.3	2.0	27.0	129.0		
	やや不満＋不満	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	100.0		
全体		29.7	6.6	14.0	20.8	38.8	3.0	14.0	3.6	3.2	16.1	149.8		

(複数回答)

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が不満を感じた名古屋の観光資源としては、「特になし」が 82.6%を占めている。不満を感じた個別の観光資源としては、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」の割合が一番高く 6.1%である。

年齢別では、60 歳代で「都心部でのショッピングや街歩き」「グルメ・なごやめし」が、1 割以上みられるものの、その他に 1 割に達するものはみられない。

満足度別にみると、不満とした方で「都心部でのショッピングや街歩き」「グルメ・なごやめし」に意見が集中している。

表 2-2-18 宿泊客の不満を感じた名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		不満を感じた観光資源	施設 歴史的な	産業観光・ものづくり施設	施設 レジャー	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦 スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	2.1	2.8	0.7	4.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	86.7	102.1	
	愛知県	3.8	3.8	1.9	5.8	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.8	103.7	
	岐阜県	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.6	100.0	
	三重県	0.0	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	86.4	100.0	
	静岡県	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.3	103.0	
	関東	1.8	0.0	0.9	9.6	4.4	2.6	0.9	0.0	0.0	6.1	76.3	102.6	
	近畿	6.5	4.3	6.5	8.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	71.7	104.2	
	北陸	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	100.0	
	甲信越	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	92.9	107.1	
	その他	2.3	2.3	1.1	3.4	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	86.2	102.2	
性別	男性	1.5	1.5	1.5	6.5	4.0	1.0	0.5	0.0	0.0	2.0	84.4	102.9	
	女性	3.9	2.4	1.0	6.3	2.9	0.5	0.0	0.0	0.0	4.8	80.7	102.5	
年齢	10～19歳	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	90.0	100.0	
	20～29歳	2.0	1.0	2.0	7.0	3.0	1.0	1.0	0.0	0.0	3.0	81.0	101.0	
	30～39歳	5.1	2.0	1.0	5.1	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	83.7	103.0	
	40～49歳	1.1	1.1	1.1	6.5	4.3	1.1	0.0	0.0	0.0	3.3	84.8	103.3	
	50～59歳	1.9	5.8	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	80.8	102.0	
	60～69歳	3.4	3.4	3.4	13.8	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	65.5	106.7	
	70歳以上	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7	108.3	
旅行形態	ひとり	2.2	3.2	1.1	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	84.9	105.5	
	友人・知人	3.0	1.5	2.3	8.3	4.5	0.8	0.8	0.0	0.0	3.0	77.4	101.6	
	家族	子ども連れ	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	86.7	100.1
		夫婦	0.0	3.5	0.0	6.9	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	86.2	100.0
		その他	4.2	1.4	1.4	6.9	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	8.3	77.8	105.6
	団体旅行	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
	その他	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.0	100.0	
満足度	大変満足	2.3	2.3	1.1	3.4	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	2.3	88.5	102.1	
	ほぼ満足	2.9	2.3	1.1	5.7	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	83.3	102.2	
	普通	2.1	0.7	2.1	7.9	5.0	1.4	0.0	0.0	0.0	3.6	78.6	101.4	
	やや不満＋不満	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	42.9	128.7	
全体		2.6	1.9	1.4	6.1	3.5	0.7	0.2	0.0	0.0	3.5	82.6	102.5	

（複数回答）

d．次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客では次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は77.0%であり、具体的には「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」の割合が最も高く、「レジャー施設（動植物園・水族館等）」、「グルメ・なごやめし」の順になっている。

表 2-2-19 宿泊客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

訪れてみたい 観光資源		施 設	歴 史的 な	産 業 観 光 ・ も の つ く り 施 設	レ ジ ャ ー 施 設	グ ヤ 街 歩 き シ ョ ッ ピ ン	グ ル メ ・ な ご や め し	お 祭 り ・ イ ベ ン ト	コ ン サ ー ト や 観 劇 鑑 賞	観 戦 ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
地域・ 性別・年齢・ 旅行形態・満足度													
地 域	東 海	19.0	10.2	19.7	17.0	14.3	15.0	12.9	12.9	2.0	29.9	152.9	
	愛知県	15.1	7.5	22.6	15.1	9.4	17.0	17.0	15.1	0.0	26.4	145.2	
	岐阜県	17.2	10.3	10.3	6.9	0.0	10.3	10.3	10.3	3.4	37.9	116.9	
	三重県	24.1	6.9	27.6	24.1	27.6	20.7	6.9	3.4	6.9	27.6	175.8	
	静岡県	22.2	16.7	16.7	22.2	22.2	11.1	13.9	19.4	0.0	30.6	175.0	
	関 東	35.3	17.6	26.9	16.0	16.0	9.2	4.2	4.2	1.7	16.8	147.9	
	近 畿	33.3	23.5	31.4	25.5	21.6	9.8	15.7	2.0	0.0	15.7	178.5	
	北 陸	26.1	4.3	30.4	13.0	17.4	13.0	4.3	13.0	0.0	8.7	130.2	
	甲信越	35.7	7.1	28.6	21.4	42.9	14.3	7.1	14.3	0.0	7.1	178.5	
	その他	26.9	19.4	16.1	9.7	12.9	12.9	4.3	11.8	2.2	30.1	146.3	
性 別	男 性	26.9	12.0	20.2	13.9	13.5	12.0	6.3	12.0	0.5	27.4	144.7	
	女 性	29.0	19.0	26.2	17.6	19.9	14.0	10.9	6.3	1.4	18.1	162.4	
年 齢	10～19歳	17.2	6.9	17.2	3.4	6.9	6.9	3.4	3.4	0.0	58.6	123.9	
	20～29歳	21.4	12.6	15.5	16.5	17.5	14.6	12.6	9.7	0.0	13.6	134.0	
	30～39歳	22.6	16.0	27.4	15.1	18.9	18.9	5.7	8.5	0.9	23.6	157.6	
	40～49歳	36.0	16.0	24.0	19.0	16.0	12.0	10.0	12.0	1.0	18.0	164.0	
	50～59歳	40.0	29.1	30.9	14.5	20.0	7.3	10.9	7.3	3.6	23.6	187.2	
	60～69歳	29.0	9.7	9.7	19.4	16.1	6.5	0.0	9.7	3.2	25.8	129.1	
	70歳以上	25.0	0.0	41.7	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	50.0	158.3	
旅 行 形 態	ひとり	20.4	17.3	23.5	13.3	20.4	7.1	9.2	7.1	2.0	32.7	153.0	
	友人・知人	25.2	12.2	19.4	15.8	12.2	20.9	10.1	9.4	0.0	16.5	141.7	
	家 族	子ども連れ	25.7	22.9	42.9	25.7	22.9	14.3	2.9	5.7	0.0	17.1	180.1
		夫婦	27.4	14.5	16.1	6.5	14.5	6.5	6.5	12.9	1.6	24.2	130.7
		その他	39.2	17.6	24.3	23.0	18.9	10.8	10.8	12.2	2.7	16.2	175.7
	団体旅行	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	199.9	
	その他	36.0	8.0	24.0	16.0	12.0	8.0	4.0	4.0	0.0	44.0	156.0	
満 足 度	大変満足	29.2	9.0	23.6	13.5	21.3	12.4	14.6	9.0	2.2	16.9	151.7	
	ほぼ満足	29.3	21.5	25.7	22.0	14.1	14.7	5.8	8.9	1.6	18.8	162.4	
	普通	26.0	11.6	20.5	11.0	17.8	8.9	8.9	10.3	0.7	28.8	144.5	
	やや不満・不満	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	100.0	
全 体		27.5	15.2	23.0	16.1	16.3	12.5	8.5	9.2	1.6	23.0	152.9	

（複数回答）

2 - 3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 24 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

調査対象・方法

平成 23 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、170 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 24 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 25 年 5 月～6 月
- 回答状況：調査対象数 170 施設
有効回答数 169 施設
（全問回答 66 施設、準全問回答 42 施設、部分回答 61 施設）
廃休業数 1 施設
新規開業数 0 施設

(2) 宿泊施設の現状

回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした 170 施設のうち、調査で廃休業などが判明した 1 施設を除く 169 施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは 66 施設(対有効回答数比 39.1%)、準全問回答(宿泊者数の回答有り) が得られたのは 42 施設(対有効回答数比 24.9%)、部分回答が得られたのは 61 施設(対有効回答数比 36.0%) であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホ テ ル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅 館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200 室以上、100 室以上 200 室未満、50 室以上 100 室未満、50 室未満の 4 区分

表 2-3-1 回答状況（タイプ、規模別）

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		16	9	3	4	0	(0)	16
ホテル (登録 ホテル を除く)	200 室以上	32	12	14	6	0	(0)	32
	100 室以上 200 室未満	37	10	10	17	0	(0)	37
	50 室以上 100 室未満	28	13	8	7	0	(0)	28
	50 室未満	15	6	0	9	1	(0)	16
	計	112	41	32	39	1	(0)	113
旅 館		41	16	7	18	0	(0)	41
全 体		169	66	42	61	1	(0)	170
回収率 : (%)		99.4	-	-	-	0.6	-	100.0
回答状況 : (%)		100.0	39.1	24.9	36.0	-	0.0	100.0

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 16 施設、登録ホテルを除くホテルは 112 施設、旅館は 41 施設となっている。また、室数の合計は 21,626 室、収容人数の合計は 30,729 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 1 施設、部屋数では 24 室の減少、収容人数では 284 人の増加となった。

表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		16	17	55	4,879	7,714	4,896	7,769
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	32	13	51	8,257	10,280	8,270	10,331
	100 室以上 200 室未満	37	12	33	5,181	6,963	5,193	6,996
	50 室以上 100 室未満	28	27	91	2,093	2,898	2,120	2,989
	50 室未満	15	47	133	390	510	437	643
計		112	99	308	15,921	20,651	16,020	20,959
旅 館		41	623	1,863	87	138	710	2,001
全 体		169	739	2,226	20,887	28,503	21,626	30,729

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

	平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
施設区分	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,952	9,054	5,952	9,064	4,918	7,688	4,902	7,615	4,896	7,769
ホ テ ル	14,753	18,449	15,006	18,678	15,501	19,948	16,037	20,833	16,020	20,959
旅 館	790	2,174	759	2,120	683	1,956	711	1,997	710	2,001
全 体	21,495	29,677	21,717	29,862	21,102	29,592	21,650	30,445	21,626	30,729
施 設 数	181		178		167		170		169	

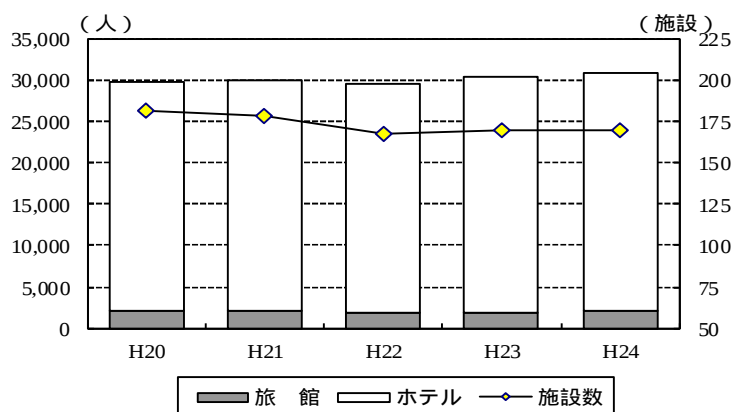


図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移

(3) 宿泊客数

年間宿泊者数

a . 宿泊者数

平成 24 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 695 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 176 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 506 万人泊、旅館が約 14 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 580 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.2 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 61 万人泊、実人数は約 48 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 8.3% が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、旅館が宿泊者一人あたりの宿泊数 1.6 泊と最も多く、ホテル（登録ホテルを除く）登録ホテル共に 1.3 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数 (人泊)	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数 (人泊)	全施設の 年間総実人数 (人)	うち全施設 の 年間外国人 総実人数 (人)
登録ホテル		1,757,910	305,876	1,522,350	242,866
ホテル (登録ホテルを 除く)	200 室以上	2,725,008	188,026	2,411,632	155,874
	100 室以上 200 室未満	1,550,014	88,351	1,137,710	69,797
	50 室以上 100 室未満	679,771	16,994	569,648	10,162
	50 室未満	103,047	4,740	72,751	2,545
	計	5,057,840	298,111	4,191,741	238,378
旅 館		135,041	2,161	82,645	1,327
全 体		6,950,791	606,148	5,796,736	482,571

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 21 年度から増加傾向にあり、昨年度より年間総実人数は 60 万人、年間総延べ宿泊者数は 28 万人それぞれ増加している。

年間定員稼働率についても、平成 21 年度以降増加傾向にあり、昨年度より 1.1 ポイント増加している。

外国人宿泊者数については、昨年の東日本大震災の影響の反動によるものか、昨年度に比べ総実人数は 21 万人増加、総延べ宿泊者数は 16 万人増加している。

表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
区 分	年間総実人数（人）	4,719,502	4,604,248	4,608,978	5,192,149	5,796,736
	うち外国人	377,532	344,847	396,508	271,884	482,571
年間総延べ宿泊者数（人泊）	年間総延べ宿泊者数（人泊）	6,238,020	5,786,316	5,960,567	6,674,019	6,950,791
	うち外国人	634,900	494,002	609,400	441,255	606,148
年間定員稼働率（％）		59.1	54.3	57.3	62.1	63.2

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率 = 年間延べ宿泊者数 ÷ 年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

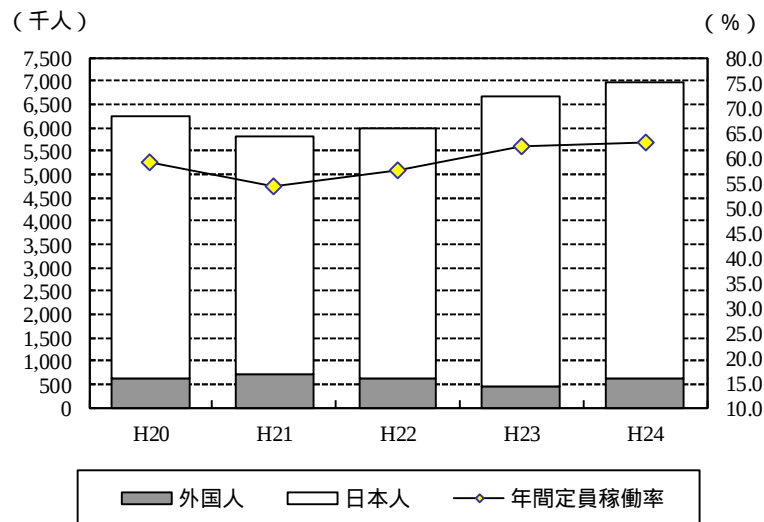


図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移

推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 24 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a . 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 63.2% の値を得た。区分別にみると、200 室以上のホテルが最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		13	1,287,885	5,692	2,077,580	62.0
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	26	2,158,689	8,185	2,987,525	72.3
	100 室以上 200 室未満	20	827,745	3,736	1,363,640	60.7
	50 室以上 100 室未満	19	459,880	2,022	738,030	62.3
	50 室未満	6	48,567	303	110,595	43.9
	計	71	3,494,881	14,246	5,199,790	67.2
旅館		21	77,240	1,145	417,925	18.5
全 体		105	4,860,006	21,083	7,695,295	63.2

注： $\text{稼働率} = \frac{\text{年間延べ宿泊者数}}{\text{年間収容可能人数}} \times 365 \text{ 日}$ （年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$\text{稼働率} = \frac{\text{稼働率}}{100}$

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（2,090,785人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	回答なし施設の1日収容 可能人数 (人)	回答なし施設の年間収容 可能人数 (人)	回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	回答なし施設の年間延べ 宿泊者数の推計値 (人泊)
登録ホテル		3	2,077	758,105	62.0	470,025
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	6	2,146	783,290	72.3	566,319
	100室以上 200室未満	17	3,260	1,189,900	60.7	722,269
	50室以上 100室未満	9	967	352,955	62.3	219,891
	50室未満	9	340	124,100	43.9	54,480
	計	41	6,713	2,450,245		1,562,959
旅館		20	856	312,440	18.5	57,801
全 体		64	9,646	3,520,790		2,090,785

注： $\text{回答なし施設の年間延べ宿泊者数} = \text{回答なし施設の年間収容可能人数} \times \text{稼働率}$ (年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出)

$\text{稼働率} = \frac{\text{稼働日数}}{\text{年度日数}} \times 100$

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（6,950,791人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		回答あり施設		回答なし施設		全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		13	1,287,885	3	470,025	16	1,757,910
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	26	2,158,689	6	566,319	32	2,725,008
	100室以上 200室未満	20	827,745	17	722,269	37	1,550,014
	50室以上 100室未満	19	459,880	9	219,891	28	679,771
	50室未満	6	48,567	9	54,480	15	103,047
	計	71	3,494,881	41	1,562,959	112	5,057,840
旅館		21	77,240	20	57,801	41	135,041
全 体		105	4,860,006	64	2,090,785	169	6,950,791

注： $\text{全施設の年間総延べ宿泊者数} = \text{回答あり施設の年間延べ宿泊者数} + \text{回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値}$

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（5,796,736 人）

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 延べ宿泊者 数 (人泊)	回答あり 施設の 実人数比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	837,187	967,103	86.6	1,757,910	1,522,350
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	12	874,402	988,351	88.5	2,725,008	2,411,632
	100 室以上 200 室未満	10	309,097	421,248	73.4	1,550,014	1,137,710
	50 室以上 100 室未満	12	242,643	289,496	83.8	679,771	569,648
	50 室未満	6	34,283	48,567	70.6	103,047	72,751
計		40	1,460,425	1,747,662		5,057,840	4,191,741
旅館		15	31,937	52,196	61.2	135,041	82,645
全 体		64	2,329,549	2,766,961		6,950,791	5,796,736

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の年間 延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		13	223,616	1,287,885	17.4	1,757,910	305,876
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	21	117,835	1,699,622	6.9	2,725,008	188,026
	100 室以上 200 室未満	16	39,572	696,661	5.7	1,550,014	88,351
	50 室以上 100 室未満	15	9,158	371,761	2.5	679,771	16,994
	50 室未満	6	2,256	48,567	4.6	103,047	4,740
	計	58	168,821	2,816,611		5,057,840	298,111
旅 館		11	970	58,926	1.6	135,041	2,161
全 体		82	393,407	4,163,422		6,950,791	606,148

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	154,693	194,785	79.4	305,876	242,866
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	8	22,230	26,802	82.9	188,026	155,874
	100 室以上 200 室未満	10	20,623	26,114	79.0	88,351	69,797
	50 室以上 100 室未満	12	4,296	7,184	59.8	16,994	10,162
	50 室未満	7	1,222	2,275	53.7	4,740	2,545
	計	37	48,371	62,375		298,111	238,378
旅 館		7	275	448	61.4	2,161	1,327
全 体		53	203,339	257,608		606,148	482,571

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 108 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 92 施設であり、その割合は 85.2% であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 5 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 10 施設、登録ホテルが 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 26.3%（78,246 人）と最も多く、次いで米国 18.3%（54,472 人）であり、中国 14.8%（44,051 人）タイ 11.6%（34,633 人）韓国 10.6%（31,449 人）香港 8.1%（24,042 人）の順となっており、その他の国の割合は 2% 以下である。

施設分類別にみると、登録ホテルでは米国が 28.0%（45,332 人）と最も多く、次いで台湾 17.6%（28,516 人）タイ 14.4%（23,266 人）の順となっている。ホテル（登録ホテルを除く）では台湾が 4 割程度を占めている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）					旅館	全 体	
		200室 以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室未満	計		人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	14	21	26	21	8	76	18	108	
台湾	28,516	37,175	11,642	770	116	49,703	27	78,246	26.3
米国	45,332	5,779	2,603	649	59	9,090	50	54,472	18.3
中国	18,328	17,271	5,864	2,191	313	25,639	84	44,051	14.8
タイ	23,266	10,115	1,018	213	16	11,362	5	34,633	11.6
韓国	13,526	11,358	4,531	1,596	331	17,816	107	31,449	10.6
香港	11,379	9,833	2,319	432	73	12,657	6	24,042	8.1
シンガポール	4,153	976	413	210	12	1,611	5	5,769	1.9
ドイツ	4,647	420	455	71	15	961		5,608	1.9
オーストラリア	2,964	571	677	233	12	1,493	6	4,463	1.5
英国	2,457	550	678	102	19	1,349		3,806	1.3
インドネシア	2,244	366	322	123	8	819	2	3,065	1.0
フランス	1,766	360	649	90	18	1,117	2	2,885	1.0
カナダ	1,547	570	395	87	2	1,054	4	2,605	0.9
ベトナム	1,517	431	117	49	6	603	5	2,125	0.7
イタリア		241	13			254	1	255	0.1
ブラジル	87		102	26		128	4	219	0.1
マレーシア			49	23		72	3	75	0.0
インド			27	2	36	65		65	0.0
ロシア			22	6		28	6	34	0.0
フィリピン	5		17		2	19	5	29	0.0
メキシコ			24			24		24	0.0
サウジアラビア	16					0		16	0.0
スイス			9	2		11		11	0.0
スペイン			7		1	8		8	0.0
モンゴル			3			3	5	8	0.0
フィンランド			1	3	1	5	2	7	0.0
ガーナ				5		5		5	0.0
ケニア	4					0		4	0.0
エジプト			3			3		3	0.0
イラン					3	3		3	0.0
オランダ				1		1		1	0.0
ニュージーランド					1	1		1	0.0
ミャンマー			1			1		1	0.0
ノルウェー			1			1		1	0.0
チュニジア	1					0		1	0.0
トルコ					1	1		1	0.0
カタール			1			1		1	0.0
アイルランド				1		1		1	0.0
合 計	161,755	96,016	31,963	6,885	1,045	135,909	329	297,993	100.0

修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 24 年度の修学旅行団体の受入実績について回答が得られた宿泊施設は 14 施設（対有効回答 169 施設比 8.3%）である。学校数は 77 校、宿泊者数は 4,602 人である。昨年度（95 校、6,645 人）に比べ、学校数は 18 校、宿泊者数は 2,043 人と減少している。

学校分類別では、小学校（30 校減、1,929 人減）が大幅に減少している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	学校数 (校)	宿泊者数 (人)	1 校あたり修 学旅行宿泊者 数 (人)
登録ホテル		3	24	1,384	58
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	4	10	1,279	128
	100 室以上 200 室未満	0	0	0	0
	50 室以上 100 室未満	2	3	91	30
	50 室未満	1	1	21	21
	計	7	14	1,391	99
旅 館		4	39	1,827	47
全 体		14	77	4,602	60

注： = ÷

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	21	1,081	22	1,814	8	267	48	3,002	18	1,073
中学校	12	939	5	149	10	778	11	1,101	15	984
高 校	8	730	6	549	6	672	16	1,204	17	1,526
その他	19	1,682	7	185	15	1,252	20	1,338	27	1,019
全 体	60	4,432	40	2,697	39	2,969	95	6,645	77	4,602

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 77 校中 25 校（32.5％）が関東・甲信越地域から、21 校（27.3％）が東海・北陸地域、16 校（20.8％）が近畿地域からの修学旅行団体である。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	4	3		1	
		関東・甲信越	6		2	2	2
		東海・北陸	8		3	2	3
		近畿	5	1	1	1	2
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	1				1
		海外	0				
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	3			1	2
		東海・北陸	5		2	2	1
		近畿	0				
		中国・四国	3		1	2	
		九州・沖縄	2			2	
		海外	0				
旅館		北海道・東北	2		1		1
		関東・甲信越	16	2	5	1	8
		東海・北陸	8	3			5
		近畿	11	9			2
		中国・四国	2			2	
		九州・沖縄	0				
		海外	0				
全 体		北海道・東北	7	3	1	2	1
		関東・甲信越	25	2	7	4	12
		東海・北陸	21	3	5	4	9
		近畿	16	10	1	1	4
		中国・四国	5	0	1	4	0
		九州・沖縄	3	0	0	2	1
		海外	0	0	0	0	0
		計	77	18	15	17	27

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

北海道・東北 - 北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

関東・甲信越 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県・新潟県・長野県・山梨県

東海・北陸 - 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・福井県・石川県・富山県

近畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

中国・四国 - 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 - 福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道			1	28	2	391			3	419
青森県									0	0
秋田県									0	0
岩手県	3	149					1	12	4	161
山形県									0	0
宮城県									0	0
福島県									0	0
東京都			1	54	2	51	3	215	6	320
神奈川県			2	73			2	92	4	165
千葉県			2	188			4	143	6	331
埼玉県			2	122	1	25	2	68	5	215
群馬県									0	0
栃木県									0	0
茨城県									0	0
新潟県									0	0
長野県	1	34					1	37	2	71
山梨県	1	77			1	25			2	102
愛知県							1	21	1	21
岐阜県	1	13	3	193			2	62	6	268
三重県			1	39	1	29			2	68
静岡県	2	124			2	129	3	38	7	291
福井県							2	52	2	52
石川県			1	44					1	44
富山県					1	158	1	46	2	204
滋賀県									0	0
京都府	10	676	1	17			2	86	13	779
大阪府					1	39			1	39
奈良県									0	0
和歌山県									0	0
兵庫県							2	116	2	116
鳥取県									0	0
島根県									0	0
岡山県									0	0
広島県			1	226	1	236			2	462
山口県					1	46			1	46
香川県									0	0
徳島県									0	0
愛媛県									0	0
高知県					2	136			2	136
福岡県					1	122			1	122
大分県									0	0
宮崎県									0	0
熊本県					1	139			1	139
佐賀県									0	0
長崎県									0	0
鹿児島県							1	31	1	31
沖縄県									0	0
合 計	18	1,073	15	984	17	1,526	27	1,019	77	4,602

2 - 4 全国から見た名古屋の観光に関する評価

(名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む 18～79 歳の男女 1,039 名とした(名古屋市を除く)。

調査日時等

平成 25 年 2 月 27 日(水)～3 月 4 日(月)

サンプリング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた。(下表参照)

インターネット調査の対象者

性・年齢 地域	男 性								女 性								合 計
	男性 計	19歳 以下	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上	女性 計	19歳 以下	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上	
東海	57	3	14	10	9	10	9	2	62	3	12	15	12	3	11	6	119
関東	175	4	19	35	29	23	36	29	178	5	22	23	28	32	33	35	353
近畿	79	2	14	16	9	12	14	12	92	2	10	13	12	12	23	20	171
北陸・甲信越	41	1	2	8	10	8	8	4	27	0	2	6	6	7	3	3	68
東北・北海道	56	1	13	9	9	10	9	5	63	2	11	13	12	11	11	3	119
中国・四国	48	2	9	6	10	9	7	5	44	0	3	9	7	10	7	8	92
九州・沖縄	55	1	3	10	15	10	10	6	62	1	11	14	13	9	12	2	117
合 計	511	14	74	94	91	82	93	63	528	13	71	93	90	84	100	77	1,039

注：東 海 - 愛知県(名古屋市を除く)・岐阜県・三重県・静岡県
 関 東 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近 畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北 陸 - 福井県・石川県・富山県
 甲信越 - 新潟県・長野県・山梨県
 東 北 - 青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中 国 - 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四 国 - 香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九 州 - 福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

過去5年以内に名古屋に訪れたことがある割合は38.6%である。訪問回数としては、「1回」が15.7%と多く、以下「2回」、「3～5回」、「11回以上」となっている。

性別にみると、男性では訪れた割合は44.8%で、女性より12.2%高い。

年齢別にみると、訪れた割合は29歳以下と60歳代が相対的に高い。

地域別にみると、「東海」では8割以上が訪れており、うち「11回以上」が5割近くを占めている。

訪問回数としては、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高くなっている。

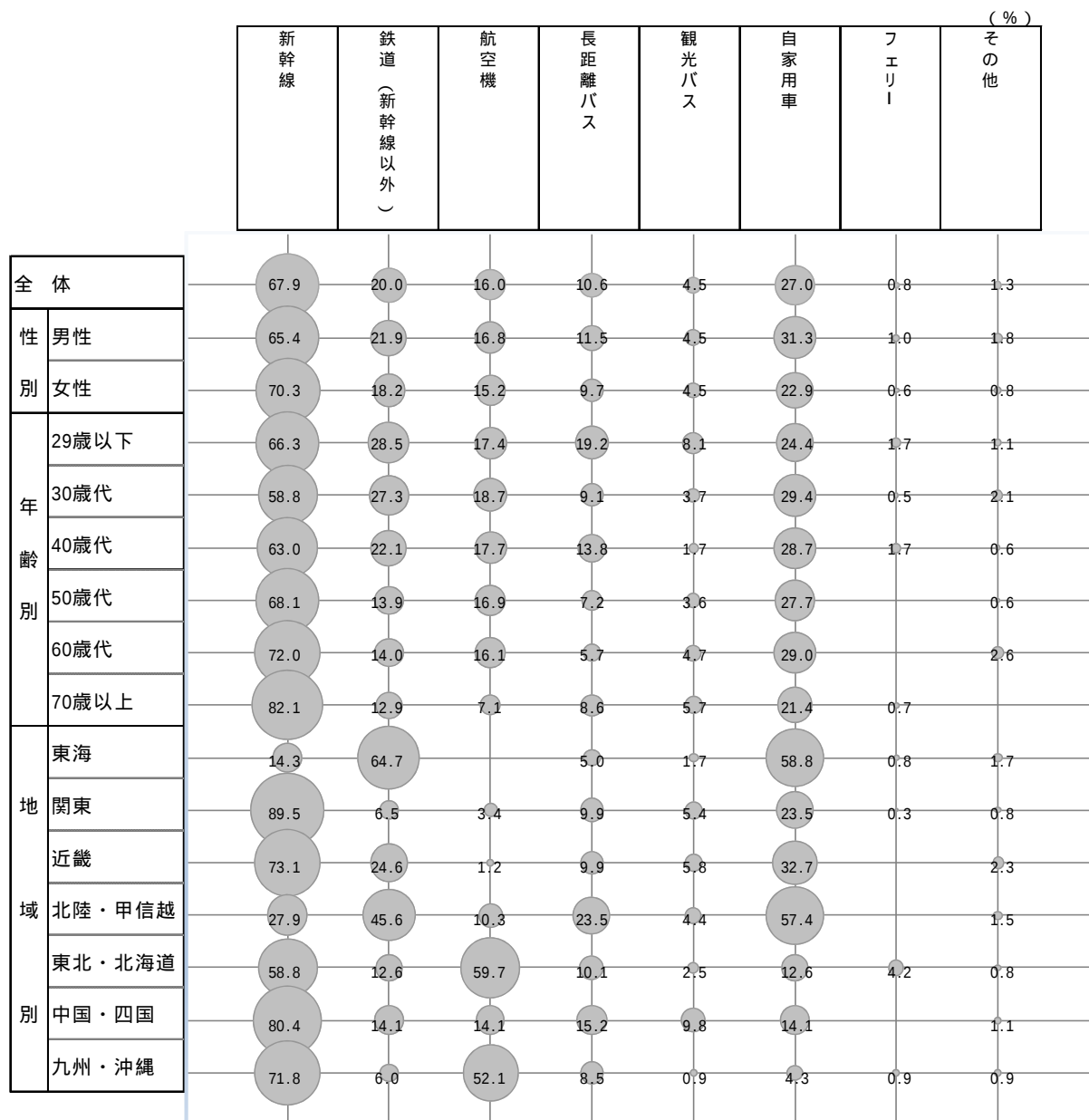
図 2-4-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



b．名古屋への交通機関

名古屋を訪れる場合の交通機関としては、「新幹線」が67.9%と最も多く、次いで「自家用車」が27.0%で、以下、「鉄道（新幹線以外）」、「航空機」、「長距離バス」となっている。

図 2-4-2 名古屋への交通機関（複数回答）

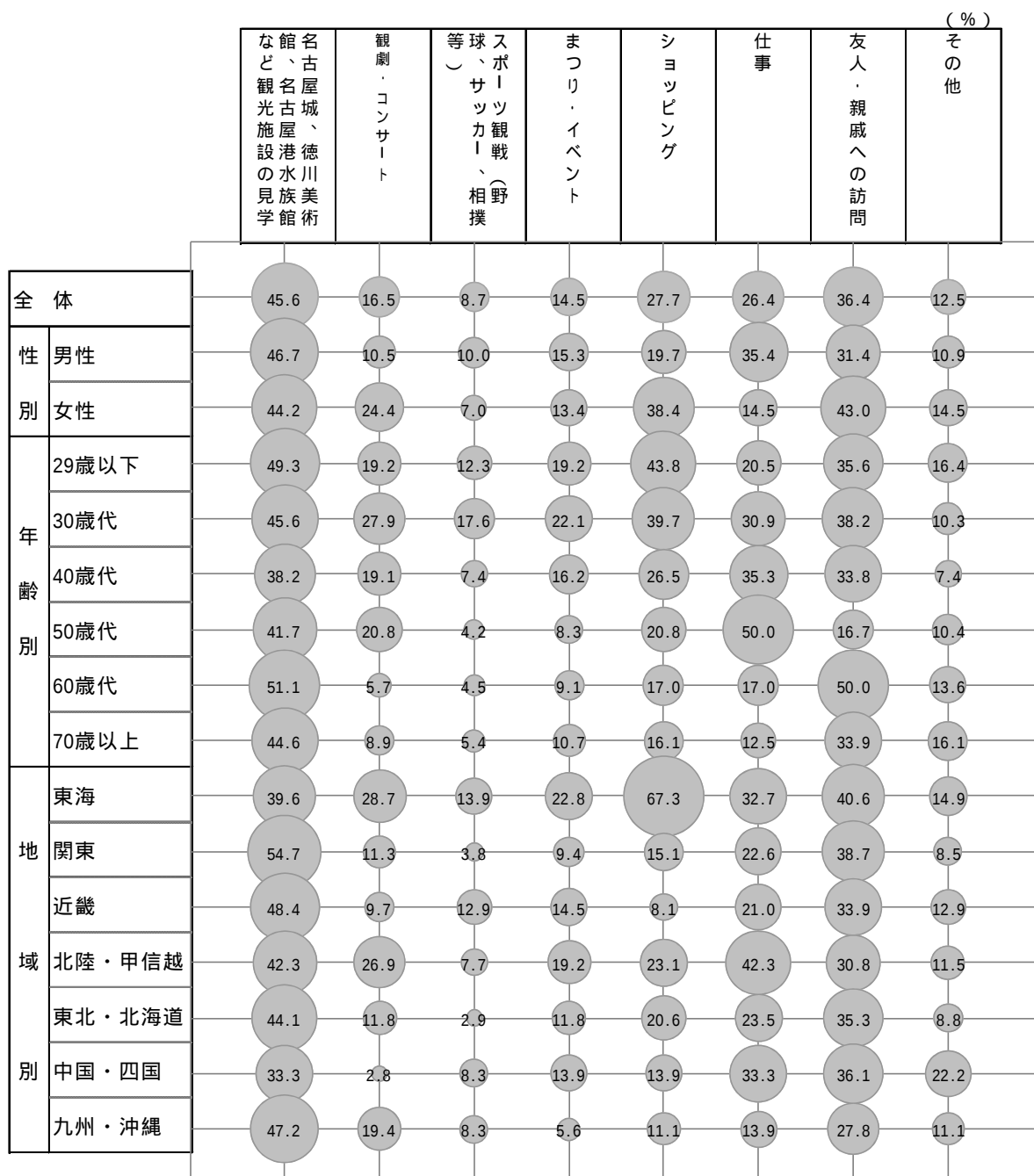


c. 名古屋への訪問目的

過去5年以内に名古屋を訪れた方（401人）の訪問目的としては、「観光施設の見学」、「仕事」、「友人・親戚への訪問」の割合が多くなっている。

性別にみると、男性、女性共には「観光施設の見学」の割合が高い。

図 2-4-3 名古屋への訪問目的（複数回答）



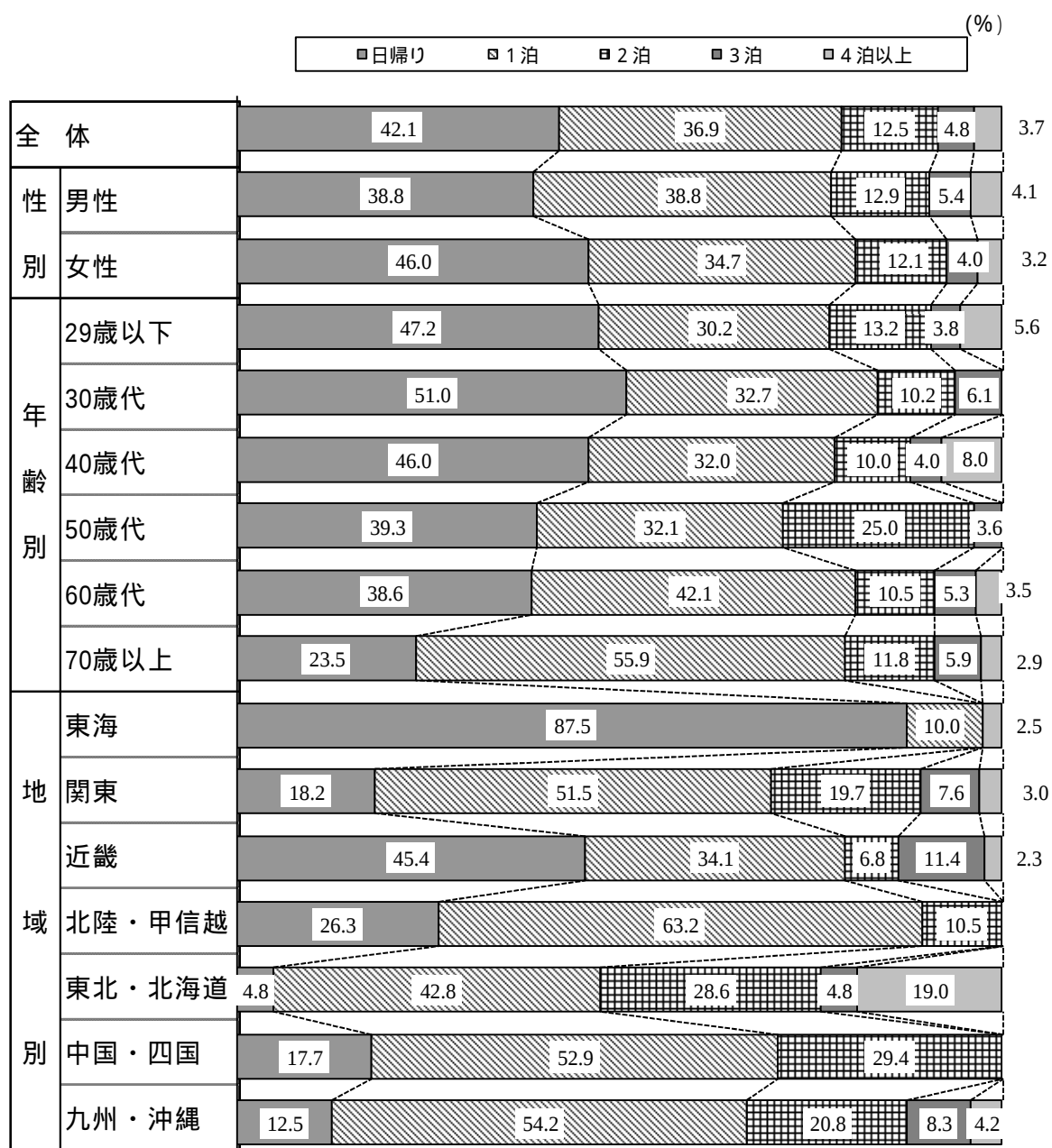
d．名古屋への訪問日程

観光等が目的で名古屋を訪れた方（前ページ 図 2-4-3 で「観光施設の見学」「観劇・コンサート」「スポーツ観戦」「まつり・イベント」「ショッピング」と回答した方 271 人）の直近の訪問日程としては、「日帰り」が 42.1%と 4 割ほどで、「1 泊」が 36.9%、「2 泊」が 12.5%となっている。

「日帰り」の割合は、女性や 30 歳代で高い。

地域別にみると、「東海」では大半が「日帰り」である。

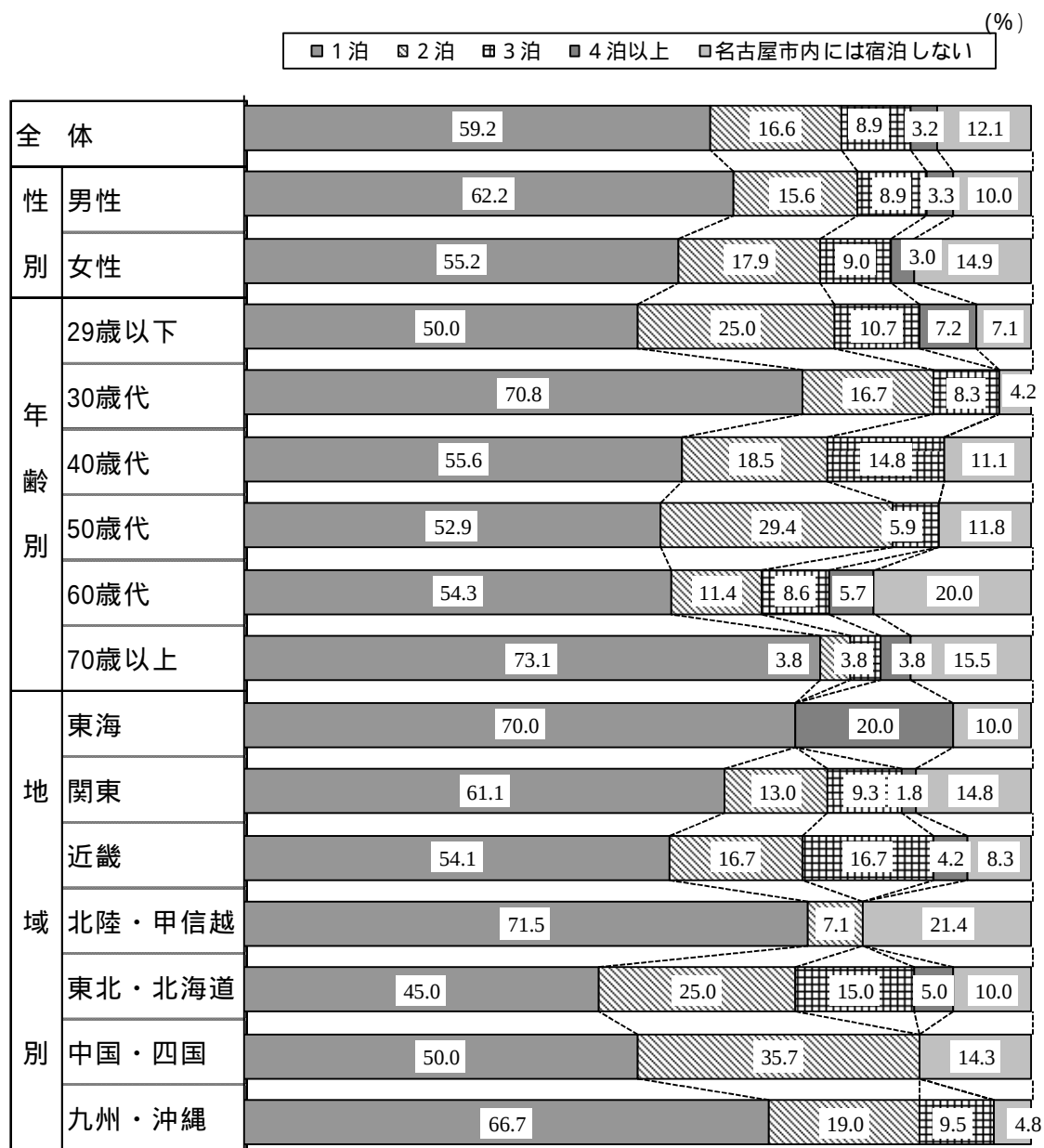
図 2-4-4 名古屋への訪問日程



e . 名古屋市内での宿泊数

観光等が目的で名古屋に訪れた方（271人）のうち、1泊以上の日程で名古屋に訪れた方の名古屋市内での宿泊数は、「1泊」が59.2%と最も多い。また、「名古屋市内には宿泊しない」は12.1%となっている。

図 2-4-5 名古屋市内での宿泊数



f．名古屋への旅行形態

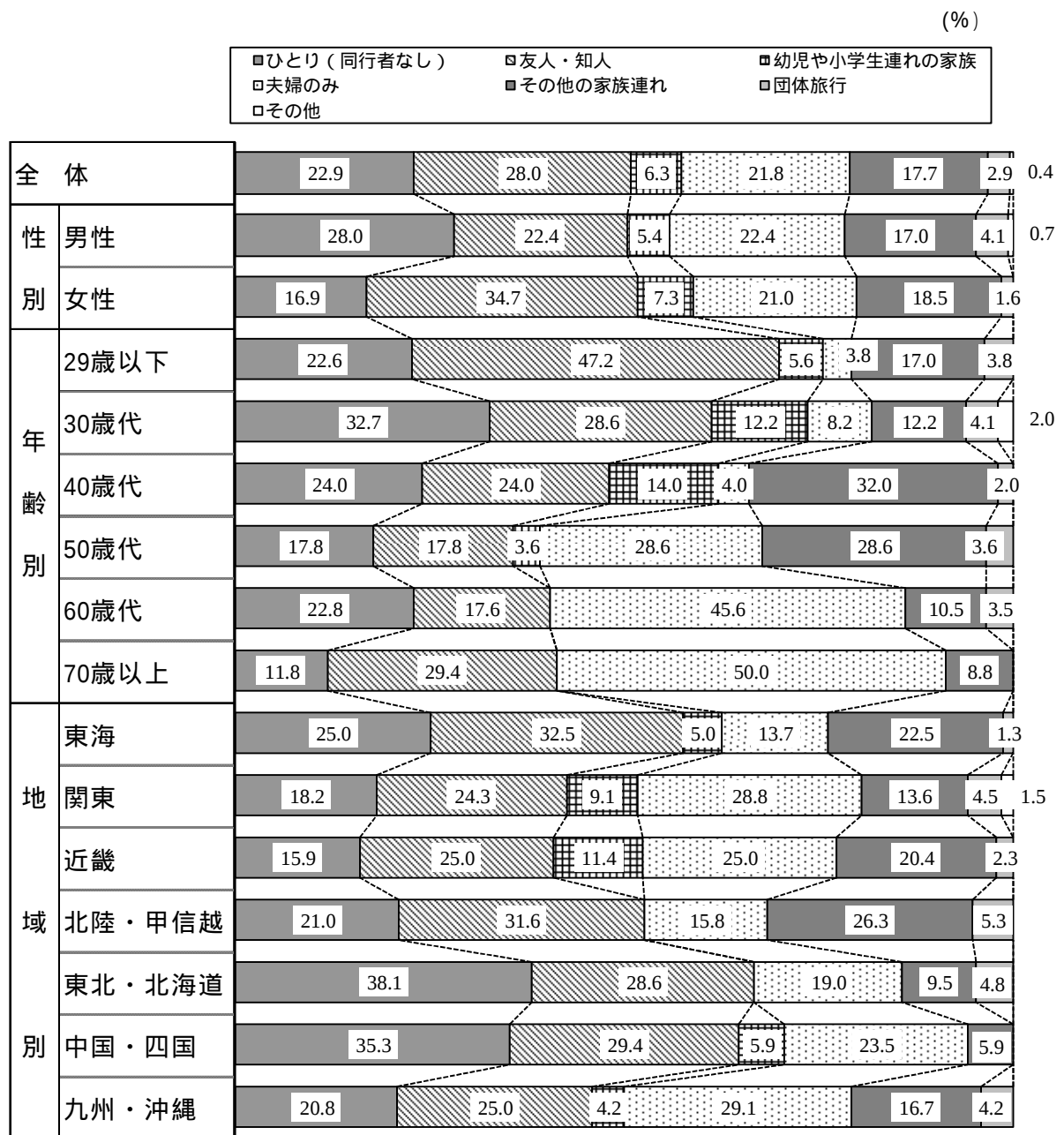
観光等が目的で名古屋を訪れた方（271人）の直近の訪問は、「友人・知人」と「ひとり（同行者なし）」が多く、以下「その他の家族連れ」となっている。また、「幼児や小学生連れの家族」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」を合わせた家族連れの割合は45.8%である。

性別にみると、「ひとり（同行者なし）」の割合は、男性で女性より多くなっている。

年齢別にみると、「友人・知人」の割合は年齢が若いほど、「夫婦のみ」の割合は年齢が上がるほど高くなっている。

地域別にみると、「関東」では「夫婦のみ」、「東北・北海道」では「友人・知人」が最も多くなっている。

図 2-4-6 名古屋への旅行形態



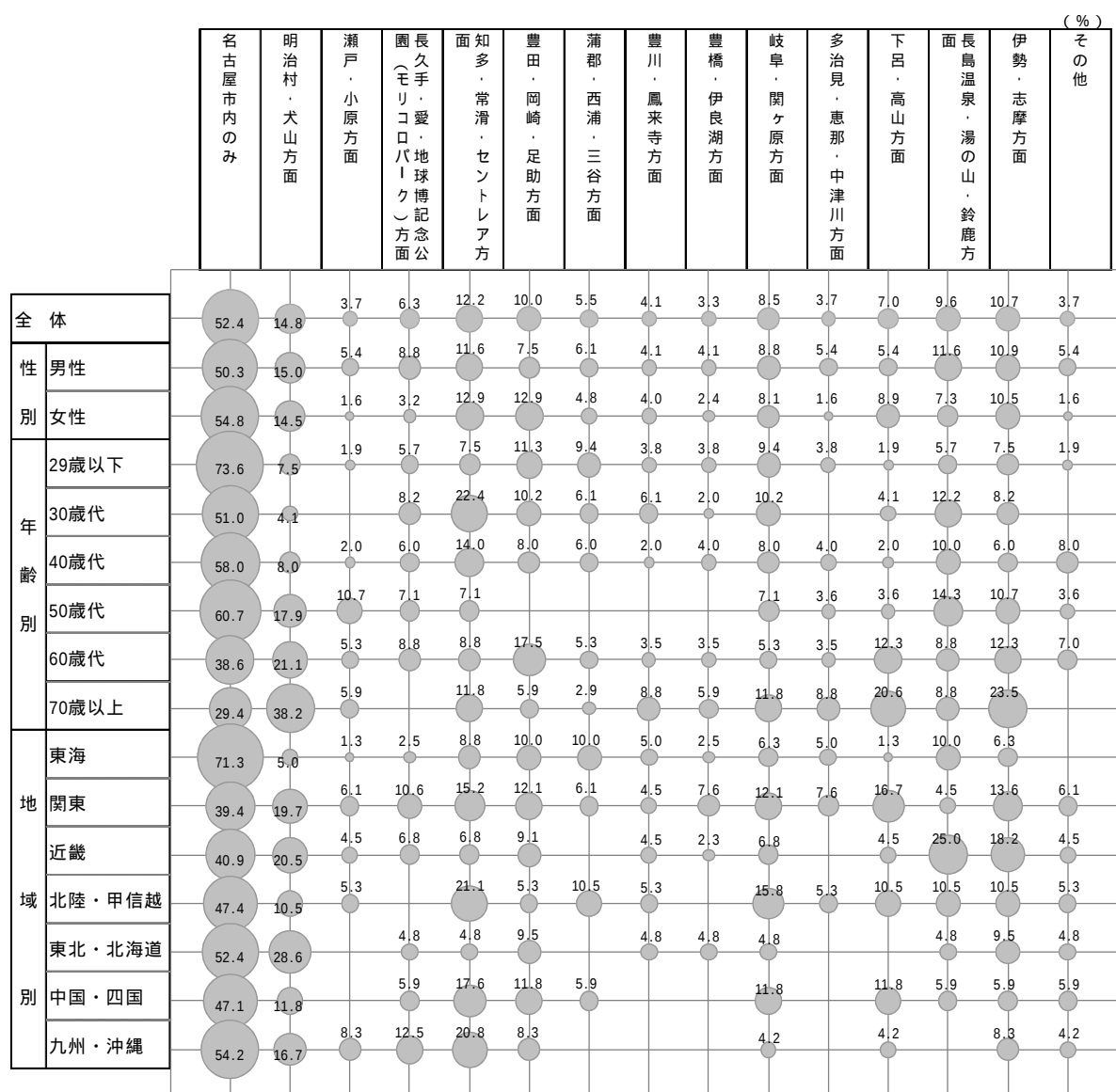
g . 名古屋市以外の訪問地

観光等が目的で名古屋に訪れた方（271人）が、名古屋市以外にも訪問した割合は47.6%であった。訪問地としては、「明治村・犬山方面」が最も多く、次いで、「知多・常滑・セントレア方面」、「伊勢・志摩方面」、「豊田・岡崎・足助方面」と続いている。

名古屋市以外にも訪問した割合は、男性女性共に5割ほどで高くなっている。一方、29歳以下や50歳代では「名古屋市内のみ」が6割以上を占めている。

地域別にみると、「関東」、「近畿」、「北陸・甲信越」、「中国・四国」からの訪問者では、名古屋市以外にも訪問した割合が半数以上であり、訪問地としては、「明治村・犬山方面」のほか「知多・常滑・セントレア方面」が高くなっている。

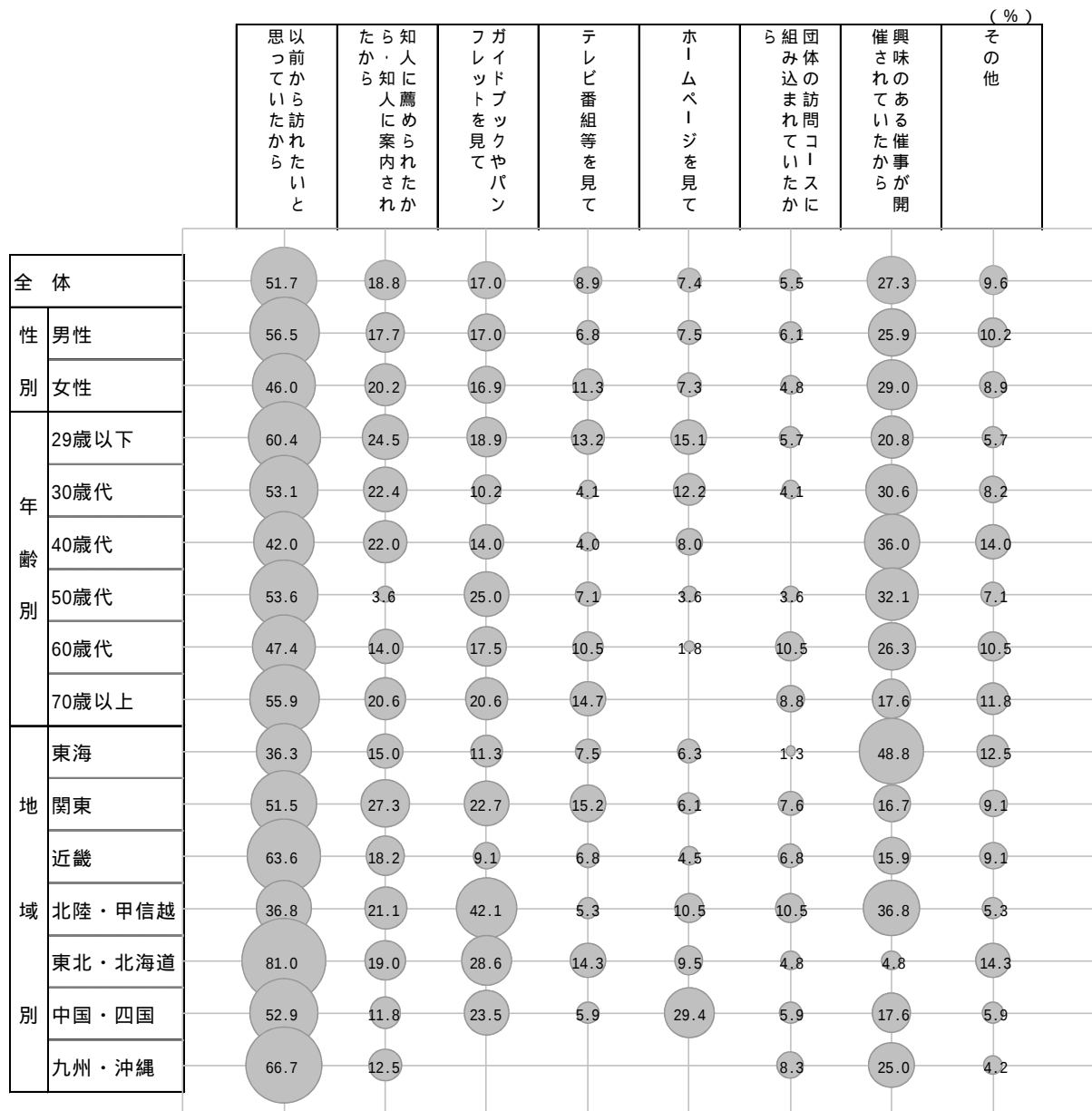
図 2-4-7 名古屋市以外の訪問地（複数回答）



h. 名古屋への訪問のきっかけ

観光等が目的で名古屋を訪れた方（271 人）のきっかけは、「以前から訪れたいと思っていたから」が 51.7%で最も多く、次いで「興味のある催事が開催されていたから」、「知人に薦められたから・知人に案内されたから」となっている。

図 2-4-8 名古屋への訪問のきっかけ（複数回答）



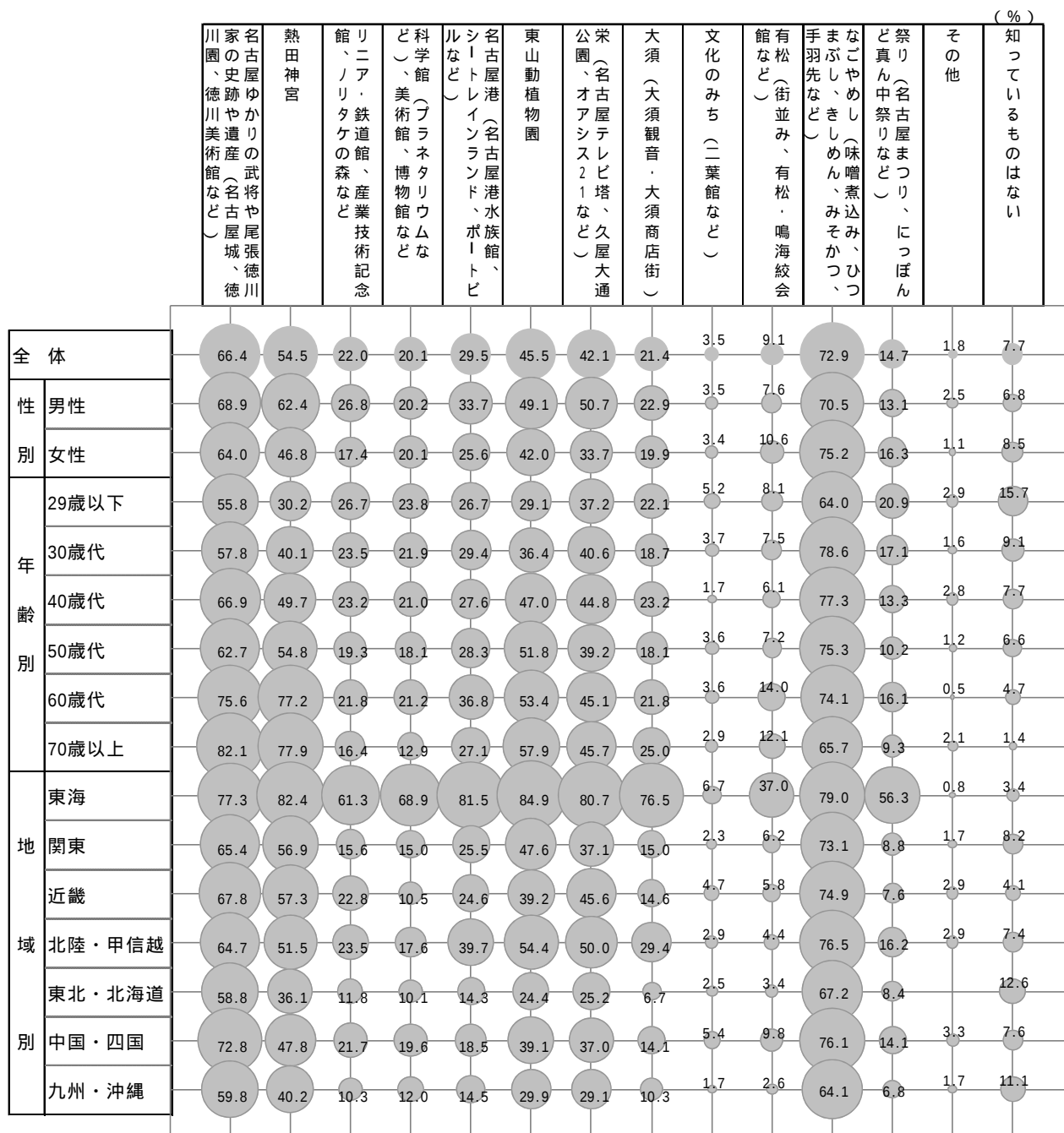
名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で知っているものとしては、「なごやめし」と「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」の割合が高く、以下、「熱田神宮」、「東山動植物園」と続いている。

地域別にみると、「上位5項目は「東海」以外の地域で同じである。

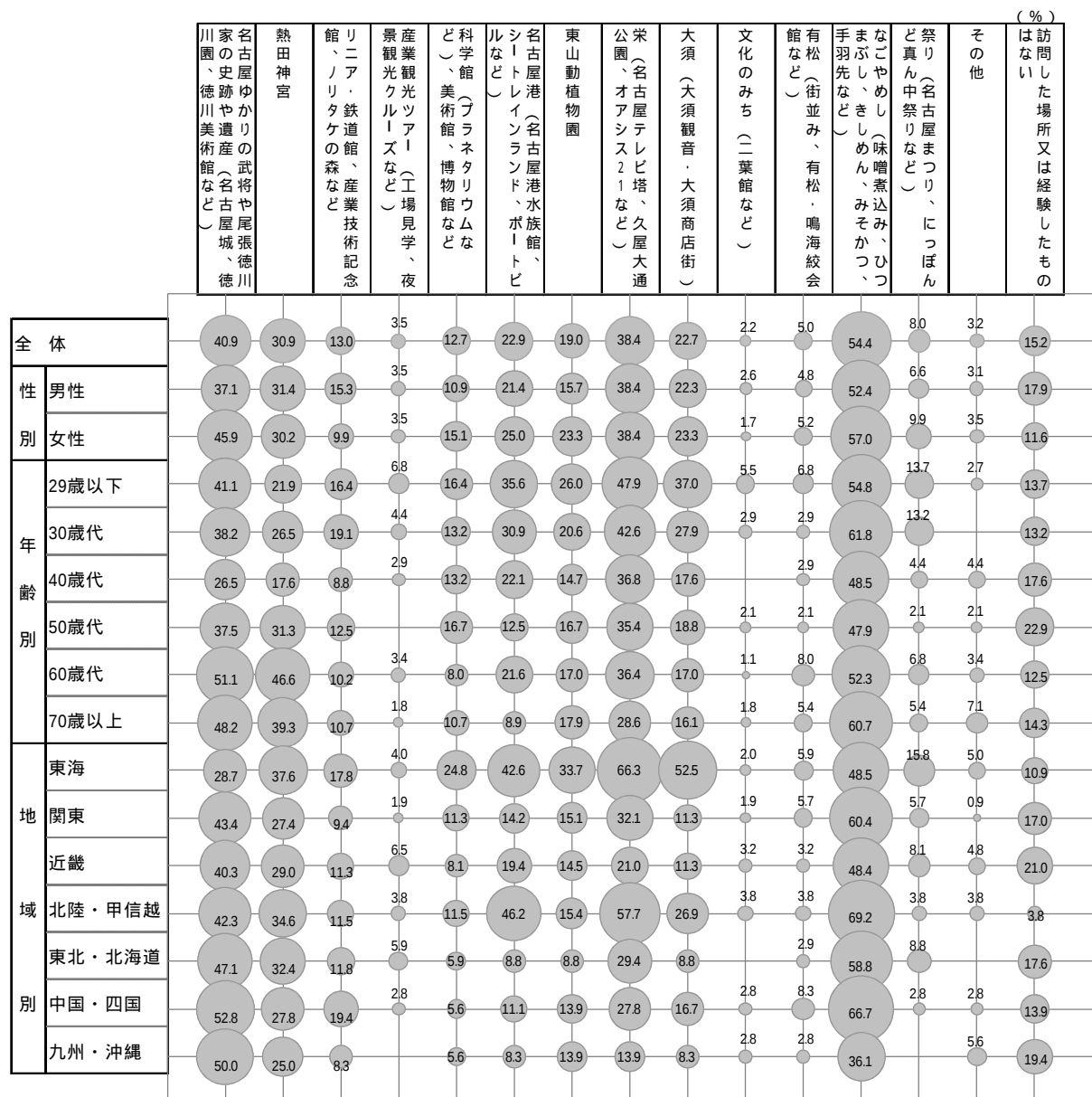
図 2-4-9 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）



b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋に訪れた方(401人)が訪問した場所又は経験したものとしては、「なごやめし」が54.4%と最も高く、次いで「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(40.9%)、「栄」(38.4%)が4割程度あり、「訪問した場所又は経験したものはない」の割合は15.2%である。

図 2-4-10 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

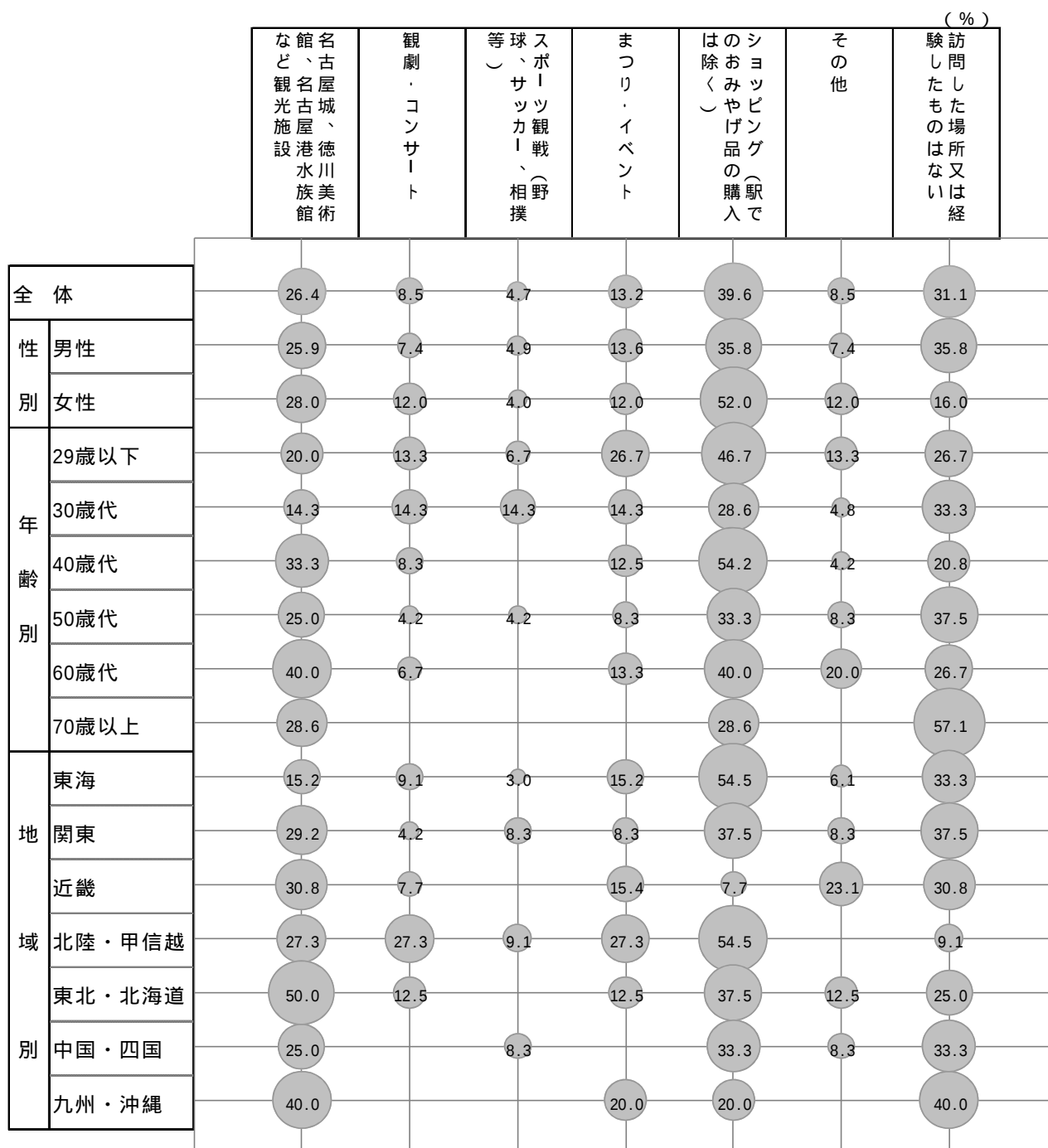


c．仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況

過去5年間以内に仕事目的で名古屋に訪れた方（106人）の直近の訪問で、そのときあわせて訪問した場所又は経験したものがある割合は68.9%と過半数を占めている。訪問した場所又は経験したものとしては、「ショッピング（駅でのおみやげ品の購入は除く）」が39.6%、「観光施設」が26.4%となっている。

訪問した場所又は経験したものがある割合は、女性は84%と高い。

図 2-4-11 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況（複数回答）



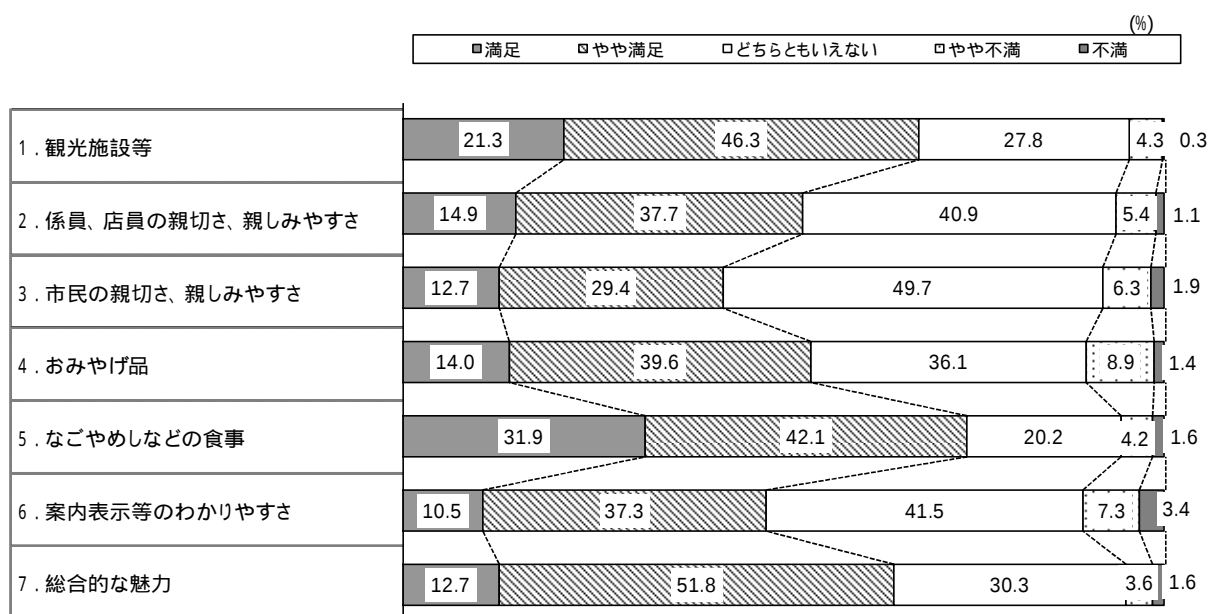
(3) 名古屋に対する評価

名古屋訪問時の印象

過去5年以内に名古屋を訪れた方(401人)では、「なごやめしなどの食事」については、「満足」と「やや満足」を合わせて74.0%と7割程が満足と感じており、下記の7項目のうち最も評価が高い。満足と感じる割合が、次いで高いのは、「観光施設等」と「総合的な魅力」で6割程である。「おみやげ品」と「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」、「案内表示等のわかりやすさ」については5割程度が満足と感じている。「市民の親切さ、親しみやすさ」については、満足と感じている割合は4割程で「どちらともいえない」が半数近くを占めている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は、「案内表示等のわかりやすさ」と「おみやげ品」については1割程度みられるものの、その他の項目については4~8%となっている。

図 2-4-12 名古屋訪問時の印象



a . 観光施設等の評価

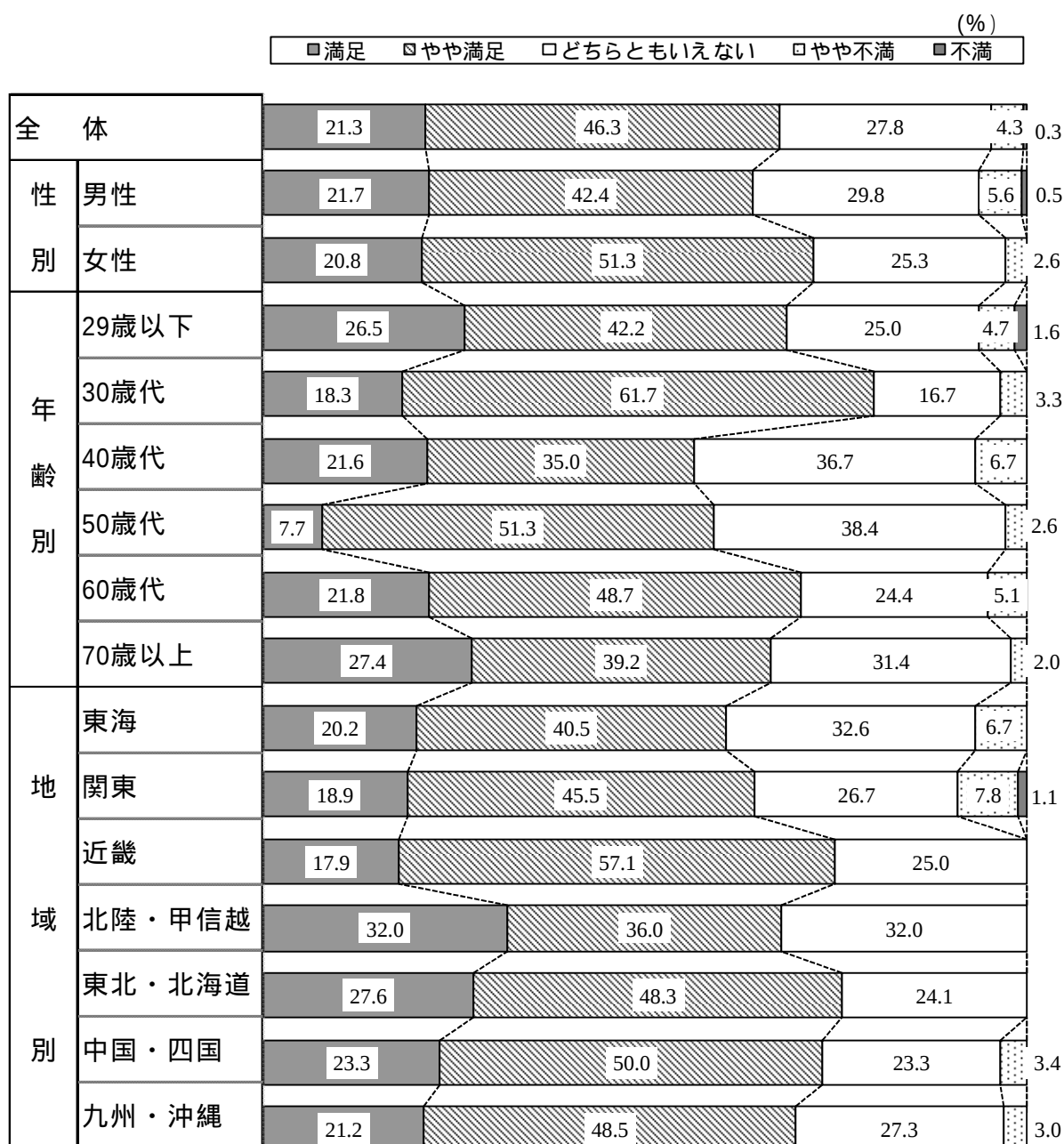
観光施設等については、「満足」と「やや満足」を合わせて67.6%と7割程度が満足と感じており、「やや不満」と「不満」を合わせ4.6%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性72.1%、男性64.1%と、女性の満足度の方がやや高い。これは、前述 名古屋の観光資源の訪問・体験状況で「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産（名古屋城など）」への訪問割合の差が影響していると思われる。

年齢別にみると、満足度は総じて高く、特に39歳以下の若い世代で高くなっている。

地域別にみると、満足と感じる割合は、全ての階層で過半数を占めている。

図 2-4-13 観光施設等の評価



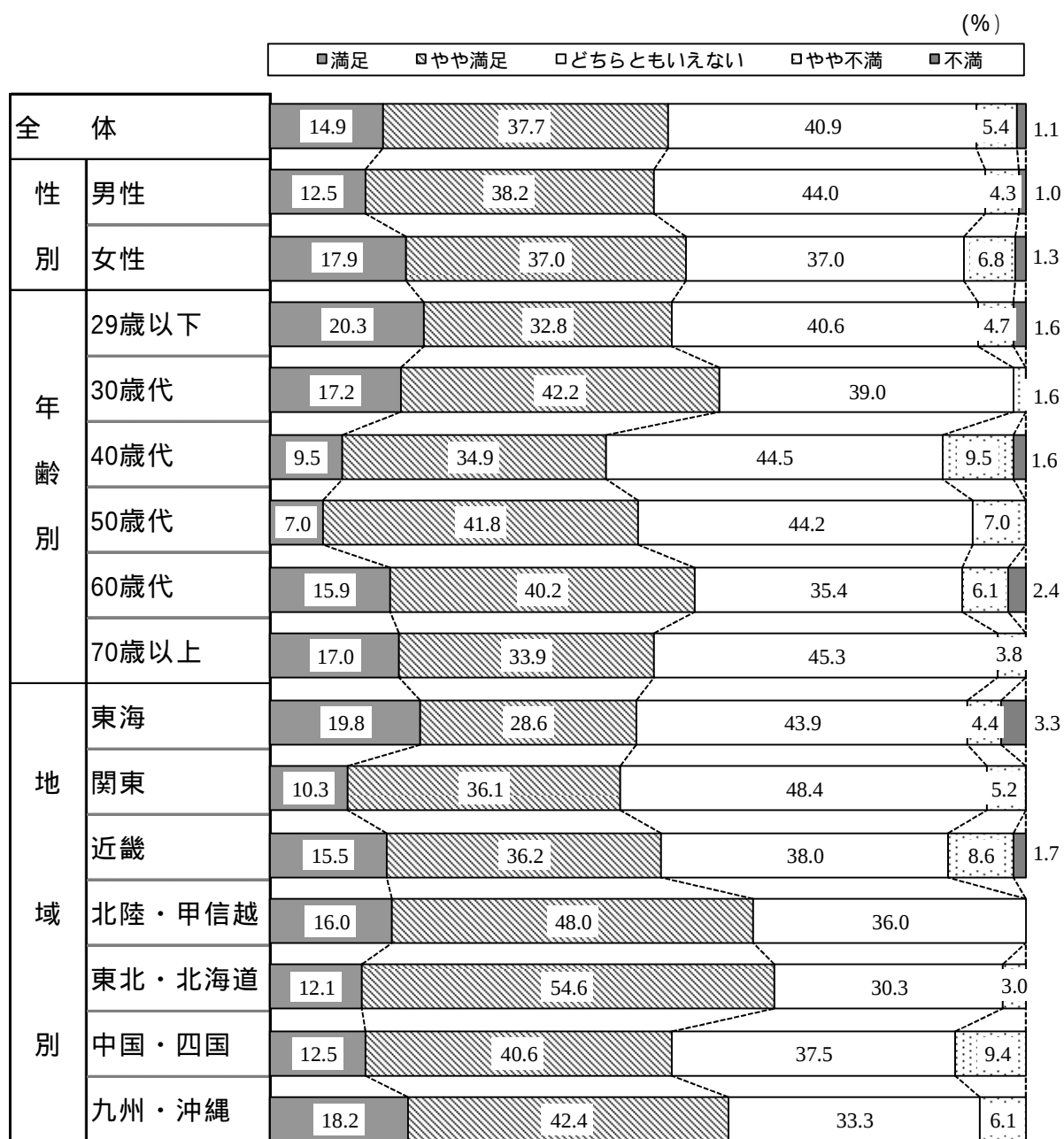
b. 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

係員、店員の親切さ、親しみやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせ 52.6%が満足と感じており、「やや不満」と「不満」を合わせ 6.5%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は男性女性共に過半数を占めている。

地域別にみると、満足と感じる割合は「東北・北海道」で高い。

図 2-4-14 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価



c. 市民の親切さ、親しみやすさの評価

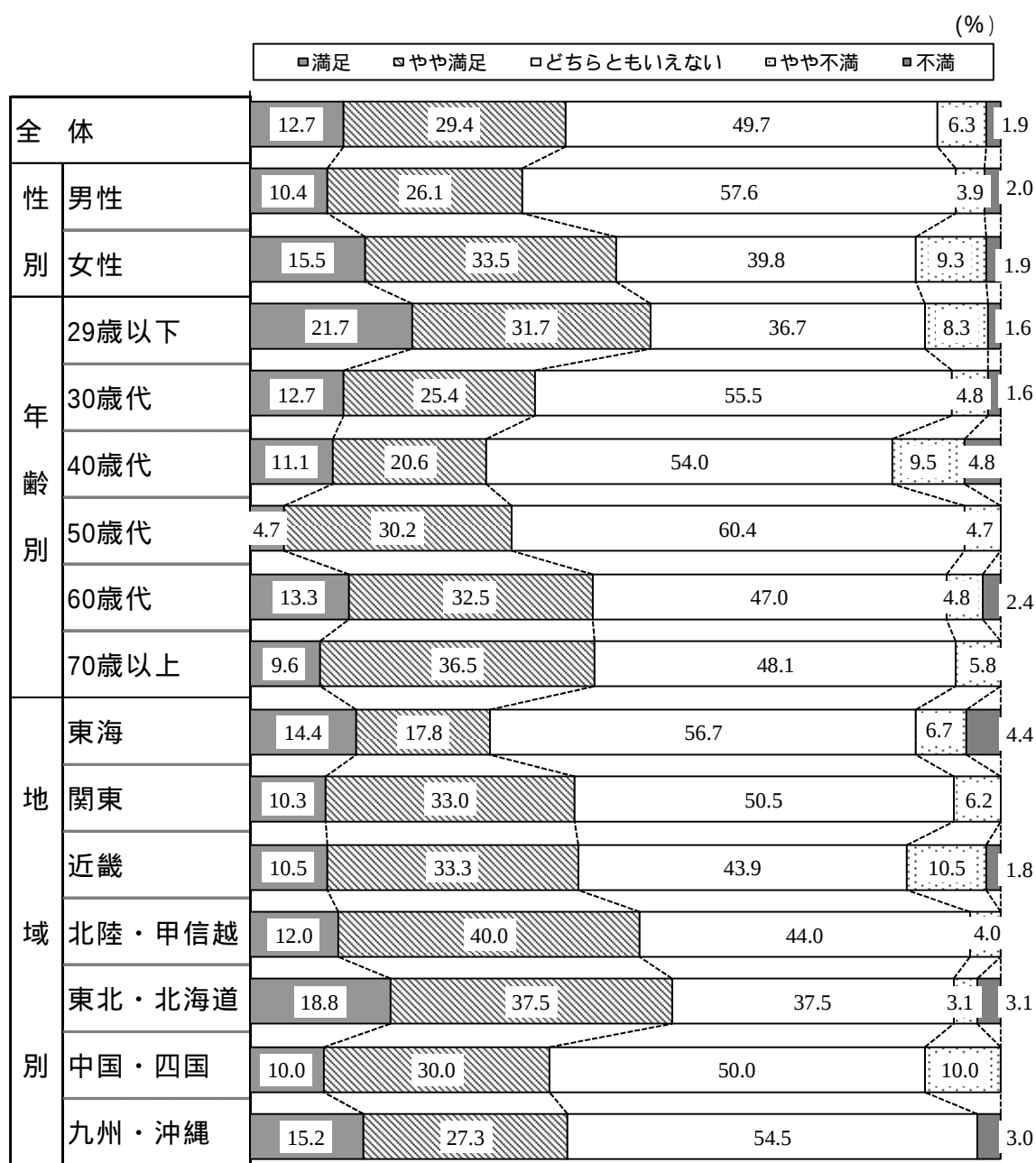
市民の親切さ、親しみやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせ 42.1%が満足と感じている。「どちらともいえない」が過半数を占めており、「やや不満」と「不満」を合わせ 8.2%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性の方が高く、男性では6割程度が「どちらともいえない」と回答している。

年齢別にみると、満足と感じる割合は40歳代から50歳代で3割程度と低い。また、40代では不満と感じる割合が14.3%と多い。

地域別にみると、「東海」では満足と感じる割合が3割程度と低い。

図 2-4-15 市民の親切さ、親しみやすさの評価



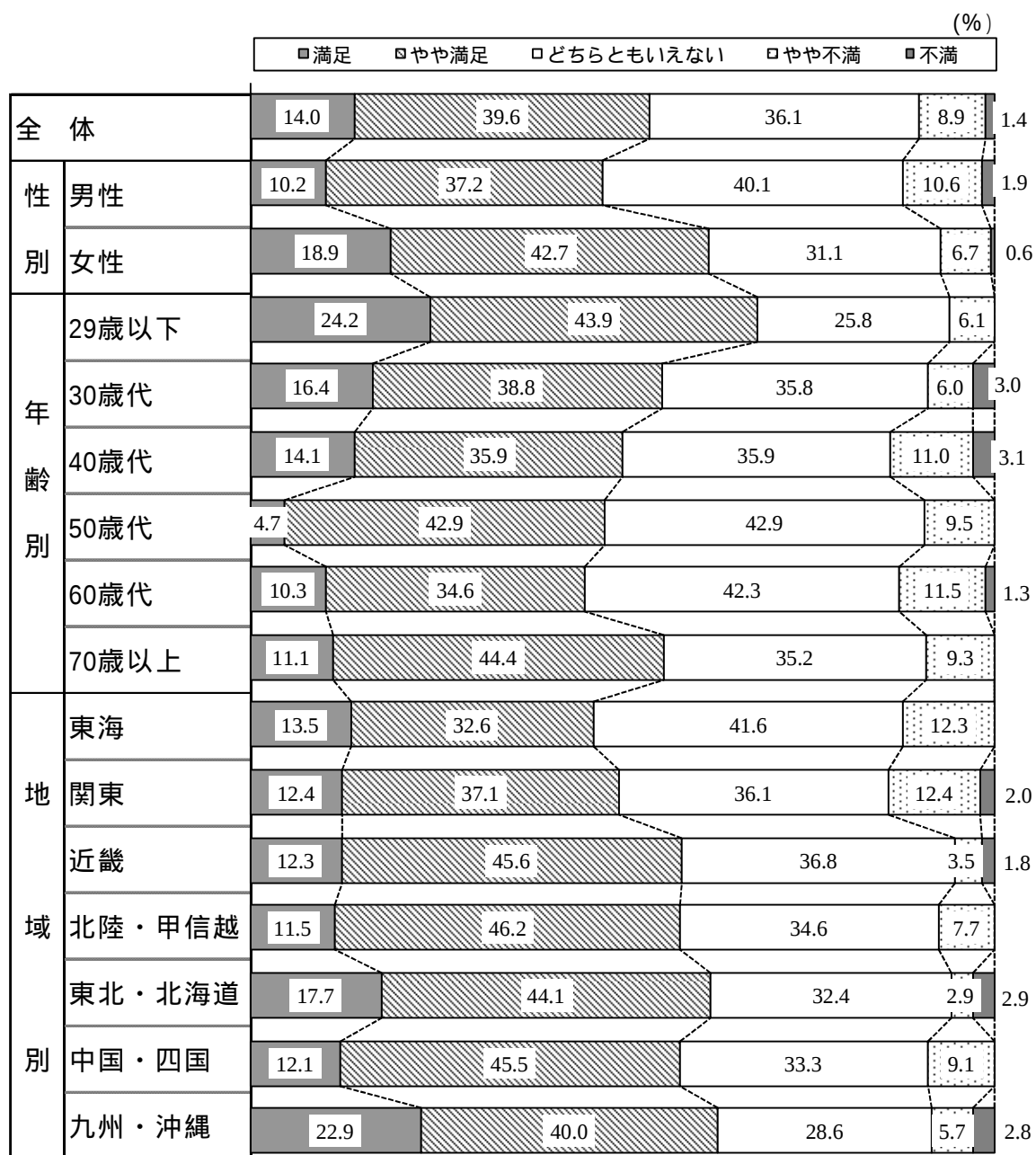
d．おみやげ品の評価

おみやげ品については、「満足」と「やや満足」を合わせ 53.6%と半数が満足と感じており、「やや不満」と「不満」を合わせた 10.3%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性が 61.6%と高い。

地域別にみると、満足と感じる割合は、遠方からの方で高い傾向がみられる。

図 2-4-16 おみやげ品の評価

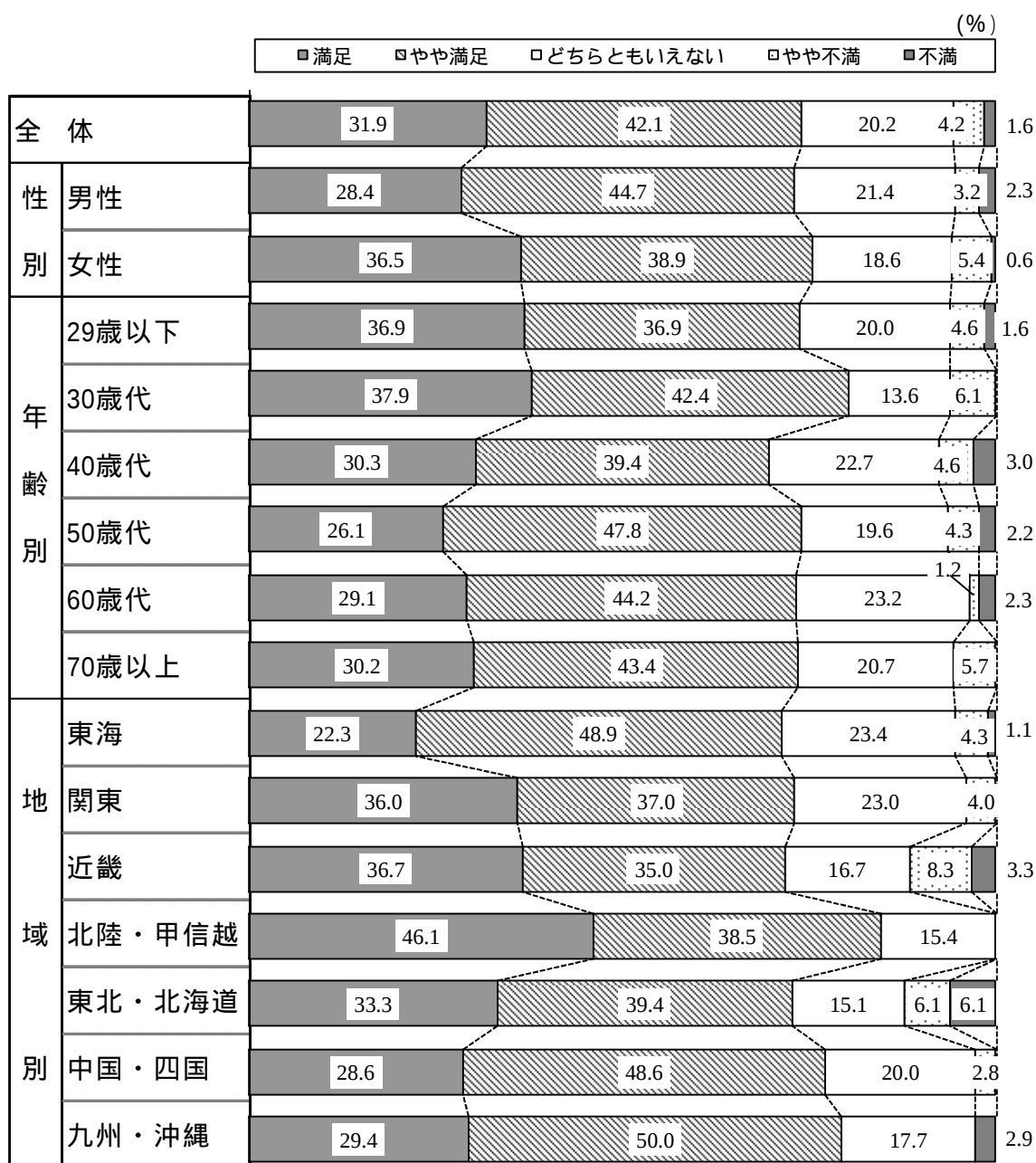


e. なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事については、「満足」が31.9%と3割みられ、「やや満足」を合わせて74.0%と7割程が満足と感じている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせ5.8%が不満と感じている。

属性別にみても、総じて満足度は高い。

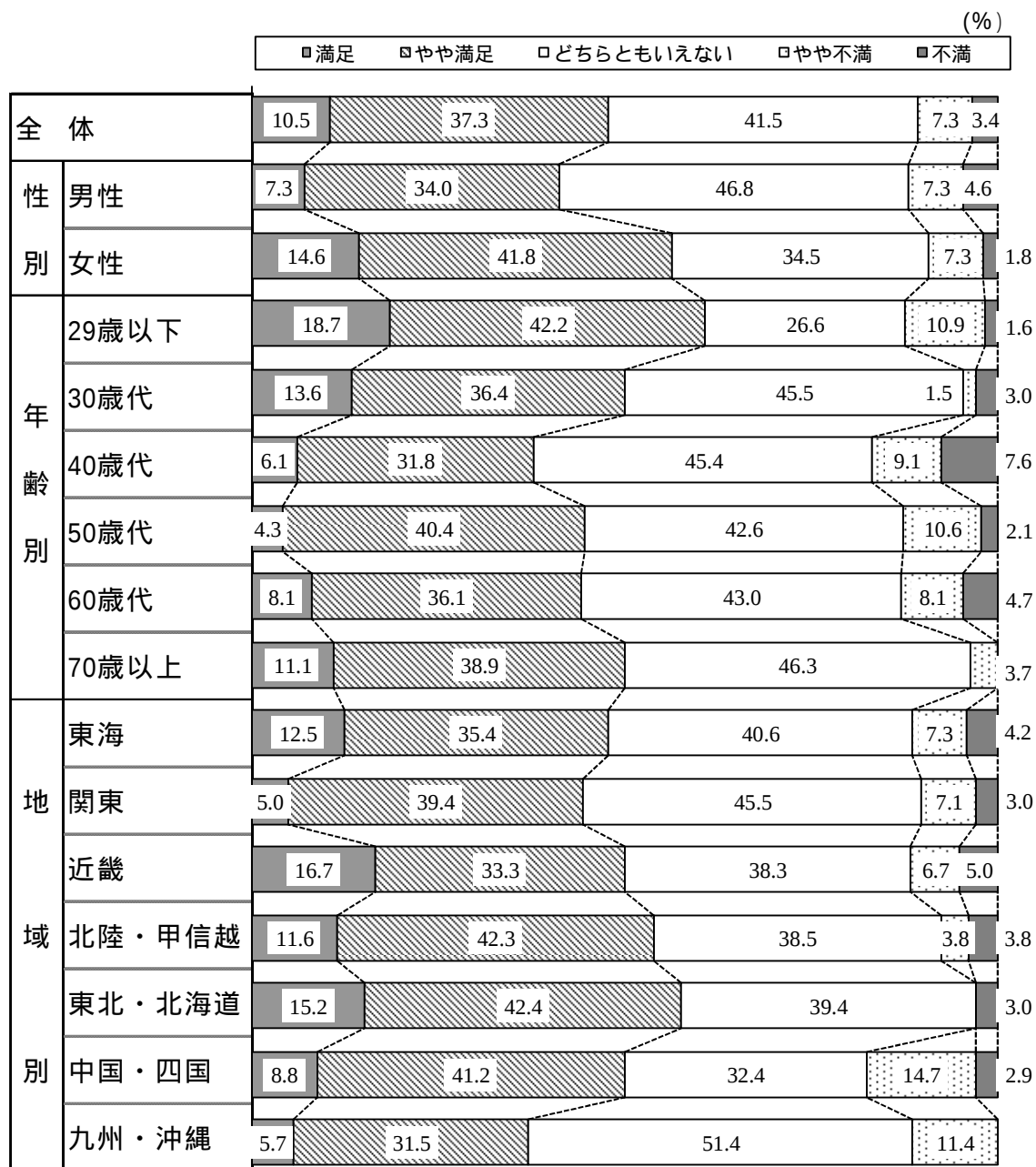
図 2-4-17 なごやめしなどの食事の評価



f. 案内表示等のわかりやすさの評価

案内表示等のわかりやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせ 47.8%が満足と感じている。「やや不満」と「不満」を合わせ 10.7%が不満と感じている。

図 2-4-18 案内表示等のわかりやすさの評価

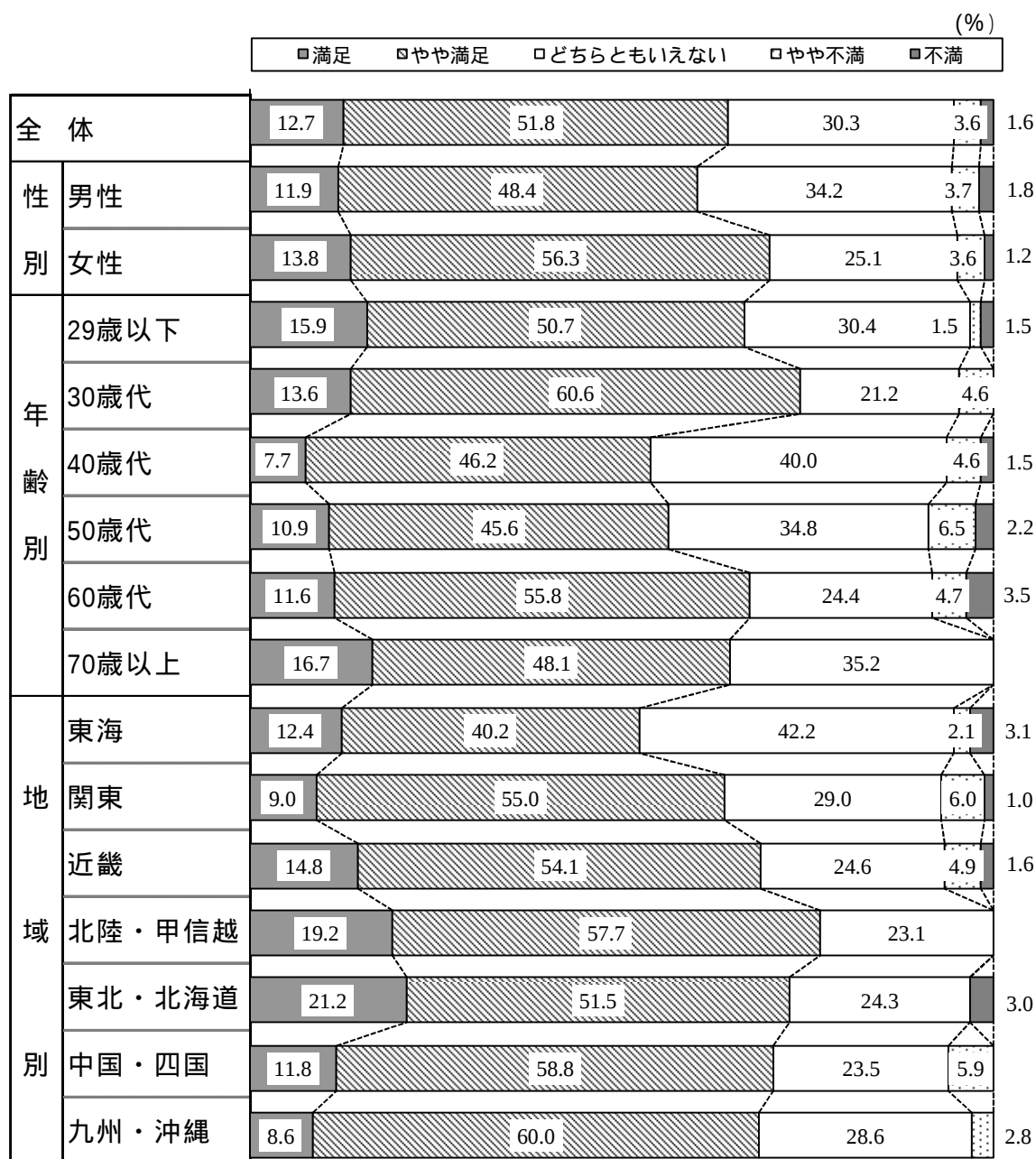


g . 総合的な魅力

総合的な魅力としては、「満足」が1割で、「やや満足」が半数を占め、合わせて64.5%と満足と感じた割合は6割に達しており、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は5.2%となっている。

属性別にみても、全ての階層で満足と感じる割合は過半数を占めており、特に女性などでは7割が満足と感じている。

図 2-4-19 総合的な魅力



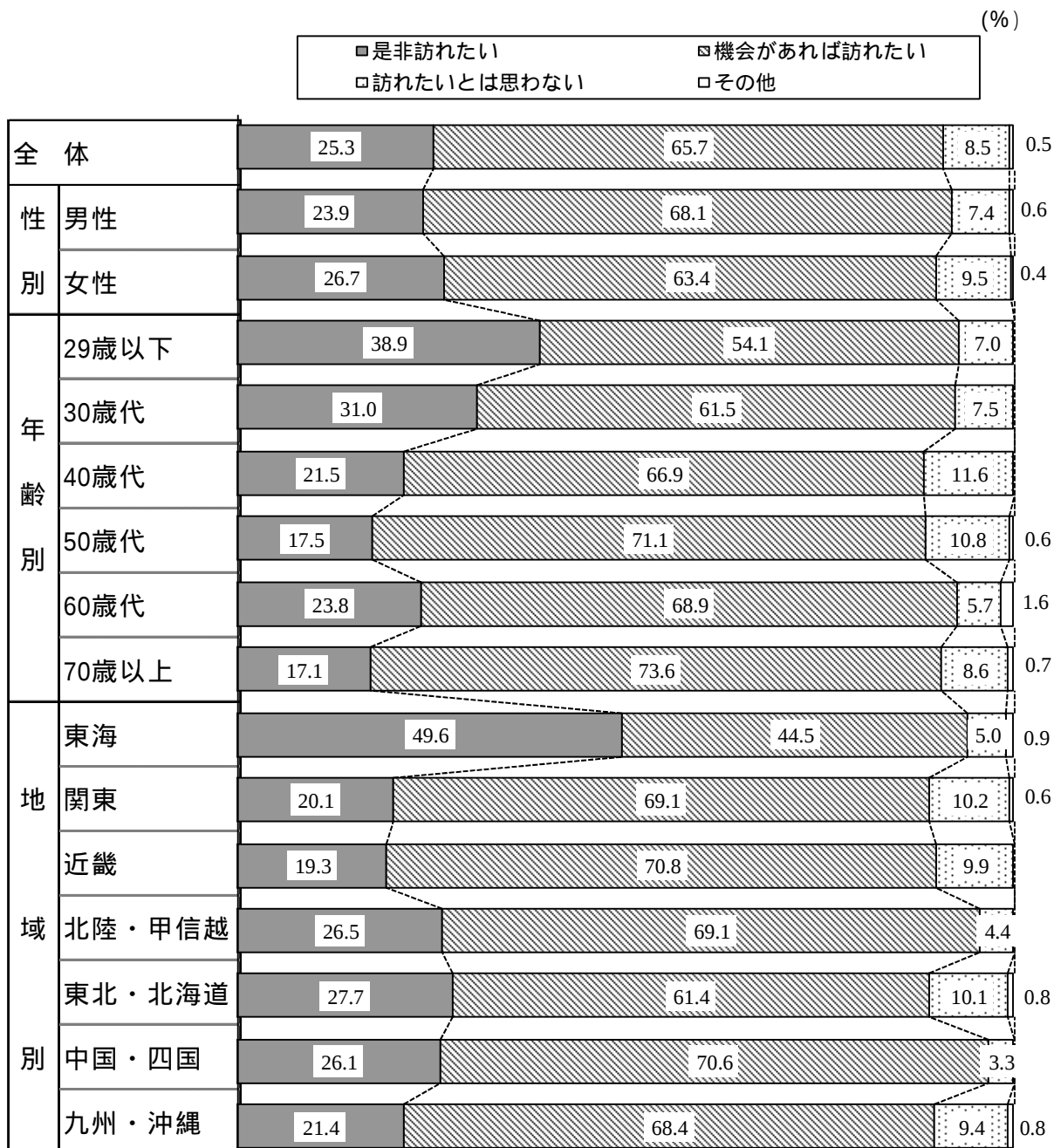
名古屋への今後の訪問について

a. 名古屋への訪問意向

今後、名古屋への訪問意向としては、「是非訪れたい」が 25.3%で、「機会があれば訪れたい」が 65.7%で、合わせて 91.0%と 9 割が訪れたいと考えている。

全ての階層で 9 割前後が訪問意向を持っている。

図 2-4-20 名古屋への訪問意向

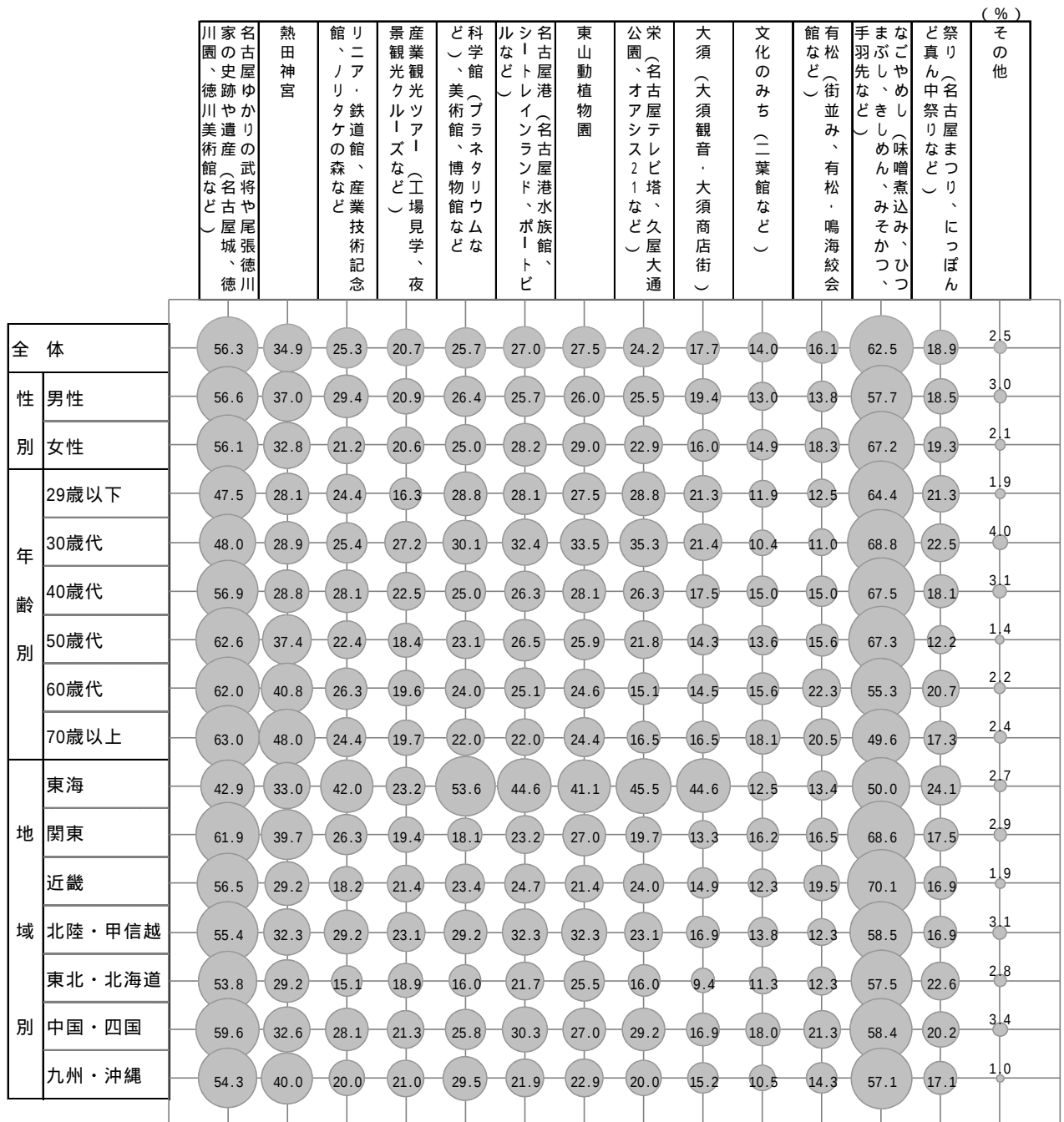


b. 訪れたい名古屋の観光資源

今後、名古屋へ訪れたいと思う方(946人)が訪問したい場所又は経験したいものとしては、「なごやめし」と「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)」が多い。

ほぼ全ての階層で「なごやめし」が最も高くなっている。

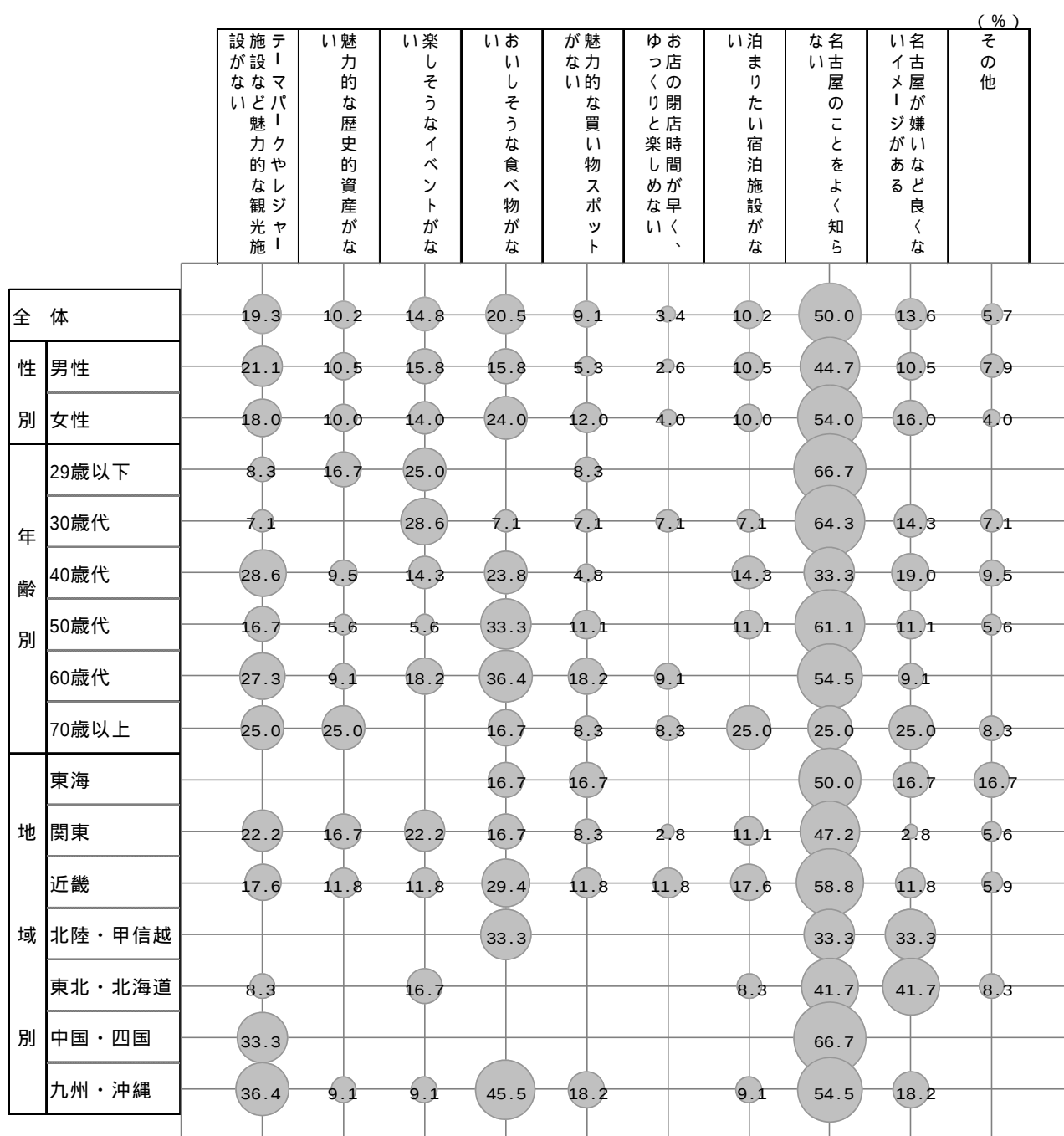
図 2-4-21 訪れたい名古屋の観光資源(複数回答)



c . 訪れたいと思わない理由

名古屋を訪れたいとは思わない方（88人）の理由としては、「名古屋のことをよく知らない」を50.0%が挙げている。その他の理由をみると、「テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設がない」や「おいしそうな食べ物がない」など訪問意向を起こさせる観光資源がないことを挙げている。「名古屋が嫌いなど良くないイメージがある」は13.6%と1割に達している。名古屋の観光資源の周知の徹底が名古屋への訪問意向を高めることにつながるといえる。

図 2-4-22 訪れたいと思わない理由（3つまで回答）

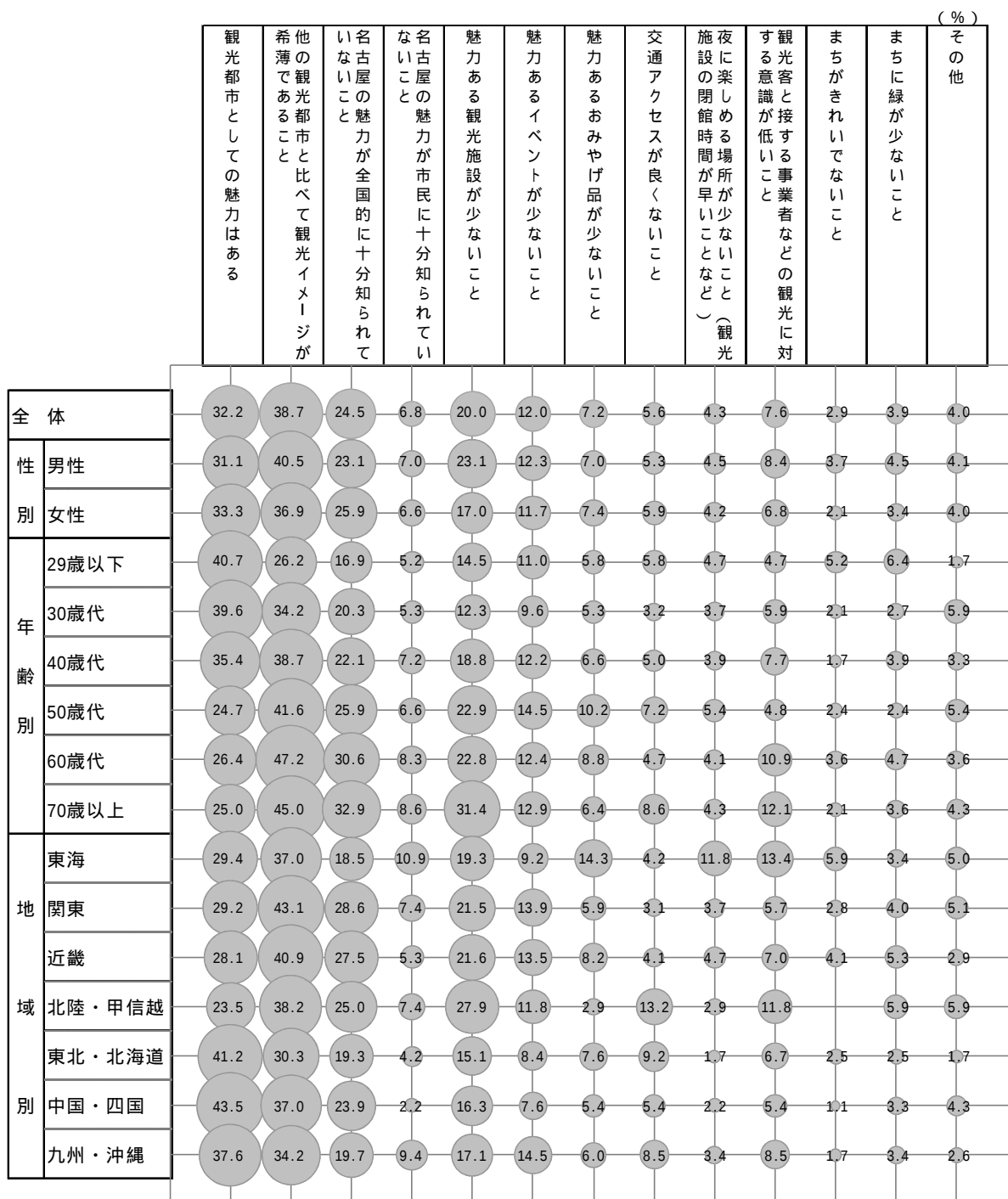


d．名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地として「観光都市としての魅力はある」の割合は 32.2%である。一方、魅力を感じない方の理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が 38.7%と最も多く、次いで「名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと」が 24.5%、「魅力ある観光施設が少ないこと」が 20.0%となっている。

「魅力がある」の割合は、年代が若いほど高く 30 歳代以下では 4 割程度となっている。逆に、「観光イメージが希薄であること」は年代が上がるほど高くなっている。

図 2-4-23 名古屋の観光地としての魅力（3つまで回答）



(4) 観光振興について

「名古屋おもてなし武将隊」について

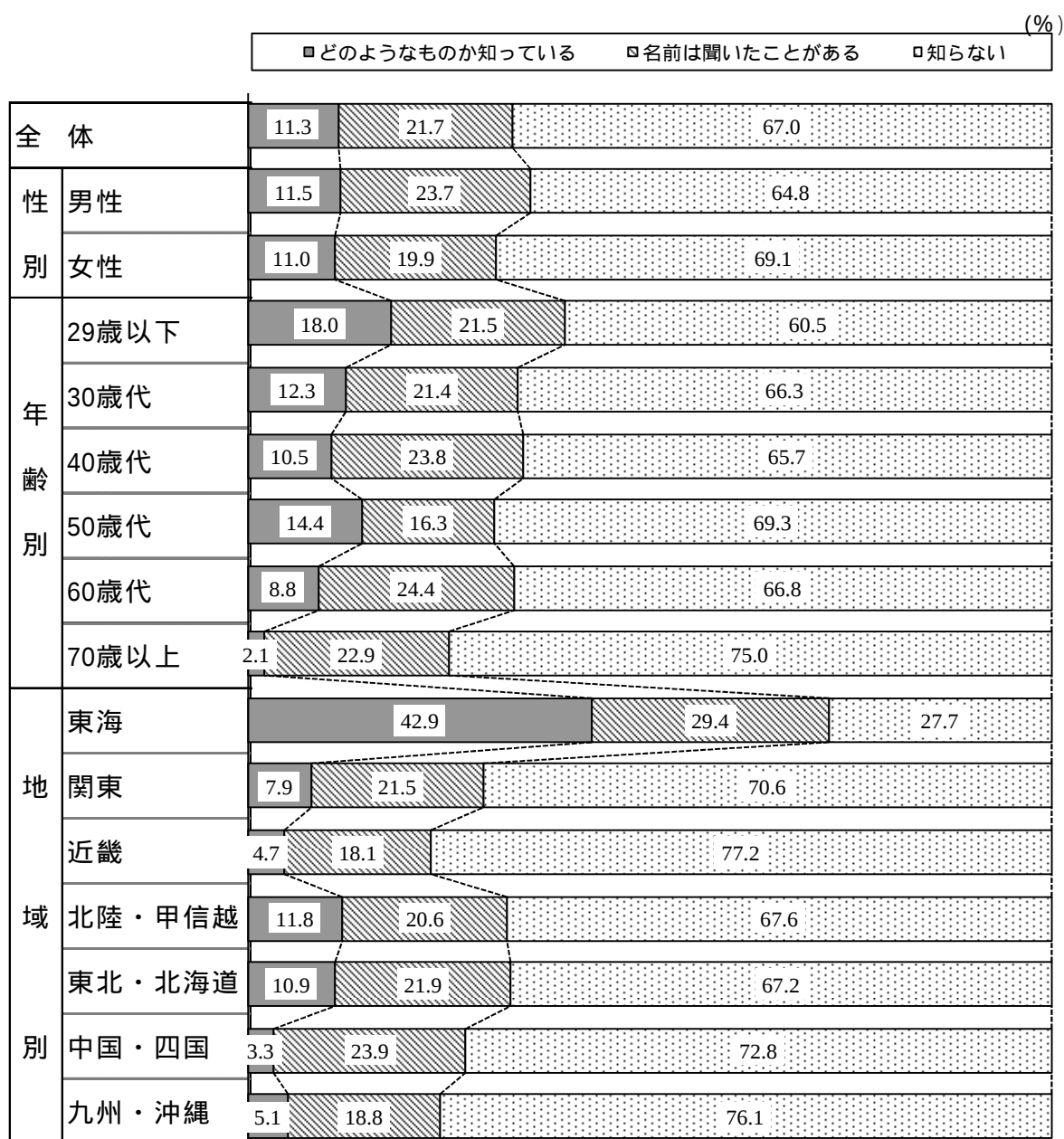
a. 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

平成21年11月に結成した「名古屋おもてなし武将隊」の認知状況としては、「どのようなものか知っている」は11.3%であり、「名前は聞いたことがある」と、合わせて認知度は33.0%となっている。

性別、年齢別にみると、29歳以下では認知度が39.5%と相対的にやや高いものの、特に大きな差異はみられない。

地域別にみると、認知度は「東海」では72.3%と高いものの、そのほかの地域ではまだ低く、特に「近畿」と「九州・沖縄」では2割強となっている。

図2-4-24 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

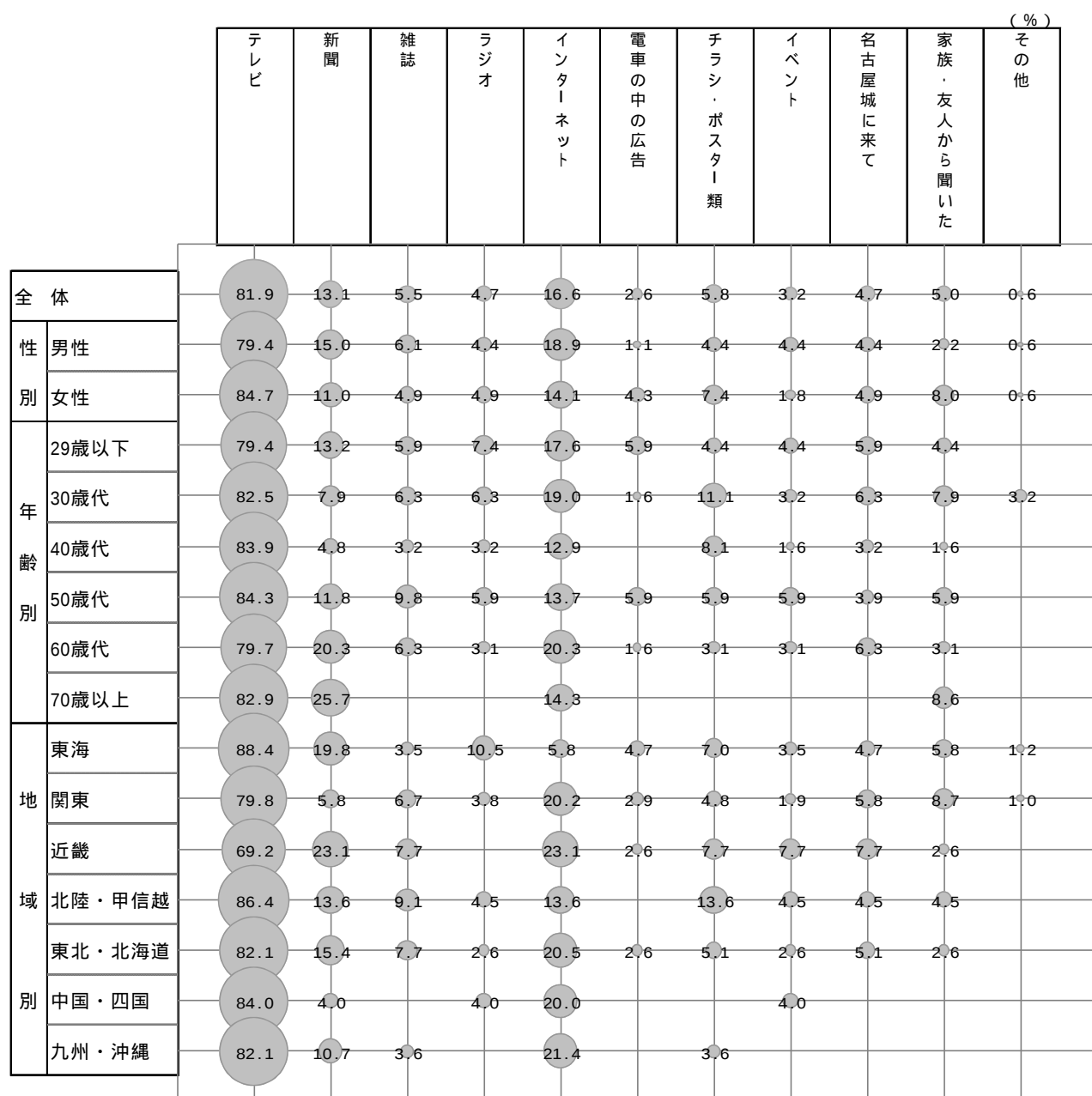


ｂ．「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路

「名古屋おもてなし武将隊」を知っていた方（343人）が知ったきっかけとしては、「テレビ」が81.9%と圧倒的に高い。そのほかでは「新聞」が13.1%と「インターネット」が16.6%で、それ以外は数%である。

全ての階層で「テレビ」は圧倒的に高い。

図 2-4-25 「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路



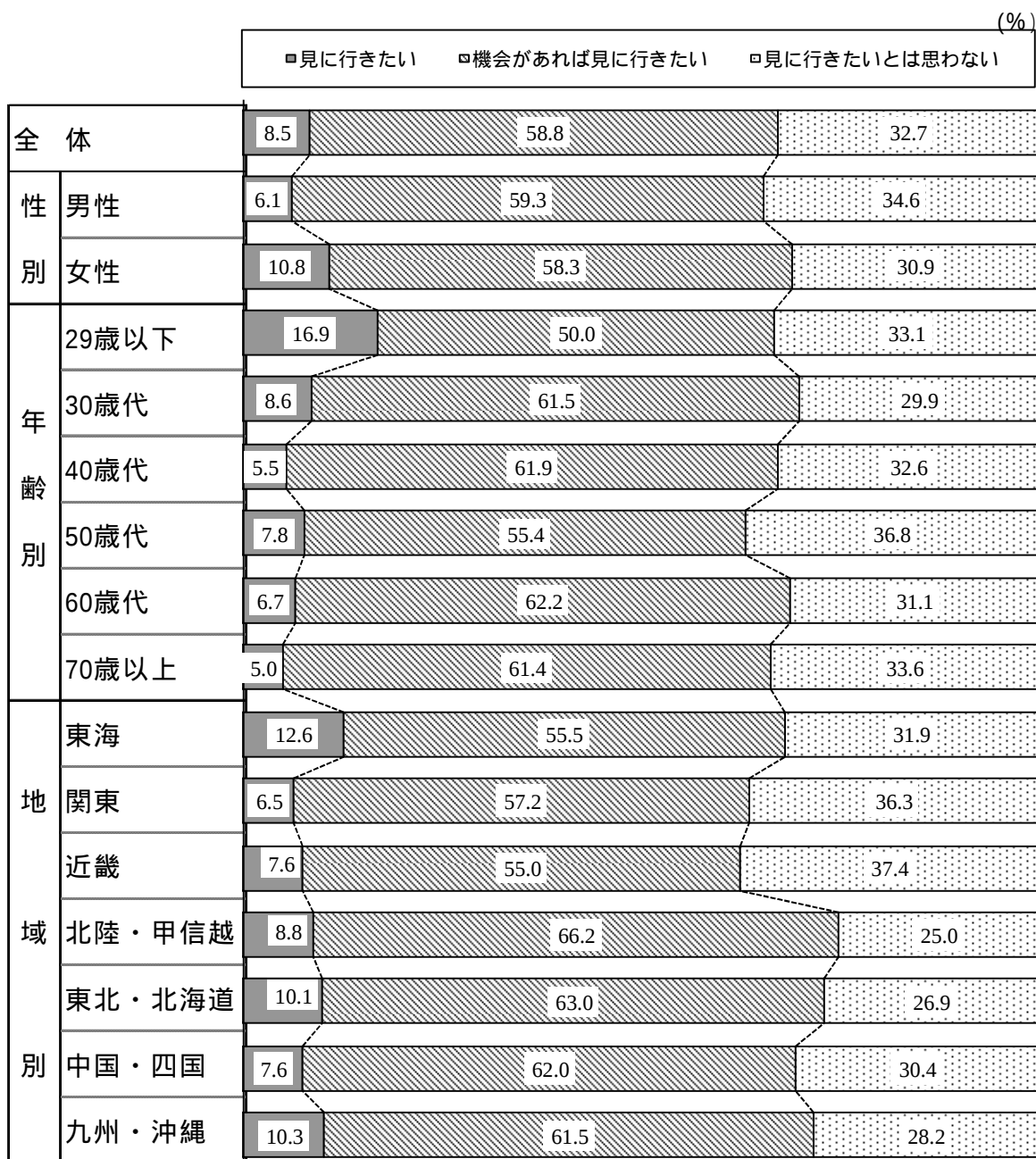
c.「名古屋おもてなし武将隊」観覧意向

「名古屋おもてなし武将隊」を名古屋に「見に行きたい」割合は 8.5%と少ないものの、「機会があれば見に行きたい」は 58.8%と過半数を占め、合わせて 67.3%と 7 割近くが観覧意向を持っている。

性別・年齢別にみても差異はみられない。

地域別にみると、大都市圏外では観覧意向が比較的高くなっている。

図 2-4-26 「名古屋おもてなし武将隊」観覧に名古屋への訪問意向

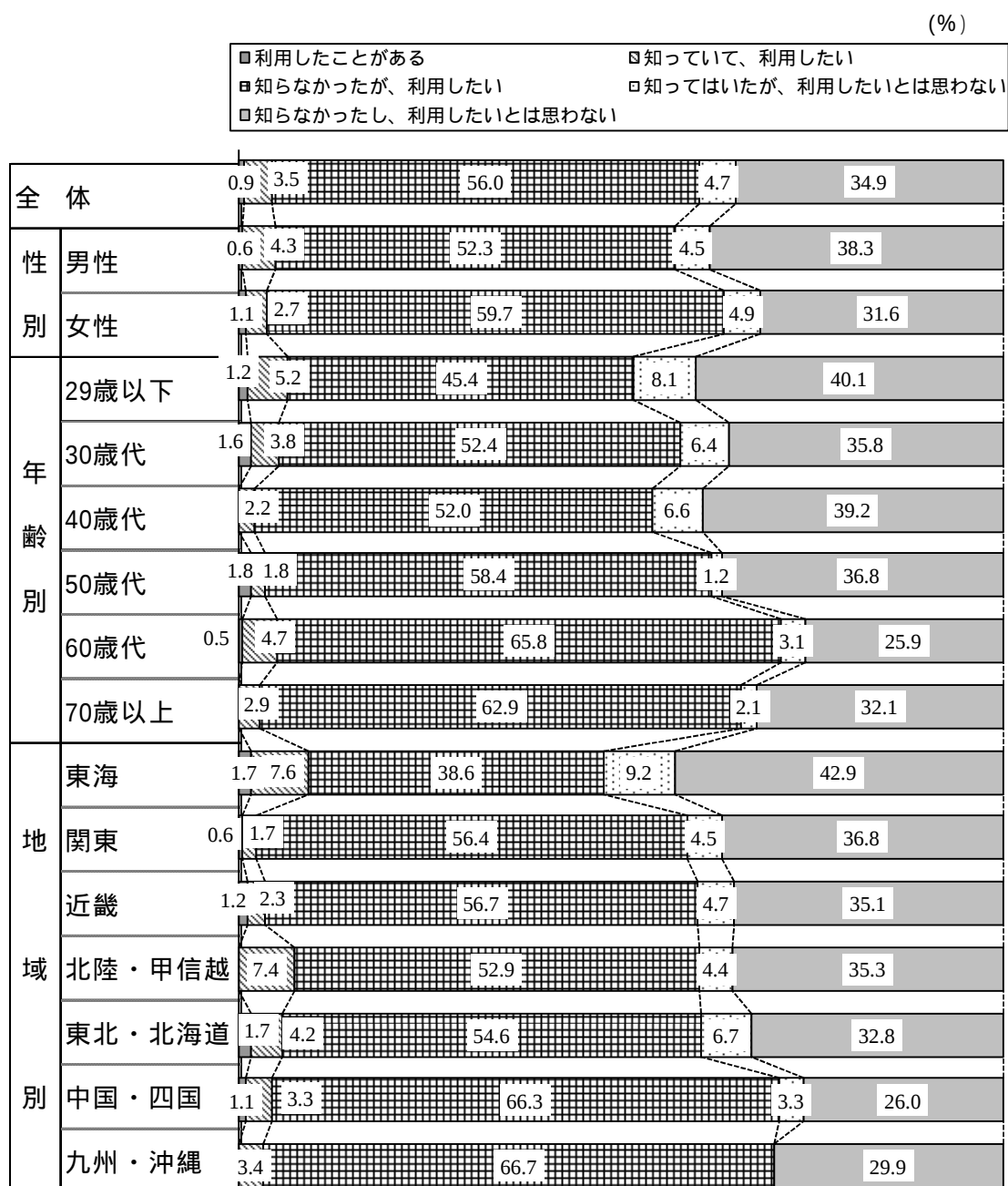


なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を「利用したことがある」割合は0.9%と僅かである。「知っていて、利用したい」と「知ってはいたが、利用したいとは思わない」を合わせた認知度は9.1%と低い。しかし、「知っていて、利用したい」と「知らなかったが、利用したい」を合わせた利用意向は59.5%と6割程度を占めている。

認知度としては、「東海」でも18.5%と認知度は低い。

図 2-4-27 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



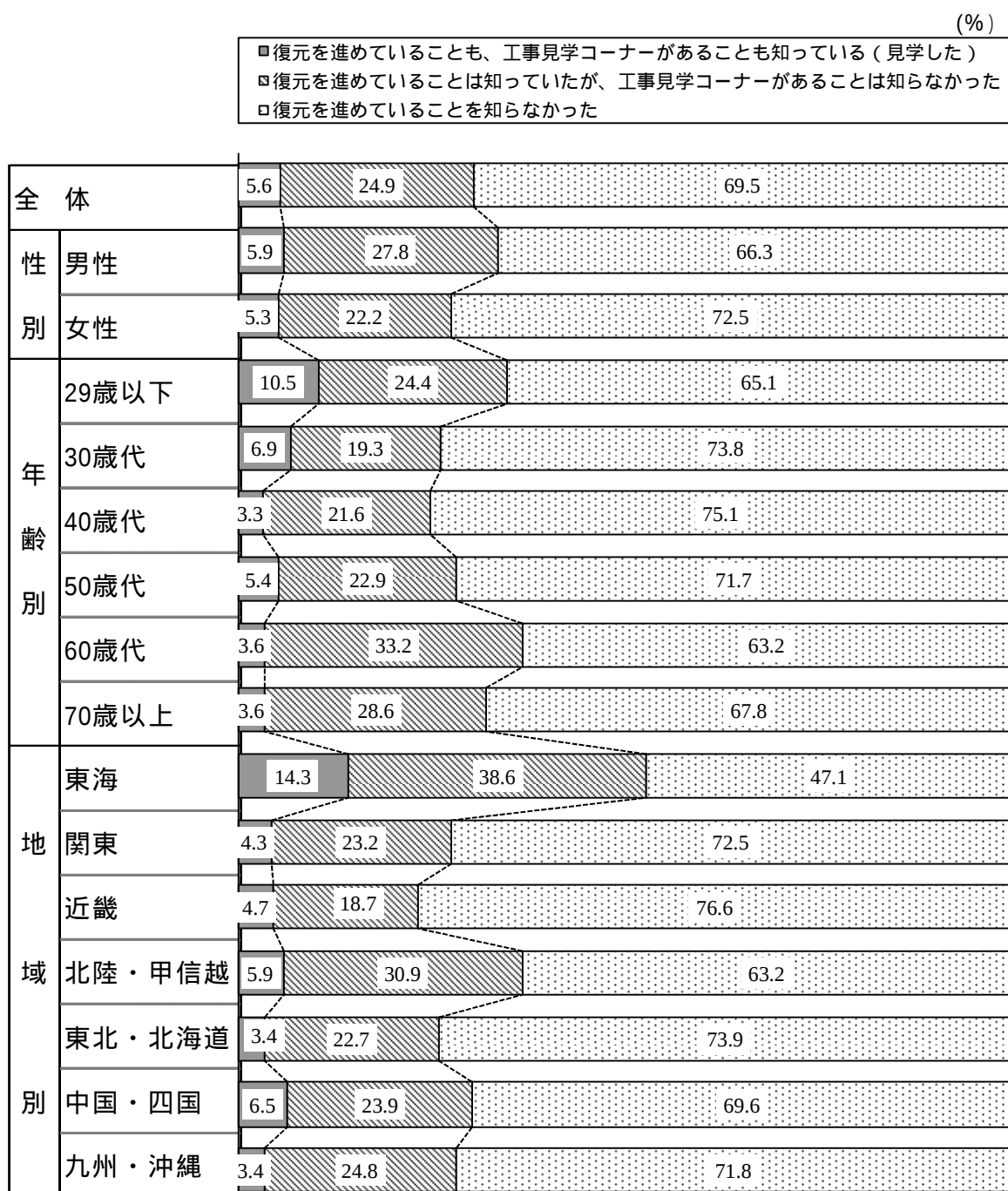
名古屋城「本丸御殿」の復元

a. 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

名古屋城「本丸御殿」の復元の取組みについて、「復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている」、「復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった」を合わせて30.5%が「本丸御殿」の復元を知っている。

地域別にみると、「東海」では「復元も、工事見学コーナーも知っている」が14.3%で、「復元は知っていたが、工事見学コーナーは知らなかった」と合わせ「本丸御殿」の復元を知っている割合は52.9%と半数を超えている。

図 2-4-28 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度



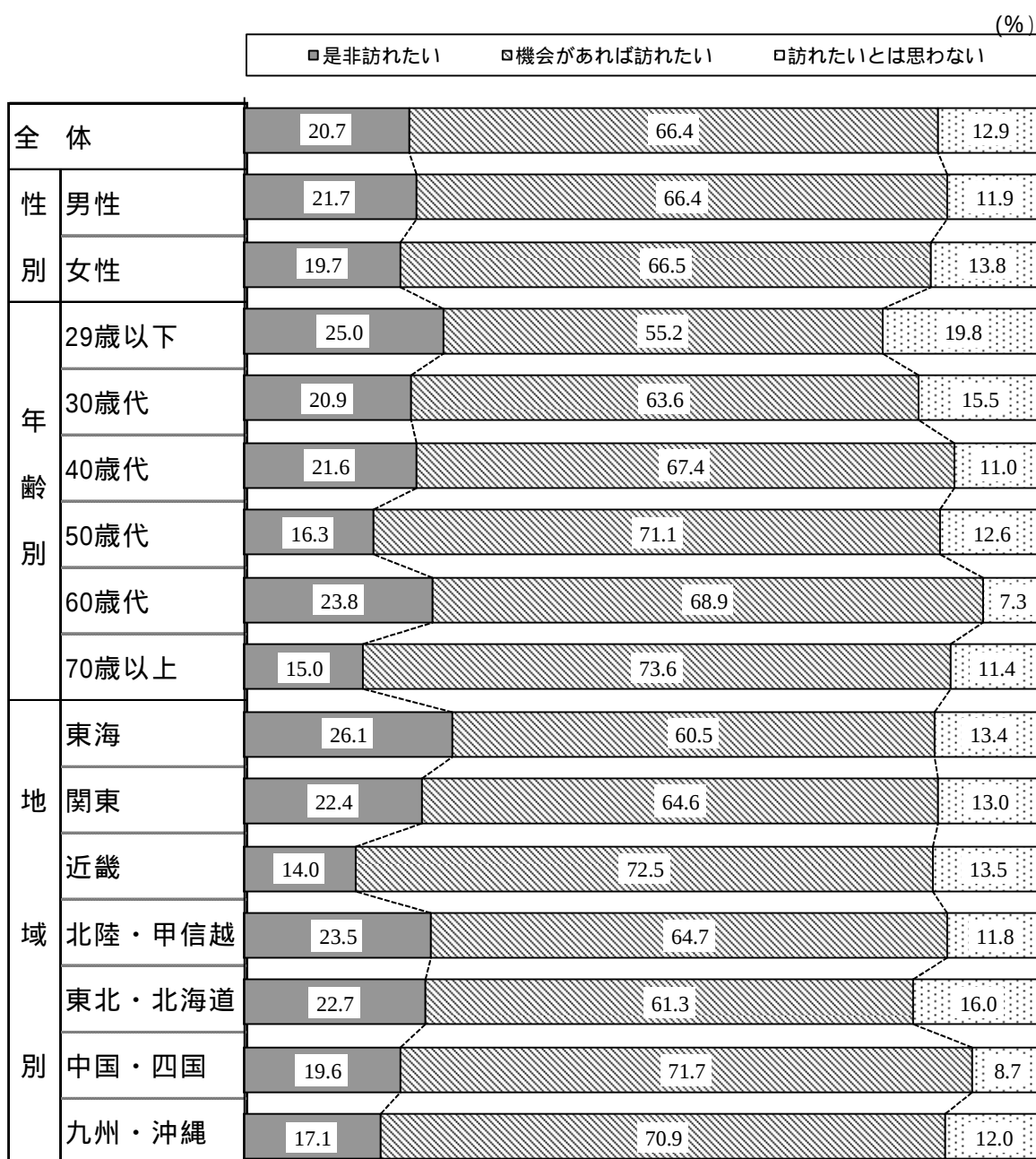
b. 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向

名古屋城「本丸御殿」が復元された場合、「是非訪れたい」、「機会があれば訪れたい」を合わせて 87.1%が訪問意向を持っている。前述の名古屋への訪問意向（P82 図 2-4-20）で訪問意向が無かった方（88 人）のうち、3 名が「是非訪れたい」、24 名が「機会があれば訪れたい」としており、この取組みが名古屋の観光振興に大きく貢献することを示唆している。

性別、年齢別にみても、大きな差異はみられない。

地域別にみると、訪問意向の割合に大きな差はみられない。

図 2-4-29 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

名古屋市主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 24 年度における名古屋市主要観光施設（30 施設）への入込客数は合計で約 2,241 万人であり、平成 23 年度と比較すると、入込客数は約 35 万人（1.6%）増加している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 677 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 208 万人）、名古屋港水族館（約 199 万人）、名古屋城（約 147 万人）、名古屋市科学館（約 130 万人）、農業文化園・戸田川緑地（約 128 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、シャチファミリーの一般公開やシャチの赤ちゃんが誕生した名古屋港水族館や特別企画展が好評であった名古屋ボストン美術館などの施設で入込客数の増加を示している。

一方、プラネタリウムなどをリニューアルした名古屋市科学館やリニア・鉄道館は、入込客数に落ち着きが出てきており、減少している。

名古屋市主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東山動植物園、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 11 月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋市科学館、名古屋港水族館、シートレインランド、リニア・鉄道館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に 4～5 月及び 10～11 月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

施設 \ 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
名古屋城	1,246,279	1,352,344	1,517,727	1,414,769	1,472,305
東山動植物園	2,201,822	2,284,853	2,180,296	2,025,336	2,079,896
東山スカイタワー	298,801	305,625	299,008	273,541	277,652
テレビ塔	285,681	277,343	270,565	201,868	251,384
熱田神宮	6,417,500	6,652,665	6,713,174	6,716,036	6,773,935
名古屋港	586,788	526,306	464,479	462,104	416,175
名古屋市科学館	607,864	606,157	481,957	1,531,854	1,303,372
徳川美術館	239,506	218,048	210,408	204,215	193,047
名古屋市博物館	448,153	483,413	513,426	400,384	410,718
東谷山フルーツパーク	570,675	560,584	512,211	513,454	538,245
農業文化園・戸田川緑地	938,998	1,057,523	995,286	1,116,600	1,281,235
でんきの科学館	360,082	349,124	412,420	336,167	301,239
名古屋市美術館	474,264	380,365	463,085	309,872	315,204
名古屋港水族館	1,907,127	1,725,373	1,766,343	1,785,853	1,990,050
産業技術記念館	270,121	226,226	273,926	249,740	284,919
白鳥庭園	93,289	104,610	119,487	113,872	117,761
市政資料館	73,362	73,312	72,313	67,622	69,570
名古屋能楽堂	194,109	187,096	183,889	166,925	171,951
愛知県美術館	682,896	868,544	732,339	711,001	795,538
名古屋市農業センター	630,033	620,193	573,718	609,918	629,486
シートレインランド	690,717	638,597	623,193	604,748	619,387
有松・鳴海絞会館	213,812	177,211	177,631	159,824	170,035
ランの館	144,427	136,039	142,530	129,967	134,638
名古屋ボストン美術館	238,153	400,667	110,126	101,878	319,008
ノリタケの森	398,606	367,569	337,468	341,939	356,529
ブルーボネット	74,364	74,261	73,587	65,831	70,780
徳川園	256,921	258,143	242,024	251,721	248,542
文化のみち二葉館	33,716	40,325	38,056	32,191	34,749
イタリア村	66,500	-	-	-	-
スカイプロムナード	240,000	165,000	124,553	107,124	103,014
リニア・鉄道館	-	-	98,961	1,057,424	679,272
合 計	20,884,566	21,117,516	20,724,186	22,063,778	22,409,636

注 1：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。
イタリア村は平成 20 年 5 月に閉館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 24 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		191,265	138,520	83,179	84,256	191,384	105,105	115,253	124,243
東山動植物園		284,556	325,700	140,507	72,154	91,249	130,223	265,801	213,266
東山スカイタワー		34,365	35,613	16,847	11,991	21,147	18,971	30,471	29,505
テレビ塔		8,814	29,402	19,216	17,252	29,871	21,320	20,696	20,099
熱田神宮		183,754	209,079	445,005	164,240	159,530	155,632	202,585	256,479
名古屋港		40,537	54,589	27,213	34,763	57,212	31,843	38,638	34,637
名古屋市科学館		115,731	134,413	106,068	109,506	190,245	91,707	91,039	87,293
徳川美術館		16,741	19,353	13,910	11,009	14,809	13,602	18,834	21,958
名古屋市博物館		7,966	33,140	21,470	39,518	72,055	22,353	26,181	59,488
東谷山フルーツパーク		150,665	65,491	25,677	19,423	23,198	32,157	50,417	34,885
農業文化園・戸田川緑地		122,042	306,811	93,812	98,082	105,414	103,959	119,487	81,585
でんきの科学館		25,843	26,328	18,656	27,112	47,943	22,535	20,891	23,044
名古屋市美術館		14,072	19,583	8,078	14,581	100,257	129,133	4,672	13,734
名古屋港水族館		159,191	211,033	122,113	188,174	391,164	176,881	142,264	108,966
産業技術記念館		23,423	24,212	23,235	23,146	34,354	24,540	26,012	28,295
白鳥庭園		10,772	14,268	7,254	3,642	5,292	6,039	11,743	27,845
市政資料館		6,294	5,793	6,903	4,599	4,305	5,379	5,989	7,624
名古屋能楽堂		13,876	10,815	16,851	15,247	9,480	14,968	20,356	17,154
愛知県美術館		50,636	55,537	56,058	46,582	55,033	40,331	39,212	33,235
名古屋市農業センター		51,756	51,862	34,413	21,870	25,256	27,617	32,996	51,924
シートレインランド		50,803	55,225	37,730	61,650	108,471	55,827	42,253	35,556
有松・鳴海絞会館		6,820	9,435	94,994	7,542	7,797	7,470	9,251	9,252
ランの館		7,453	13,510	11,045	9,851	10,298	7,064	15,786	13,469
名古屋ボストン美術館		13,375	21,428	14,678	53,543	49,507	39,946	35,484	48,484
ノリタケの森		26,186	34,240	26,683	26,049	35,369	30,326	35,893	39,099
ブルーボネット		10,256	19,397	8,228	4,385	2,609	4,130	9,738	4,981
徳川園		29,203	25,270	15,992	11,796	14,163	15,202	21,500	41,302
文化のみち二葉館		2,830	3,089	2,828	1,719	2,200	2,513	4,201	3,502
スカイプロムナード		7,148	9,465	6,990	8,492	11,894	9,594	8,808	8,218
リニア・鉄道館		66,770	69,823	53,366	62,239	99,044	56,169	53,358	54,135
全 体		1,733,143	2,032,424	1,558,999	1,254,413	1,970,550	1,402,536	1,519,809	1,533,257

調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 20 年度には、1 施設（ロボットミュージアム）を除き、平成 21 年度には、1 施設（イタリヤ村）を除き、平成 22 年度には、1 施設（リニア・鉄道館）を加え 30 施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設 \ 年月	平成 24 年 12 月	平成 25 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城	72,955	87,207	86,371	192,567	1,472,305	
東山動植物園	77,619	106,013	93,338	279,470	2,079,896	
東山スカイタワー	16,295	16,520	12,981	32,946	277,652	
テレビ塔	25,936	21,002	15,671	22,105	251,384	平成 24 年 1 月 10 日～4 月 25 日休館
熱田神宮	166,880	4,438,553	205,927	186,271	6,773,935	
名古屋港	20,952	22,177	23,491	30,123	416,175	
名古屋市科学館	69,617	76,838	80,448	150,467	1,303,372	
徳川美術館	6,088	10,863	19,242	26,638	193,047	
名古屋市博物館	29,016	36,150	41,916	21,465	410,718	
東谷山フルーツパーク	17,312	19,682	25,584	73,754	538,245	
農業文化園・戸田川緑地	43,465	44,936	50,947	110,695	1,281,235	
でんきの科学館	17,255	19,740	23,919	27,973	301,239	
名古屋市美術館	7,997	601	165	2,331	315,204	平成 25 年 1 月 7 日～3 月 15 日休館 (ただし、教育普及活動での利用あり)
名古屋港水族館	106,290	104,261	92,992	186,721	1,990,050	
産業技術記念館	17,077	18,258	21,053	21,314	284,919	
白鳥庭園	8,076	6,627	3,956	12,247	117,761	
市政資料館	5,147	4,035	4,885	8,617	69,570	
名古屋能楽堂	19,486	8,311	9,311	16,096	171,951	
愛知県美術館	46,787	129,627	124,737	117,763	795,538	
名古屋市農業センター	19,048	21,657	41,038	250,049	629,486	
シートレインランド	41,744	36,644	29,996	63,488	619,387	
有松・鳴海絞会館	3,726	3,743	3,581	6,424	170,035	
ランの館	17,921	8,134	7,101	13,006	134,638	
名古屋ボストン美術館	23,350	5,205	6,727	7,281	319,008	
ノリタケの森	24,255	23,342	24,757	30,330	356,529	
ブルーボネット	1,154	0	0	5,902	70,780	
徳川園	12,902	14,088	18,612	28,512	248,542	
文化のみち二葉館	1,927	2,038	4,108	3,794	34,749	
スカイプロムナード	11,387	6,576	5,349	9,093	103,014	
リニア・鉄道館	28,428	42,969	41,734	51,237	679,272	
全 体	960,092	5,335,797	1,119,937	1,988,679	22,409,636	

(2) 名古屋のまちの印象 (自由回答より)

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられた。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・ 名古屋城のライトアップは幻想的で良い。(男性 40代)
- ・ 熱田神宮の森が美しいです。(女性 30代)
- ・ 天守閣2Fのふすま絵を見られて満足。二の丸御殿のビデオをゆっくり見られ、見学出来て良かった。一人で来ても満足です。(女性 60代)
- ・ 菊花展を毎年楽しみに来ている。立派でとても良かった。(女性 70代)
- ・ 名古屋城がよかった。(女性 20代)
- ・ 観光スポットが多くあり、それを詳しく教えてくれる駅の案内所が良かった。(男性 20代)
- ・ ノリタケの森は静かでよい。名古屋の町はきれい！(男性 30代)
- ・ 静かで良い。お城を見にまた来たい。(男性 60代)

【名古屋まつりなど行・催事、イベント】

- ・ にぎやかだと思います。(女性 70代)
- ・ はち丸君にあえて嬉しかった。楽しい一日でした。(女性 70代)
- ・ 色々なイベントがあって楽しい。(男性 70代)
- ・ イベントがたくさんあり、退屈しない。(女性 70代)
- ・ 駅のイルミネーションが綺麗だった。(男性 40代)
- ・ 名古屋城には名古屋おもてなし武将隊がいて写真撮影等のおもてなしをしてくれるので最高です！(女性 30代)
- ・ 武将隊はとても素敵です。(女性 30代)
- ・ 雨なのに武将隊は盛り上がった。(女性 20代)
- ・ 名古屋まつりは楽しい。(男性 50代)

【風景、景観】

- ・ 名古屋駅の近辺のイルミネーションがとても綺麗でした。(女性 60代)
- ・ 駅から出た時の感じが大好きです。(女性 80歳以上)
- ・ 賑やかな街ですが、緑もあり綺麗な街でした。(男性 60代)
- ・ 予想以上にきれいな町並みで、また、おいしい物がたくさんあってよかった。(男性 20代)
- ・ 街並みが綺麗。(女性 60代)
- ・ 華やかな印象。(女性 20代)
- ・ 樹木が多い。(女性 60代)
- ・ 賑やかで活発。(女性 60代)
- ・ 街並みがきれいで、公共交通の使いやすさが良いと感じた。(男性 20代)

【歴史との融合】

- ・ 歴史的な所が多く、また、これらが名古屋駅から行きやすい範囲に集中しているので一日に行ける場所が多く満足でした。(男性 20代)
- ・ 札幌によく似ています。でも歴史的施設などを見学すると古い歴史を感じて札幌にないものを感じます。(女性 50代)
- ・ 江戸時代の様子がよくわかる。本丸御殿が出来たらぜひ来たい。(女性 50代)

- ・ 歴史的なものもあり良かった。駅のイルミネーションが綺麗だった。（男性 40代）
- ・ 熱田区の古い街並みや西区のバス通り沿いのバラや東山の周りが綺麗。（女性 60代）

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 街並みが綺麗でした。（女性 60代）
- ・ 綺麗な街と感じた。（女性 40代）
- ・ 名古屋駅から地下通路があり、雪が降っている時や雨の日など、旅行時は荷物が多くて大変なのでごく便利だと思いました。今度はゆっくり名古屋グルメを楽しみに遊びに来たいです。（女性 20代）
- ・ 街が大きく、整備されている。（女性 60代）
- ・ 路上駐車が以前に比べてとても減った。タバコを吸う人とすれ違うこともあまり無かった。分煙がしっかりしていると思う。（男性 30代）
- ・ ドラッグストアが多くて便利。（女性 30代）
- ・ 綺麗な町です。（女性 50代）
- ・ 町が綺麗だと思う。（男性 50代）
- ・ こじんまりして回りやすくてよい。（女性 30代）
- ・ 大きな街。賑やかだと思う。（男性 50代）
- ・ 住みやすい。近代的なところもあり、熱田神宮のような歴史的な所もある。（女性 30代）
- ・ 住みやすい。都会だし遊ぶ所もいっぱいある。（男性 30代）

【店舗、商店街】

- ・ 大都会（銀座）に似た雰囲気でウィンドウショッピングが楽しめた。（女性 40代）
- ・ ホテルは一流ではなかったが、一流以上に良かった。（男性 40代）
- ・ 面白いビルがある。（男性 30代）
- ・ ショッピングに色々な店があり、良いと思う。（男性 20代）
- ・ 名古屋はおいしいもの、店が沢山あるので大好きです。（女性 40代）

【名古屋グルメ】

- ・ 名古屋グルメ美味しくて好きです。（男性 30代）
- ・ 食べ物が色々あり、それだけでも楽しめた。（女性 40代）
- ・ 名古屋グルメは最高です！（女性 30代）
- ・ 名古屋めしが美味しいです。（男性 20代）
- ・ 美味しい食べ物がたくさんある街（ひつまぶし、味噌煮込みうどん）。（女性 50代）
- ・ 食べ物は美味しかった。（女性 20代）
- ・ 名古屋めしが最高です（特に味噌カツ）。（女性 30代）
- ・ 名古屋グルメはとってもおいしいし、人も優しくて良い街だなと思います。（男性 20代）

【名古屋人、気質】

- ・ 電車の中で子供に席を譲ってくださる方がいて嬉しかった。名古屋の方たちは東京の人より暖かい感じがして好きです。（女性 30代）
- ・ 雨で残念だったが、みな名古屋の人は温かい人だった。（男性 40代）
- ・ 名古屋の人は優しいです。（女性 30代）
- ・ 人々が親切なので驚いた。（男性 40代）

【道路・道路交通】

- ・ 道路が広く公共交通の利便も良かったです。（女性 60代）
- ・ 道が広くて走りやすい。（男性 20代）
- ・ 道路網など進んでいる。（男性 60代）
- ・ 道路がとても広い。（女性 30代）
- ・ 案内表示がわかりやすい。（男性 40代）
- ・ 道が広くて綺麗だと思う。（男性 10代）
- ・ 交通の便が良い。（女性 60代）
- ・ 新しい道路もできて、設備も進んでいる。（男性 40代）

【公共交通】

- ・ 最近は公用でしか活用せず、行動範囲も駅周辺にとどまっているが、駅地下共に美しく整備されているという印象。（女性 40代）
- ・ 公共交通が整備されていて良い。（男性 30代）
- ・ 地下鉄と電車がたくさんあって、移動が楽しい。地下がものすごく発展している。（女性 30代）
- ・ 交通が良いので移動しやすい。（女性 20代）
- ・ 公共交通で移動しやすい。地下鉄圏内に色々集まっていて便利。（男性 20代）
- ・ 主な施設まで地下鉄があり便利。（女性 30代）

【その他】

- ・ ホテルでの事です、シングル2室をツインにしてもらったら、名古屋城が目の前だったので感激しました。（女性 50代）
- ・ 今回、名古屋城と大須を訪れましたが、大須の街にお寺が意外に多いことを知りました。名古屋市内に住み大須も度々行っていました、まだ知らない事と知らない場所が多くて発見でした。（女性 40代）

不満な点、要望

【公共交通】

- ・ ガイシホールでコンサートが終わってから、駅から通路まで人が溢れるような状態なのに、他の交通手段が用意されていないことに驚いた。福岡では臨時バスが（数は十分ではありませんが）出ます。タクシー乗り場も初めての人にはわかりにくい。（女性 40代）
- ・ 駅のエレベーターの場所が遠い。エスカレーターが少ないと思いました。（女性 40代）
- ・ 地下鉄へのアクセス（エスカレーター、エレベーター）が少ないような気がする。高齢者には不便ではないか。（男性 50代）
- ・ 地下鉄等混雑していてごちゃごちゃしていた。（女性 40代）
- ・ 地下鉄の初乗り運賃を安くして欲しい。（男性 20代）
- ・ 地下鉄の乗り換えが大変だった。（男性 50代）
- ・ 地下鉄の階段下りもエスカレーターがあると良い。（女性 40代）

【道路、道路交通】

- ・ 道がもう少し綺麗だとよくなると思います。（女性 20代）
- ・ 一方通行が多いのが不便。（女性 40代）
- ・ 道路のつくりがわかりにくかったです。（女性 30代）
- ・ 公共交通機関がもう少し充実すれば車の利用も減ると思う。（男性 40代）

- ・ 自転車が歩道に駐輪してあるのがとても残念。（男性 30 代）
- ・ ナビを使ってもの走行でも道が広すぎて右・左折が難しい。（男性 50 代）
- ・ 幹線道路が広く複雑で、走るのが難しい。（男性 30 代）
- ・ 車道に歩行者を守るガードレールがあってとても良いと思う。（女性 60 代）

【案内、表示】

- ・ 東京に比べ地下鉄の場所がわかりにくく、施設も古い（暗い場所が多い）ため、一人では不安があった。街の情報不足で効率的な観光は難しかった。（女性 30 代）
- ・ 名古屋駅に分かりやすい観光案内があるとよかった。（男性 50 代）
- ・ ホテル内に名古屋の情報等が分かる冊子が置いてあれば嬉しかったです。（女性 40 代）
- ・ 新幹線の改札から桜通口までがわかりにくく、案内表示がやや足りない様に感じました。また、地下鉄への入口もわかりにくく困りました。（女性 30 代）
- ・ 施設までの案内が少ない（駐車場の有無等）。東京の様に同一施設への公共交通機関が多数あるとよい。（男性 30 代）
- ・ 地下鉄の名港線が、名城線の名古屋港行きというのを初めて知りました。名港線という案内図がなく、かなり苦労しました。（女性 60 代）
- ・ もっと案内表示が欲しいです。道がわかりづらかったです。（女性 40 代）
- ・ 案内表示が少なくてわかりづらい。（女性 40 代）

【宣伝、告知】

- ・ 名古屋には数多く来ているが、観光施設としては名古屋城、東山動植物園しか行ったことがない。このアンケート用紙でその他施設もたくさんあるのだと分かりました。熱田神宮やテレビ塔はテレビ等でよく見かけるので、わかっていましたが、その他のものについては、初めて目にする物もたくさんあります。そのような施設の名前がもっと宣伝されなければ、人は集まらないようにみえます。（男性 60 代）
- ・ 観光資源が大阪と似ていて乏しい気がします。名古屋城やひつまぶし、手羽先、中日ドラゴンズくらいしか思いつきません。今ある資源をより高めるか、新しい何かを作るか、知られていないものを広く周知していく取り組みが必要だと思います。（男性 30 代）
- ・ 観光アピールをもっとした方が良い。（女性 20 代）
- ・ もっと観光のアピールをして。（男性 20 代）

【観光資源】

- ・ 名古屋城の周囲（堀周り）の美化に力を入れて欲しい。ゴミが捨てられたままになっており悲しい。（男性 40 代）
- ・ ミッドランドスクエアのスカイプロムナードに行きましたが、ただ屋外展望で景色を見るだけの所で、ランドマークタワーやスカイツリー等のおみやげやカフェ等に学ぶ必要があるのではないかと思います。私一人しか展望デッキにいませんでした。（女性 30 代）
- ・ 昔、菊人形展を見に来た時より菊人形の数が減っている。（女性 40 代）
- ・ 熱田神宮の駐車場がバラバラで、駐車場にトイレがない。駐車場に観光土産（を買うところ）がないので、観光バスが来てもインパクトがない。（男性 70 代）
- ・ 以前は出店があり、賑やかな感じもあったが今はさみしい。（男性 80 代）
- ・ 東京の鳩バスみたいなものがあると良い。（女性 50 代）

【まちづくり、町並み】

- ・ 名古屋駅前の人が特に多い。バランスある都市づくりをされると良いのではないか。（女性 50代）
- ・ 街が何か暗い。（男性 40代）
- ・ 賑わいはパワフルで少し疲れました。駅では人が多くてゴチャゴチャしていました。（女性 60代）
- ・ 歩行喫煙が多く危ない。落ちているゴミが多い（美観を損ねている）。（男性 40代）
- ・ 雨が降った時に濡れないため、地下通路を作ったり、大通りにアーケードを作ったりすると便利かと思います。（女性 30代）
- ・ ゴミ箱がない。大きな観光地ではあると良いと思う。（女性 30代）

【店舗、商店】

- ・ 名古屋のデパートは人が多くて疲れました。（女性 60代）
- ・ ひつまぶし、味噌カツ、味噌煮込み、きしめん以外の夕食になる名古屋めしがない（男性 30代）
- ・ お店の開閉店時刻がバラバラで待つことが多い。（男性 50代）
- ・ 栄のショッピングがもう少しエリアがまとまっていれば短時間で回りやすいと思いました。（女性 20代）
- ・ デパートや地下街がもう少し遅くまで営業していたらもっと楽しめると思います。（女性 20代）
- ・ おかげ横丁のようなところが出来るとよい。（女性 40代）

【人、マナー】

- ・ 名古屋のショッピング施設の店員の態度がイマイチよくない。全体的に丁寧さに欠けている。伊勢に行ってその差に驚いてしまった。（女性 50代）
- ・ バイク族がうるさかった。（男性 30代）
- ・ 歩行者のマナーが悪い。信号無視は当たり前、前を見ず歩く人、歩道に座り込んでいる人、どう見ても通路でライブやスケボー等やっている人、道路側を平気で歩いて自転車の通行の妨げになっているのにも関わらず平気というか反対にキレている。もう少しそういったところを整備した方がいいのでは。折角の楽しさが台無しになる。（男性 40代）
- ・ 栄の交通混雑に割り込みが多い。（男性 70代）
- ・ 運転が乱暴。（女性 60代）
- ・ ドライバーのマナーが悪い。（女性 30代）
- ・ 車のマナーは悪いかも。大阪より悪いかも。（男性 40代）

【その他】

- ・ 市内に住んでいますが、あまり色んな所に行かないかも。動物園や水族館など以外は行かないかな。グルメ観光など他県の人に聞かれると、紹介するところが少ないので困る。（女性 40代）
- ・ 名古屋城の周りに城下町（観光エリア）を設けると、名古屋は武将隊で人気になっているので更なる名古屋の発展につながると思います。名古屋をもっと人の集まりたくなるような素敵な街にしてください。（女性 20代）

お楽しみどころ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問 1 どこからお越しになりましたか（出発地はどちらですか）。1つに○印をつけてください。

1	名古屋市内	2	名古屋市を除く愛知県	3	岐阜県	4	三重県
5	静岡県	6	その他の都道府県（具体的に	）			

問 2 今回、名古屋を訪れた（今回の名古屋への旅行）主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1	観光施設の見学	2	ショッピング（非日常の買物。ウインドショッピングを含む）
3	観劇・コンサート	4	イベント（参加・鑑賞）
5	飲食	6	その他の娯楽行為（具体的に
7	商用・公用	8	帰省・冠婚葬祭
9	大会・学会・国際会議への出席・参加	10	その他（具体的に

問 3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

1	雑誌・新聞をみて	2	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて
3	テレビやラジオ番組の情報から	4	インターネットホームページの情報から
5	友人・知人に薦められたから	6	前に来たことがあり良かったから
7	駅や電車内のポスター・広告	8	特になし
9	その他（	）	

問 4 今回の訪問（今日のお出かけ）で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1	名古屋城	2	産業技術記念館（トヨタテクノミュージアム）
3	ノリタケの森	4	徳川美術館
5	徳川園	6	熱田神宮
7	白鳥庭園	8	東山動植物園
9	東山スカイタワー	10	テレビ塔
11	名古屋市美術館	12	愛知県美術館
13	名古屋ポストン美術館	14	名古屋科学館
15	でんきの科学館	16	名古屋博物館
17	ランの館	18	名古屋港水族館
19	名古屋港	20	シートレインランド
21	有松・鳴海絞会館	22	ミッドランドスクエアなどの高層建築物
23	リニア・鉄道館	24	その他（

問 5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金もお答えください。（費用が市内のみか、市外分を含むかを選択）。

1	パッケージ旅行	およそ（	）円くらい		
2	パッケージ旅行ではない	（	□市内分のみ	もしくは	□市外分含む

問 6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えください。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金以外の費用をお答えください。

①市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。	およそ（	）円くらい
②市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。	およそ（	）円くらい
③市内でのおみやげ代。	およそ（	）円くらい
④市内での飲食代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。	およそ（	）円くらい
⑤市内での入場料（観光施設等の入場料の合計額）。	およそ（	）円くらい
⑥市内でのその他費用。	およそ（	）円くらい

問 7 今回の訪問（旅行）での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	大変満足	2	ほぼ満足	3	普通	4	やや不満	5	不満
---	------	---	------	---	----	---	------	---	----

問 8 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	はじめて	2	2回目	3	3回目	4	4～9回目	5	10回目以上
---	------	---	-----	---	-----	---	-------	---	--------

問 9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

1	J R	2	名鉄電車	3	近鉄電車	4	自家用車
5	航空機	6	路線バス	7	観光バス	8	その他（ ）

問 10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

1	名古屋市内のみ	2	長久手・モリゾバーク方面	3	明治村・犬山方面
4	瀬戸・小原方面	5	知多・常滑・セトア方面	6	豊田・岡崎・足助方面
7	蒲郡・西浦・三谷方面	8	豊川・鳳来寺方面	9	豊橋・伊良湖方面
10	岐阜・関ヶ原方面	11	多治見・恵那・中津川方面	12	下呂・高山方面
13	長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	14	伊勢・志摩方面		
15	その他（ ）				

問 11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、②不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）								
2	産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）								
3	レジャー施設（動植物園・水族館等）								
4	都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）	5	グルメ・なごやめし						
6	お祭り・イベント	7	コンサートや観劇などの鑑賞						
8	スポーツ観戦（野球・サッカー等）	9	その他（具体的に ）						

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9（具体的に ）	10 特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---------------	---------

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9（具体的に ）	10 特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---------------	---------

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9（具体的に ）	10 特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---------------	---------

問 12 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	1日帰り	2	2日間	3	3日間	4	4日間	5	5日以上
---	------	---	-----	---	-----	---	-----	---	------

問 13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	1泊	2	2泊	3	3泊	4	4泊以上
5	名古屋市内には宿泊しない						

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問 14 あなたの性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別	②年齢								
1 男	1 10～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳						
2 女	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳						
	7 70～79歳	8 80歳以上							

問 15 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

1 ひとり（同行者なし）	2 友人・知人
3 幼児や小学生連れの家族	4 夫婦
5 家族（「3」・「4」以外）	6 団体旅行
7 修学旅行	8 その他（ ）

【自由意見】 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成24年度]

@ p○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒名古屋市
電話 番号	
ご 記 入 者	(ご所属) (ご氏名)

問 1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 ホテル	2 旅館	3 簡易宿所	4 下宿
-------	------	--------	------

問 2 貴施設の平成 25 年 3 月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和 室		洋 室		合 計	
室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問 3 貴施設の平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	24年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	24年11月	12月	25年1月	2月	3月	合 計	
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問 4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国 名	宿泊客数	国 名	宿泊客数	国 名	宿泊客数
中国	人	シンガポール	人	オーストラリア	人
香港	人	インドネシア	人	カナダ	人
台湾	人	ベトナム	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人

問 5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 平成24年度、受入れた。

2 平成24年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。

3 実績はないが受入れ可能。

4 受入れられない。

問 6 問5で「1 平成24年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成24年4月1日から平成25年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問 7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成24年度に修学旅行団体を受入れたかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■調査項目

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	過去5年以内(愛知万博後)に名古屋に何回訪れたことがありますか。	SA
1		1回	
2		2回	
3		3～5回	
4		6～10回	
5		11回以上	
6		訪れていない	
Q2	必須回答	名古屋に訪れる場合の主な交通手段をお選びください。名古屋に訪れたことがない方も、名古屋に訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道(新幹線以外)	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA付
Q3	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた目的は何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA付
Q4	必須回答: Q3 = 1～5	観光、娯楽、ショッピングが目的で訪れた直近の名古屋訪問についてQ4～Q8をお答えします。その訪問(旅行)は合計何泊でしたか。	SA
1		日帰り	
2		1泊	
3		2泊	
4		3泊	
5		4泊以上	
Q5	必須回答: Q4 = 2～5	その名古屋訪問(旅行)では、うち名古屋市内に何泊しましたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
5		名古屋市内には宿泊しない	
Q6	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)で同行された方を教えてください。	SA
1		ひとり(同行者なし)	
2		友人・知人	
3		幼児や小学生連れの家族	
4		夫婦のみ	
5		家族(13・14以外)	
6		団体旅行	
7		修学旅行	
8		その他	FA付

インターネット調査票

Q7	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)であわせて名古屋以外に訪問したところ(地域)はどこですか。	MA
1		名古屋市内のみ	
2		明治村・犬山方面	
3		瀬戸・小原方面	
4		長久手・愛・地球博記念公園(モリコロパーク)方面	
5		知多・常滑・セントレア方面	
6		豊田・岡崎・足助方面	
7		蒲郡・西浦・三谷方面	
8		豊川・鳳来寺方面	
9		豊橋・伊良湖方面	
10		岐阜・関ヶ原方面	
11		多治見・恵那・中津川方面	
12		下呂・高山方面	
13		長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	
14		伊勢・志摩方面	FA付
15		その他	
Q8	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)のきっかけは何ですか。	MA
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ番組等を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	
8		その他	FA付
Q9	必須回答: Q3 = 6	仕事が目的で訪れた直近の名古屋訪問についてお聞きします。その訪問(旅行)のとき、あわせて訪問した場所又は経験したものは何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く。)	
6		その他	FA付
7		訪問した場所又は経験したものはない	
Q10	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っている名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	MA
1		熱田神宮	
2		リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	
3		科学館(プラネタリウムなど)、美術館、博物館など	
4		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
5		東山動植物園	
6		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
7		大須(大須観音・大須商店街)	
8		文化のみち(二葉館など)	
9		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
10		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
11		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
12		その他	FA付
13		知っているものはない	
14		知っているものはない	

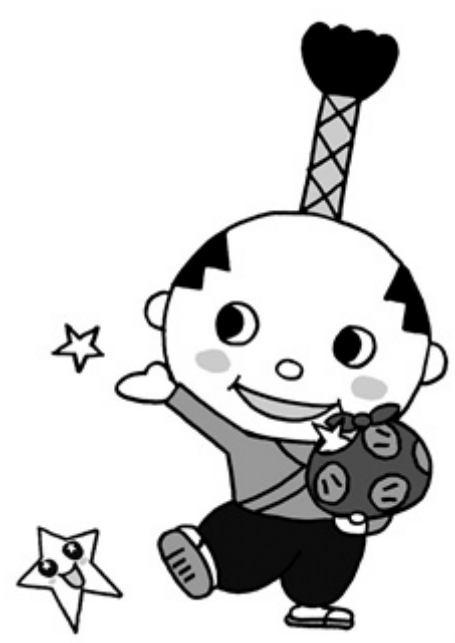
Q11	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内に訪問した場所又は経験したものをお答えください。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産（名古屋城、徳川園、徳川美術館など）	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	
4		産業観光ツアー（工場見学、夜景観光クルーズなど）	
5		科学館（プラネタリウムなど）、美術館、博物館など	
6		名古屋港（名古屋港水族館、シーレインランド、ポートビルなど）	
7		東山動植物園	
8		栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	
9		大須（大須観音・大須商店街）	
10		文化のみち（二葉館など）	
11		有松（街並み、有松・鳴海絞会館など）	
12		なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	
13		祭り（名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど）	
14		その他	FA付
15		訪問した場所又は経験したものはない	
Q12	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた感想（良かった点、悪かった点など）について自由に記入してください。	FA
Q13	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋に訪れた時に、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。	SAマトリクス
Q13M001		観光施設等	
Q13M002		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q13M003		市民の親切さ、親しみやすさ	
Q13M004		おみやげ品	
Q13M005		なごやめしなどの食事	
Q13M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q13M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		体験していない・分からない	
Q14	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA付
Q15	必須回答: Q14 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産（名古屋城、徳川園、徳川美術館など）	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、ノリタケの森など	
4		産業観光ツアー（工場見学、夜景観光クルーズなど）	
5		科学館（プラネタリウムなど）、美術館、博物館など	
6		名古屋港（名古屋港水族館、シーレインランド、ポートビルなど）	
7		東山動植物園	
8		栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	
9		大須（大須観音・大須商店街）	
10		文化のみち（二葉館など）	
11		有松（街並み、有松・鳴海絞会館など）	
12		なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	
13		祭り（名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど）	
14		その他	FA付

Q16	必須回答: Q14 = 3	名古屋を訪れたいと思わない理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。	3A
1		テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設がない	
2		魅力的な歴史的資産がない	
3		楽しそうなイベントがない	
4		おいしいような食べ物がない	
5		魅力的な買い物スポットがない	
6		お店の閉店時間が早く、ゆっくりと楽しめない	
7		泊まりたい宿泊施設がない	
8		名古屋のことをよく知らない	
9		名古屋が嫌いなど良くないイメージがある	
10		その他	FA付
Q17	必須回答	名古屋の観光地としての魅力を感じますか。また、魅力を感じない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。	3A
1		観光都市としての魅力はある	
2		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	
3		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	
4		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	
5		魅力ある観光施設が少ないこと	
6		魅力あるイベントが少ないこと	
7		魅力あるおみやげ品が少ないこと	
8		交通アクセスが良くないこと	
9		夜に楽しめる場所が少ないこと（観光施設の閉館時間が早いことなど）	
10		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	
11		まちがきれいでないこと	
12		まさに線が少ないこと	
13		その他	FA付
Q18	必須回答	名古屋ゆかりの武将にちなんで、平成21年11月に結成された「名古屋おもてなし武将隊」をご存知ですか？	SA
1		どのようなものか知っている	
2		名前は聞いたことがある	
3		知らない	
Q19	必須回答: Q18 = 1,2	「名古屋おもてなし武将隊」を知ったきっかけは何ですか？	MA
1		テレビ	
2		新聞	
3		雑誌	
4		ラジオ	
5		インターネット	
6		電車の中の広告	
7		チラシ・ポスター類	
8		イベント	
9		名古屋城に来て	
10		家族・友人から聞いた	
11		その他	FA付

Q20	必須回答	「名古屋おもてなし武将隊」は、名古屋城で観光客をお迎えし、おもてなしや演武(パフォーマンス)を行っています。「名古屋おもてなし武将隊」を見に名古屋へ行きたいと思いませんか？あてはまるものをお選びください。	SA
1		男に行きたい	
2		機会があれば見に行きたい	
3		男に行きたいとは思わない	
Q21	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「スターグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思いませんか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		利用したことがある	
2		知っていて、利用したい	
3		知らなかったが、利用したい	
4		知ってはいたが、利用したいとは思わない	
5		知らなかったし、利用したいとは思わない	
Q22	必須回答	かつて名古屋城には「本丸御殿」がありました。本丸御殿は、日本建築史・絵画史・工芸史上、近世城郭御殿の最高傑作でしたが、惜しくも焼失しました。名古屋市は、「ものづくりの技、文化、自然の大切さ」を後世に伝える象徴として、名古屋城「本丸御殿」の復元を進めており、現在は工事見学コーナーを設けるなど公開しています。この取組みについてご存知でしたか。	SA
1		復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている(見学した)	
2		復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった	
3		復元を進めていることを知らなかった	
Q23	必須回答	名古屋城「本丸御殿」が復元されれば訪れたいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
Q24	必須回答	「名古屋」のイメージを一言でお願いします。	FA
Q25	必須回答	名古屋の観光に対するご意見・ご感想や、名古屋が訪れたいくなるような魅力のある都市となるため、今後取り組んだりよいと思うことがありましたらご自由にお書きください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳代	
7		70歳以上	

F3	必須回答	お住まいの地域(都道府県)をお答えください。	SA
1		北海道	
2		青森県	
3		岩手県	
4		宮城県	
5		秋田県	
6		山形県	
7		福島県	
8		茨城県	
9		栃木県	
10		群馬県	
11		埼玉県	
12		千葉県	
13		東京都	
14		神奈川県	
15		山梨県	
16		長野県	
17		新潟県	
18		富山県	
19		石川県	
20		福井県	
21		岐阜県	
22		静岡県	
23		愛知県	
24		三重県	
25		滋賀県	
26		京都府	
27		大阪府	
28		兵庫県	
29		奈良県	
30		和歌山県	
31		鳥取県	
32		島根県	
33		岡山県	
34		広島県	
35		山口県	
36		徳島県	
37		香川県	
38		愛媛県	
39		高知県	
40		福岡県	
41		佐賀県	
42		長崎県	
43		熊本県	
44		大分県	
45		宮崎県	
46		鹿児島県	
47		沖縄県	
F4	必須回答	お住まいの、市区町村をお答えください。	FA

※調査票の条件欄について
「Q1=1」は、「Q1で選択肢『1』を選択している人が対象」を意味します。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成24年度)

平成25年10月発行

発行 名古屋市市民経済局
業務委託先 株式会社 M S S

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。